長崎県文化財調査報告書162集

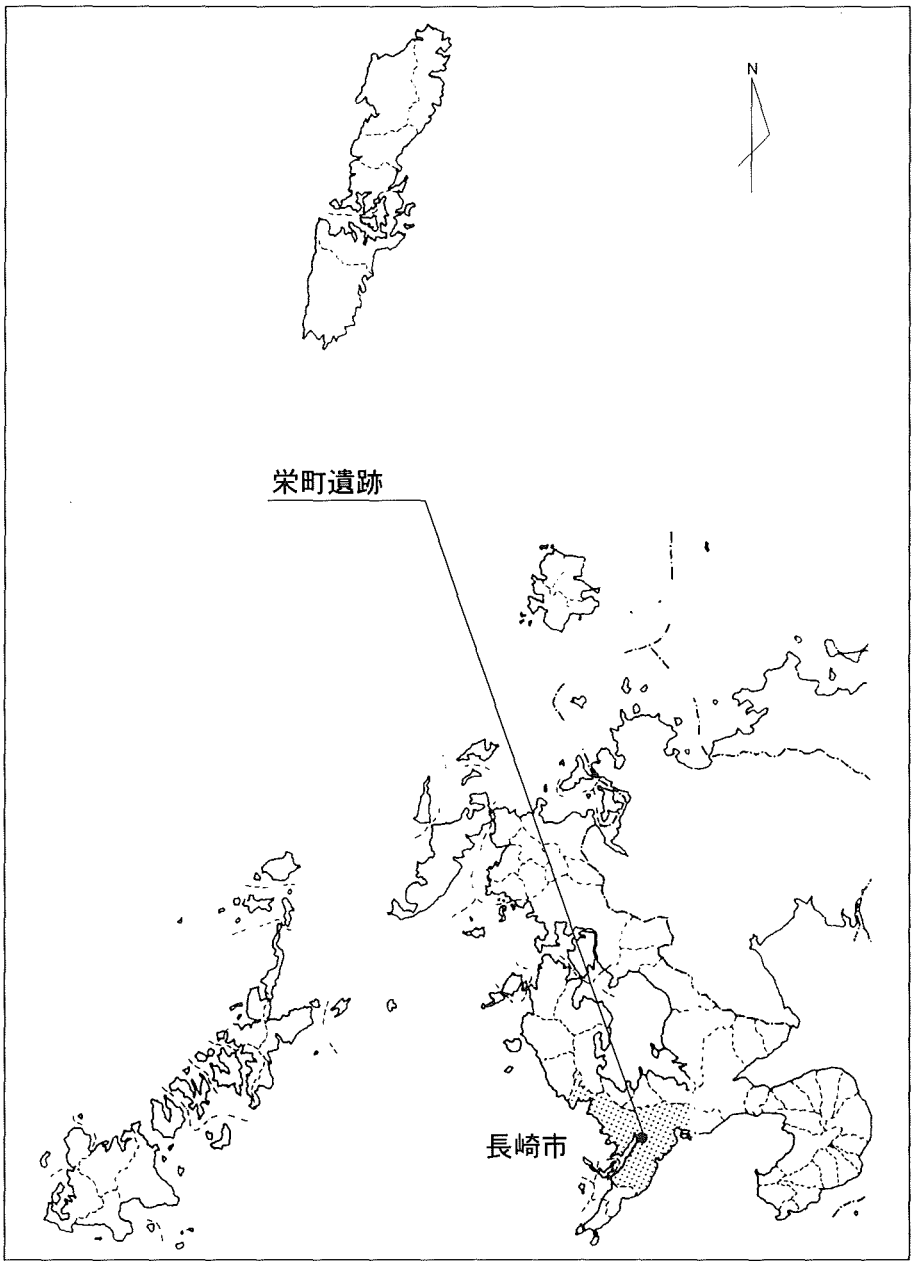
# 栄町遺跡

（旧袋町・市立長崎高等学校跡地）

長崎県教育委員会
2001

長崎県文化財調査報告書 第162集

# 栄 町 遺 跡



# 発刊にあたって

本書は，出島バイパスの工事に関連して実施した栄町遺跡（旧市立長崎高校跡地）の発掘調査報告書です。

調査地は江戸時代の袋町にあたりますが，袋町は慶長二年（1597）に町建てされたという記録があります。長崎は，元亀元年（1570）に開港され，翌年現在の万才町付近に最初の六町が町建てされましたが，袋町は南蛮貿易の活況によって人口が増加したため，新たに設けられた町のひとつと考えられます。

調査の結果，町建てから幕末にいたる遺構や遺物が確認されました。中でも，寛文三年（1663）に長崎の大部分を焼いた「寛文大火」の火災層や焼失した遺構が確認されたことが注目されます。火災層からは，輸出向けの陶磁器が多数出土しましたが，これらは大火当時にピークをむかえていた肥前陶磁の海外輸出を実証する資料として大きな学術的価値を持っていると考えられます。このほか，ドイツで生産された塩釉炉器や東南アジア産と考えられるべっ甲の出土が珍しく注目されます。

江戸時代の長崎は，海外に開かれた港市として他に類を見ない性格を持っていたことが，調査の成果から窺えます。近世長崎の遺跡といえば出島和蘭商館跡など一部の遺跡を考えがちですが，我々の足下の多くが，それに優るとも劣らない歴史的価値を有していることを改めて考えさせる良い機会であったといえるでしょう。

最後に御協力いただいた関係者の皆様にお礼を申し上げるとともに，今回の栄町遺跡で行われた発掘調査成果が学術資料並びに歴史教材として活用され，文化財の愛護に役立つことを念じて発刊のあいさつといたします。

平成13年3月31日

長崎県教育委員会教育長

木　村　道　夫

# 例　　言

1．本書は，一般国道324号線道路改良工事に伴う栄町遺跡（旧市立長崎高等学校跡地）の発掘調査報告書である。

2．調査は，試掘調査を長崎県教育委員会が主体となって実施した。本調査は，長崎県出島バイパス工事事務所の委託により，株式会社パスコ（現セコムデジタルマッピング）が行い，長崎県教育委員会が指導した。

3．調査期間と調査担当者は，以下のとおりである。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 試掘調査 | 平成12年4月10日～平成12年4月18日 | | |
| | 長崎県教育庁文化課埋蔵文化財班 | 文化財保護主事 | 川口　洋平 |
| | 同 | 文化財調査員 | 高原　愛 |
| 本調査 | 平成12年5月15日～平成12年7月15日 | | |
| | 株式会社パスコ | 遠竹　陽一郎 | |
| | | 大西　孝一 | |
| | （現場指導）長崎県教育庁文化課 | 川口　洋平・高原　愛 | |

4．出土銭貨については，下関市立大学櫻木晋一教授から指導を受け，玉稿をいただいた。また，指導に基いて科学分析を岩手県立博物館に依頼し，咲山まどか・赤沼英男両氏の分析結果をいただいた。

5．その他の出土遺物については，以下の方々に指導・助言をいただいた（50音順）。
扇浦正義・大橋康二・川口皓二・坂井隆・櫻庭美咲・鈴木祐子・隅田登紀子・中西啓・渡邊康行

6．本報告書をまとめるにあたっては，以下の方々の協力を得た（50音順）。
網谷泰代・荒木淳子・石本充子・岡裕子・鍛冶真人・川村由美子・小林利恵子・近藤慶子・斉藤いづみ・田中由美子・永尾ひとみ・中村幸・成田万里・東貴之・松﨑由紀子・三品久美子・三澄千年・山内麻紀・横尾陽子・渡辺洋子

7．本書の構成は以下のとおりである（頁）。
Ⅰ　1．遺跡の立地環境(1)　2．調査経緯(1)
Ⅱ　1．調査方法(2)　2．土層(2)　3．遺構(2)　4．遺物(14)　5．銭貨(50)　6．科学分析(56)
Ⅲ　総括　　抄録(59)
付録CD－ROM　・全体写真・調査風景　・遺構　・遺物　・その他
(Windows95以降)

8．本書の銭貨を除いた執筆は，Ⅰ－1・2，Ⅱ－2・3を高原愛が，Ⅱ・4，Ⅲを川口洋平が担当した。また，CD－ROM収録の写真は，現場写真を㈱パスコの遠竹陽一郎が，遺物写真を川口が撮影した。

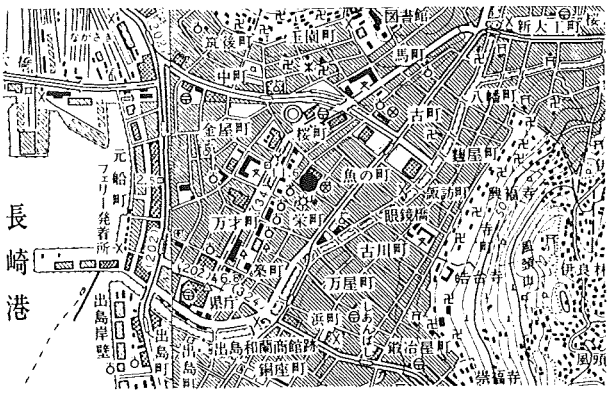
9．本書の編集は，高原の協力を得て，川口が行った。

# Ⅰ　立地・環境と調査の経緯

## 1．立地・環境

長崎市は，出島や唐人屋敷跡等の近世を中心とした遺跡の宝庫である。特に，諏訪神社からのびる岬状に突出した台地を中心に当時の町屋が立ち並んでいたことは，江戸期の古地図に明白である。

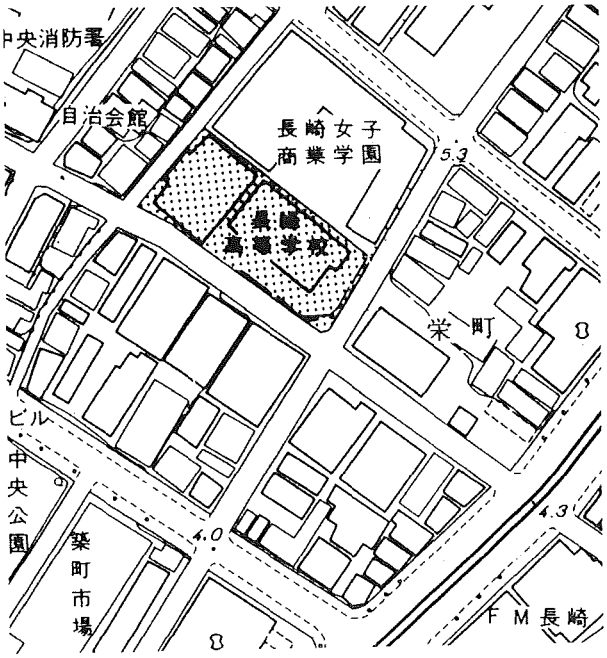
栄町付近の過去の調査では，北から長崎県が行った桜町遺跡，市が行った興善町遺跡・栄町遺跡で遺跡の有無を確認している。興善町遺跡では花十字紋軒丸瓦や中国産染付磁器を出土，栄町遺跡でも16世紀末から17世紀前半代の磁器を出土し，この付近は外町と呼ばれた町建て当初の様子を忍ぶことができる遺跡が点在している。本遺跡は，この台地から東側に下った低地との傾斜変換点に立地する。当時の袋町に相当し，外町の中でも最初期の慶長二（1597）年近隣の町屋とともに成立したといわれている。




第１図　　遺跡位置図

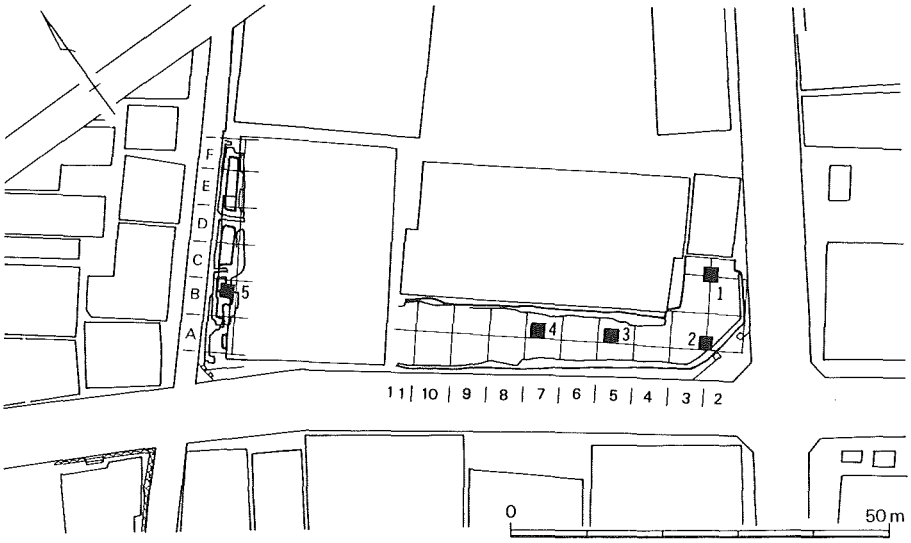
## 2．調査の経緯

長崎県は，長崎市立長崎高校の単位制高校への移管に伴い移転した同跡地を，長崎自動車道からのびる出島バイパスを建設するにあたって，その代替用地として活用することになった。そのための土地整備事業に着手するため，新規遺跡の有無を確認する目的で平成12年4月10日から4月18日まで試掘調査を行った。2m × 2mの試掘壙を5カ所設定し，調査を実施した。その結果，江戸時代前半の遺物に伴い瓦敷きの溝状遺構や2列の石列を確認し，本調査となった。




第２図　周辺の地形

当初，本調査の事業主体が，長崎県出島バイパス建設事務所，調査主体が長崎県教育委員会という２本柱の体制であった。しかし，７月中に工事着手という極めて緊急な調査のため，県では調査全般に対応できないことから，民間の調査機関である株式会社パスコに調査を依頼し，県文化課が指導して同年5月15日から7月15日まで本調査を行った。




第３図　グリッド配置図（黒塗りは試掘壙）

# Ⅱ　本調査

## 1．調査方法

調査は，工事予定区域に 5m × 5m のグリッドを東西に 1 ～ 16，南北に A ～ F と設定して行った。試掘における調査結果に基づき，第 1 層・第 2 層については，機械により土の除去を行った。以下の土層については，人力で掘り下げを行い，遺構については精査を実施した。

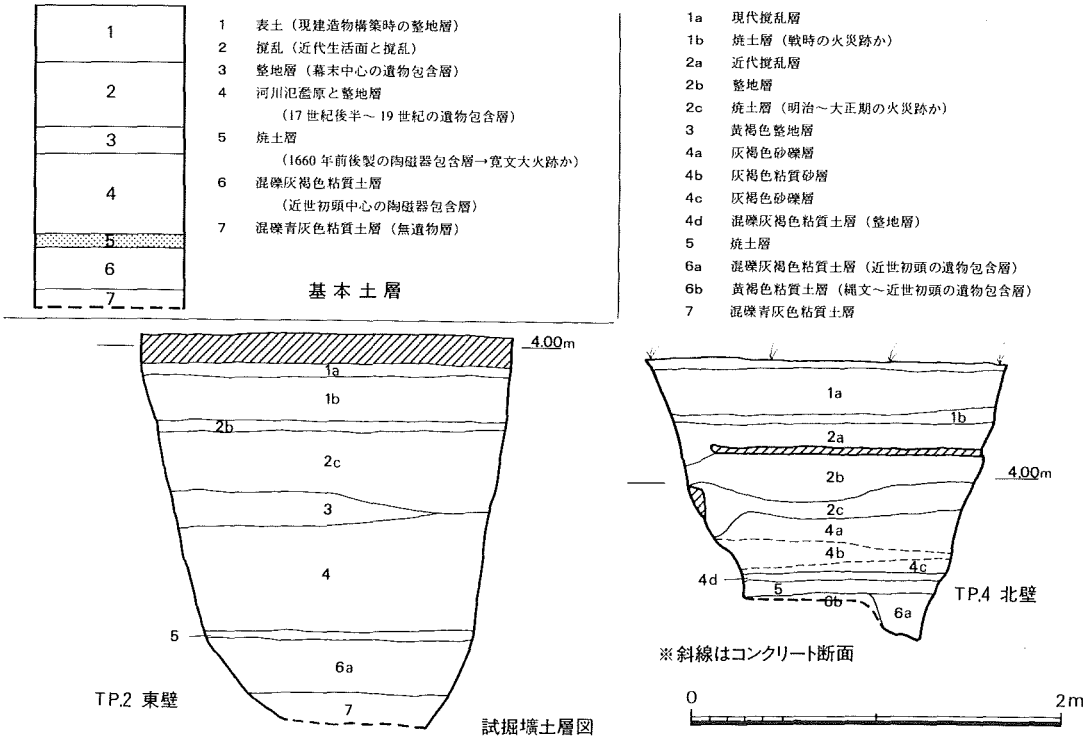
## 2．土層

層位は，大きく 7 層に分けられる。第 1 層は表土で，コンクリートと基礎の砂利または客土となっている。第 2 層上には焼土層があり，原爆投下に伴う火災によるものと考えられる。第 2 層は撹乱層で，近代の生活面や整地した痕跡が認められた。第 3 層との境界には火災痕があり，明治～大正期の火災によるものと考えられる。第 3 層は整地層で，幕末の陶磁器を包含していた。第 4 層は河川礫の堆積層で，中島川の氾濫に伴うものと考えられる。しかし，この層中に整地面が数枚あり，河川氾濫と共存していたものと思われる。第 5 層上に部分的に岩盤の風化土を築きかためた層が見受けられ，火災後整地した跡として認識した。第 5 層は焼土層で，17 世紀初頭から中頃の遺物を含んでおり，寛文三（1663）年の大火（以下，寛文大火）によるものと考えられる。特に，17 世紀中頃の遺物を中心に焼けた状態で出土しており，このことから寛文大火の痕跡であると確認した。第 6 層は混礫灰褐色粘質土層で，17 世紀初頭の遺物を含んでいた。第 6a 層には生活面が残り，大火前夜の町屋敷の様子を伝えている。この生活面は，第 6b 層を整地して構築しているようである。第 7 層は混礫青灰色粘質土層で，中島川の氾濫に伴うものと考えられる。

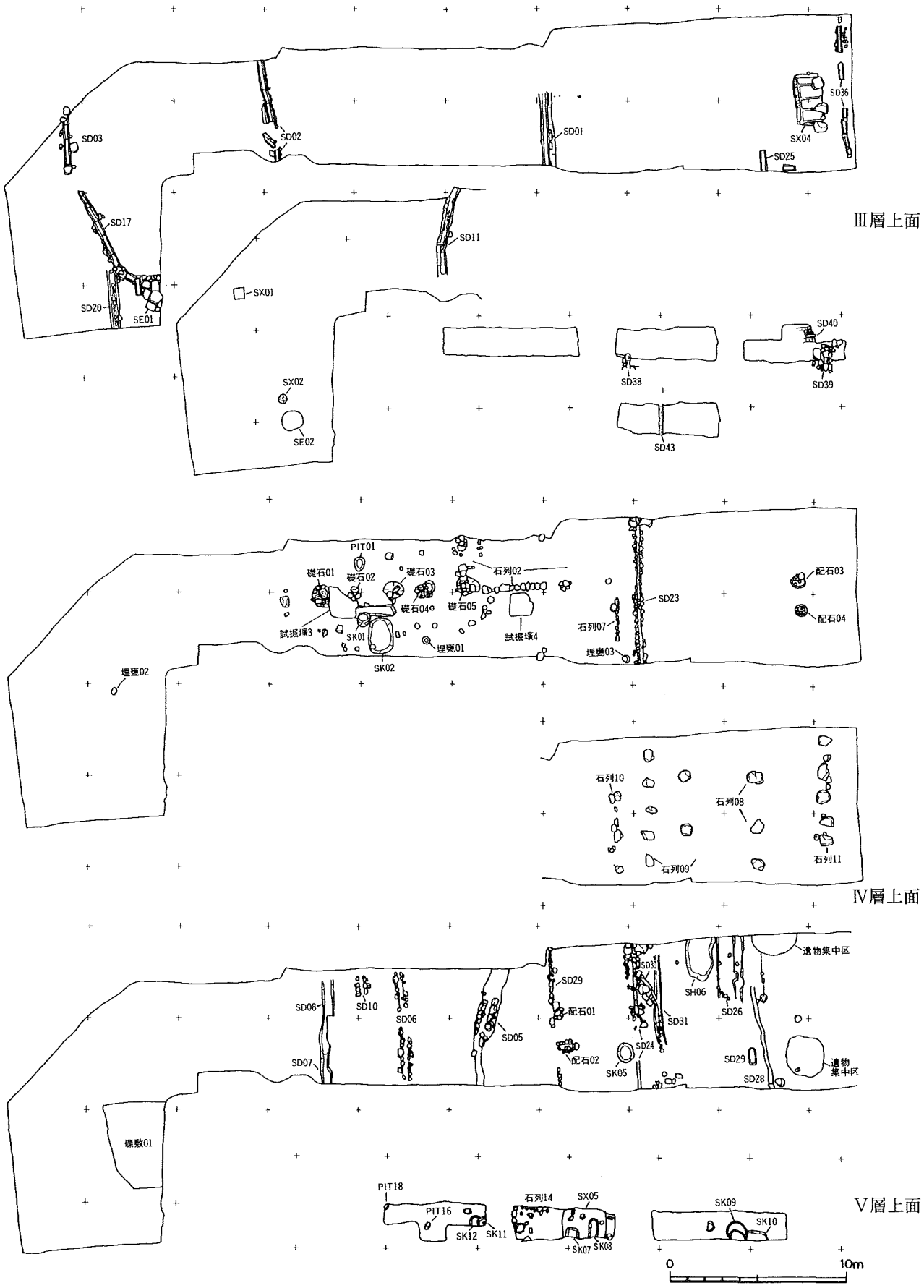
## 3. 遺構

生活面が少なくとも 5 面あり，溝状遺構を中心に建物跡と思われる石列・集石が残っていた。本書では層位的に位置を提示し，次に個々の遺構の詳細な実測図を示した。また，実測者の過失により，SK04 に隣接していた SK03 は遺構実測図に明記していない点を了解いただきたい。

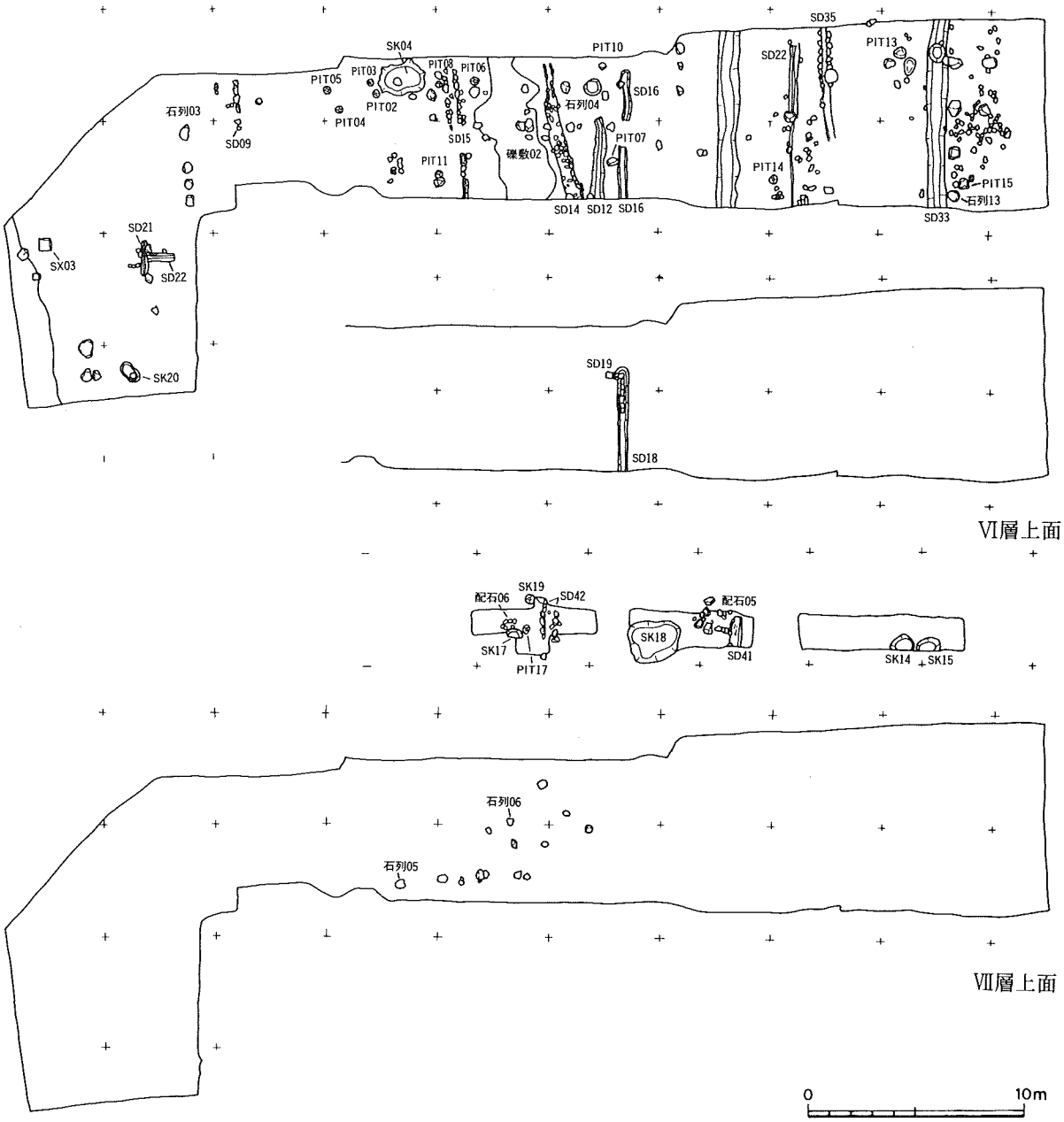
目を引くのが，溝状遺構である。溝状遺構は，SD38・39・41 ～ 43 以外は中島川や隣接する河川とほぼ平行に人為的に数条掘り下げてある。構築方法は，溝状に掘り下げた後，側面に石列を配置して底面に木皮等を敷き，木管様の管を埋設したものであった（SD32 ほか）。時代が下るに




第 4 図　土層図


SD03
SD02
SD01
SD36
SX04
SD25
SD17
SD11
SX01
SD20
SE01
SD40
SD38
SD39
SX02
SE02
SD43
Ⅲ層上面
PIT01
礎石01
礎石02
礎石03
礎石04
礎石05
石列02
配石03
配石04
SD23
試掘壙3
SK01
SK02
埋甕01
試掘壙4
石列07
埋甕03
埋甕02
石列10
石列08
石列09
石列11
Ⅳ層上面
遺物集中区
SD30
SH06
SD26
SD29
SD08
SD10
SD06
SD05
配石01
SD31
SD07
配石02
SD24
SK05
SD28
遺物集中区
礫敷01
PIT18
PIT16
SK12
SK11
石列14
SX05
SK07
SK08
SK09
SK10
Ⅴ層上面
0
10m

第 5 図　遺構配置図



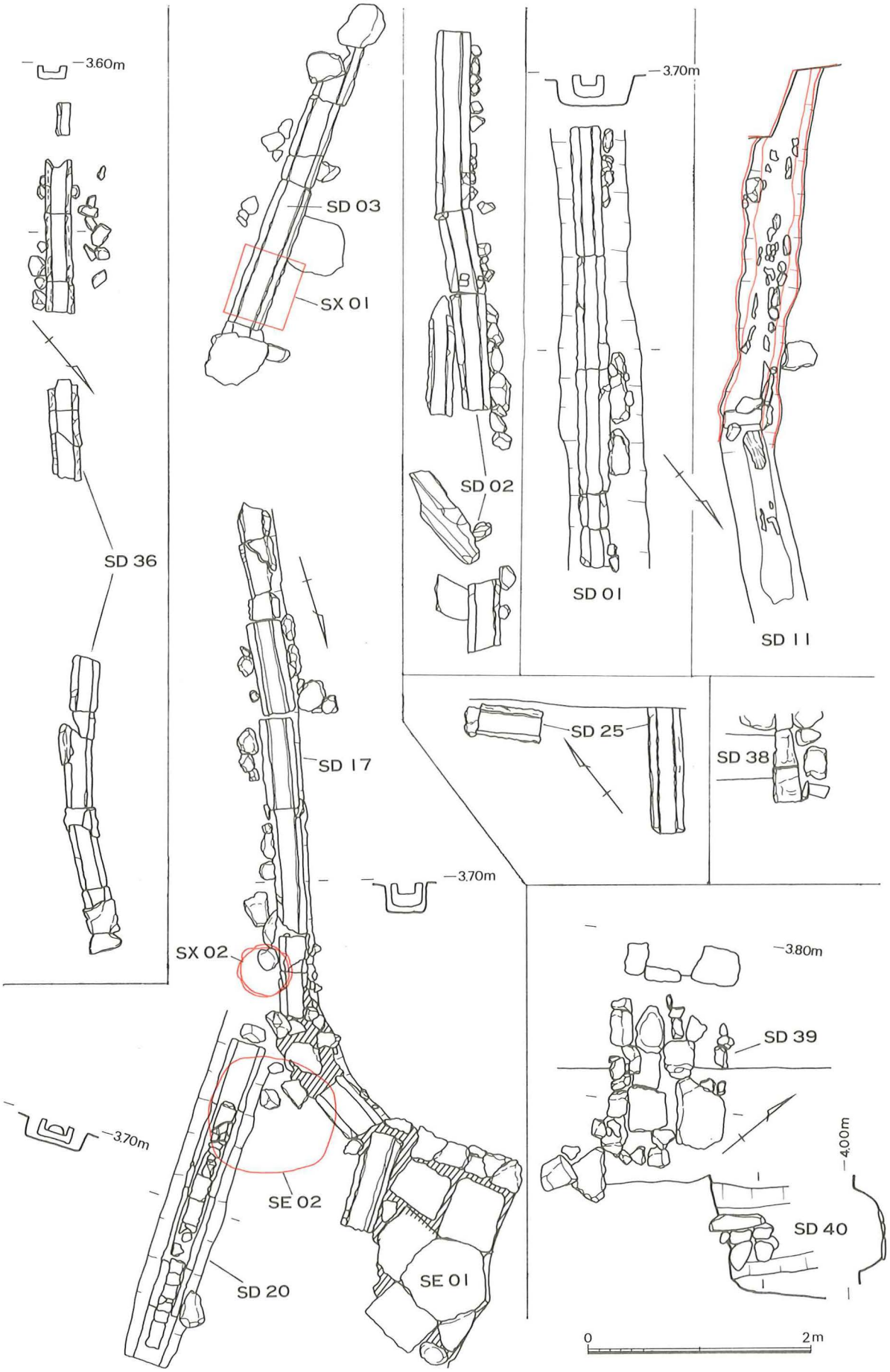

第 6 図　遺構配置図

従い，木管木樋から板製の箱型木樋，直方体の石柱をくり抜き箱型にした石樋へと変遷する（SD 01 ほか）。各層にわたってほぼ同様の場所に構築され，江戸期を通して改修が繰り返されていたことが窺える。河川に排水する施設でないことから，溝状遺構は下水施設という意味合いのものではなく，上水道であった可能性が高い（註.）。

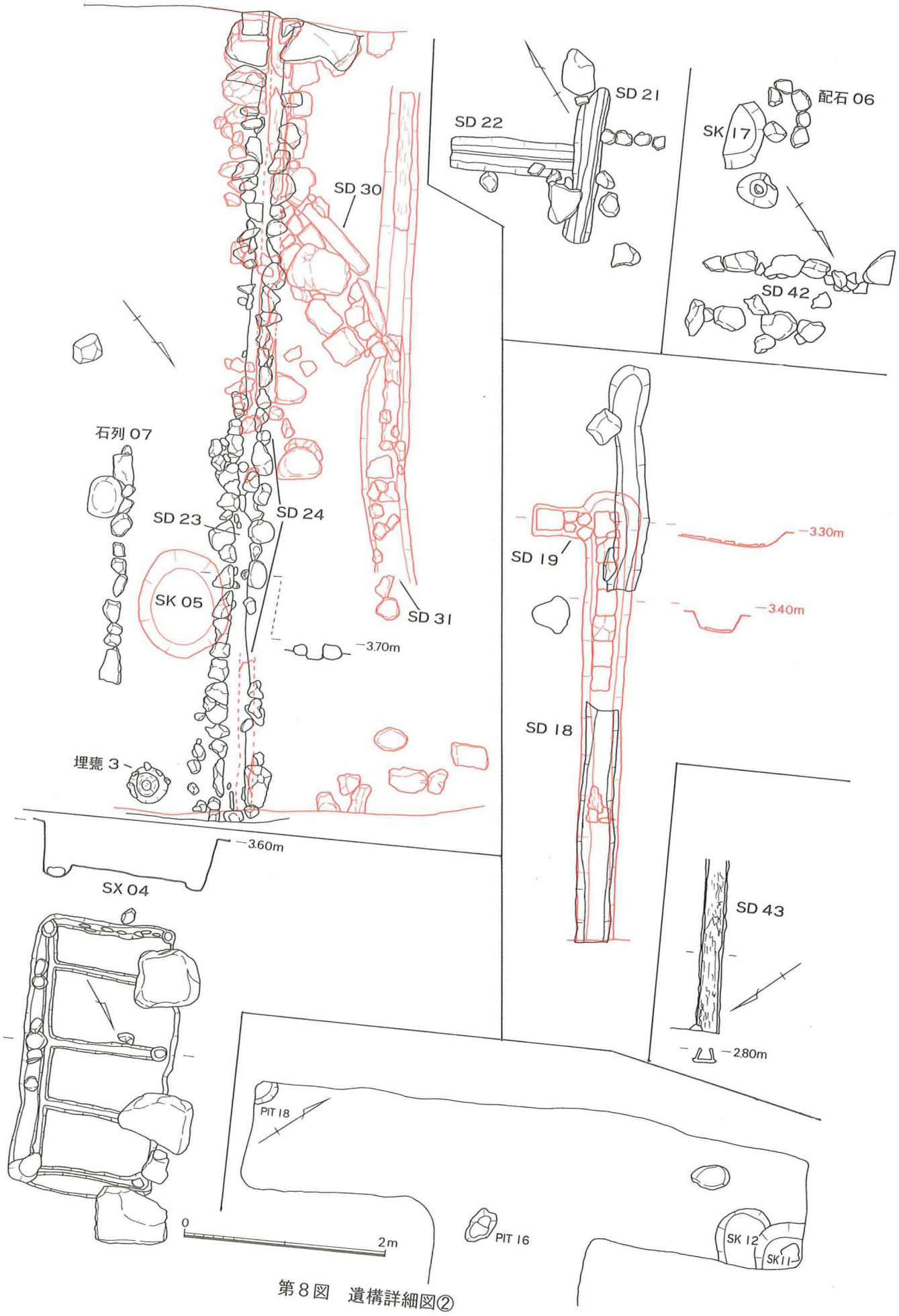
註. 長崎 57 ヶ町を焼失した寛文大火をきっかけに，倉田次郎右衛門が飲料水・防火水に活用できるよう寛文 7(1667) 年から延宝元（1673）年にかけて，私財や長崎奉行からの援助で，水道施設（倉田水樋）を市内 38 ヶ町に敷設している。また，明治 27（1894）年に建立された倉田水樋碑には，倉田水樋関係町として袋町の町名がみえる。このことより，5 層以上の遺構は倉田水樋関係の構築物である可能性が高い。一方，焼土に覆われた溝状遺構も存在していることから，各町屋でも敷設していた可能性も考慮しなければならない。

【参考文献】

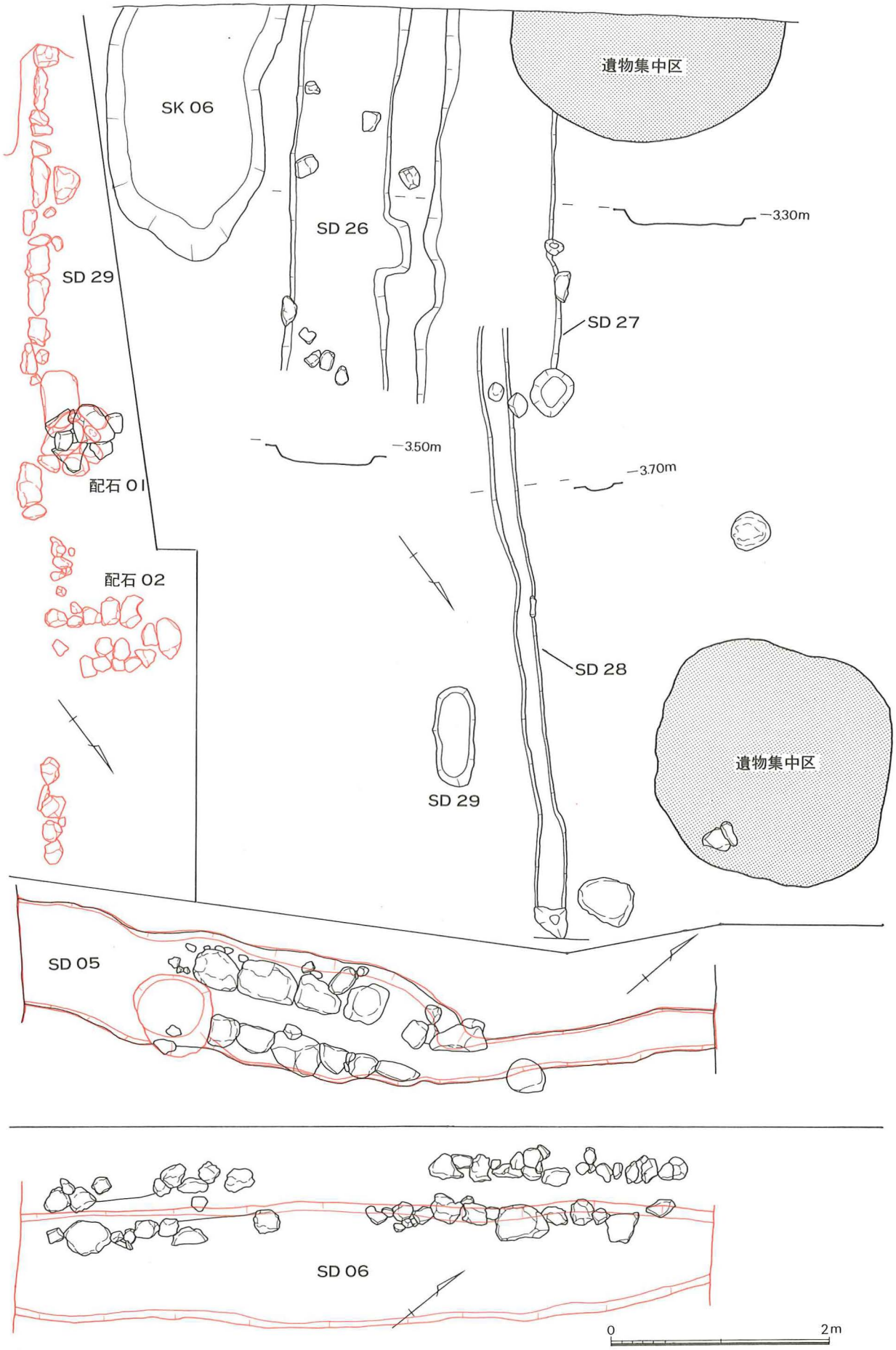
名勝旧跡部編 1937『長崎市史』地誌編　名勝舊蹟部
長崎新聞社編 1984『長崎県大百科事典』長崎新聞社


3.60m
SD 03
SX 01
SD 02
3.70m
SD 01
SD 11
SD 36
SD 17
SD 25
SD 38
3.70m
SX 02
3.80m
SD 39
3.70m
SE 02
4.00m
SD 40
SD 20
SE 01
0
2m

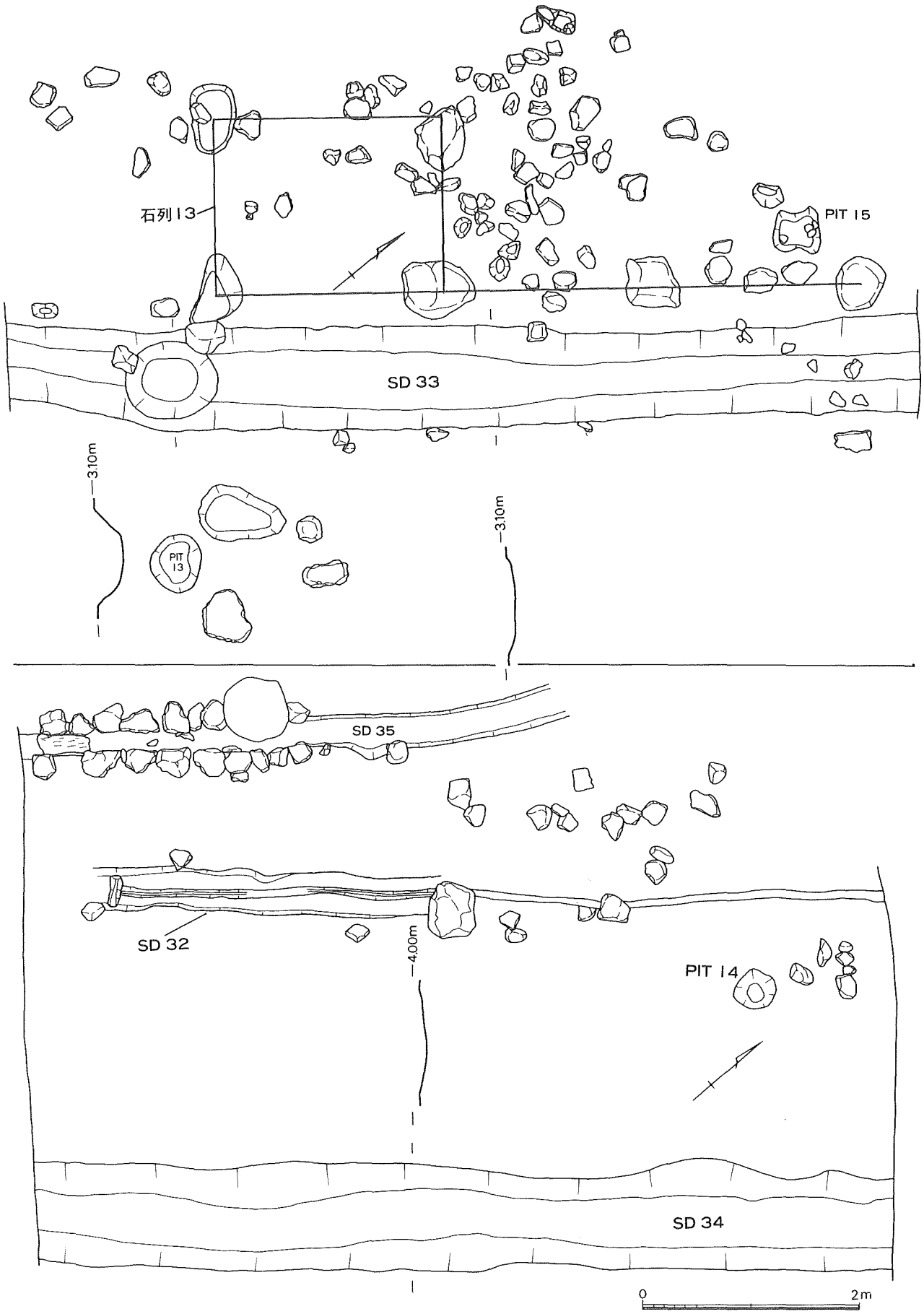
第７図　遺構詳細図①


SD 21
SD 22
配石 06
SK 17
SD 42
SD 30
石列 07
SD 23
SD 24
SK 05
SD 31
−3.70m
SD 19
−3.30m
−3.40m
SD 18
埋甕 3
−3.60m
SX 04
SD 43
−2.80m
PIT 18
PIT 16
SK 12
SK 11
0
2m

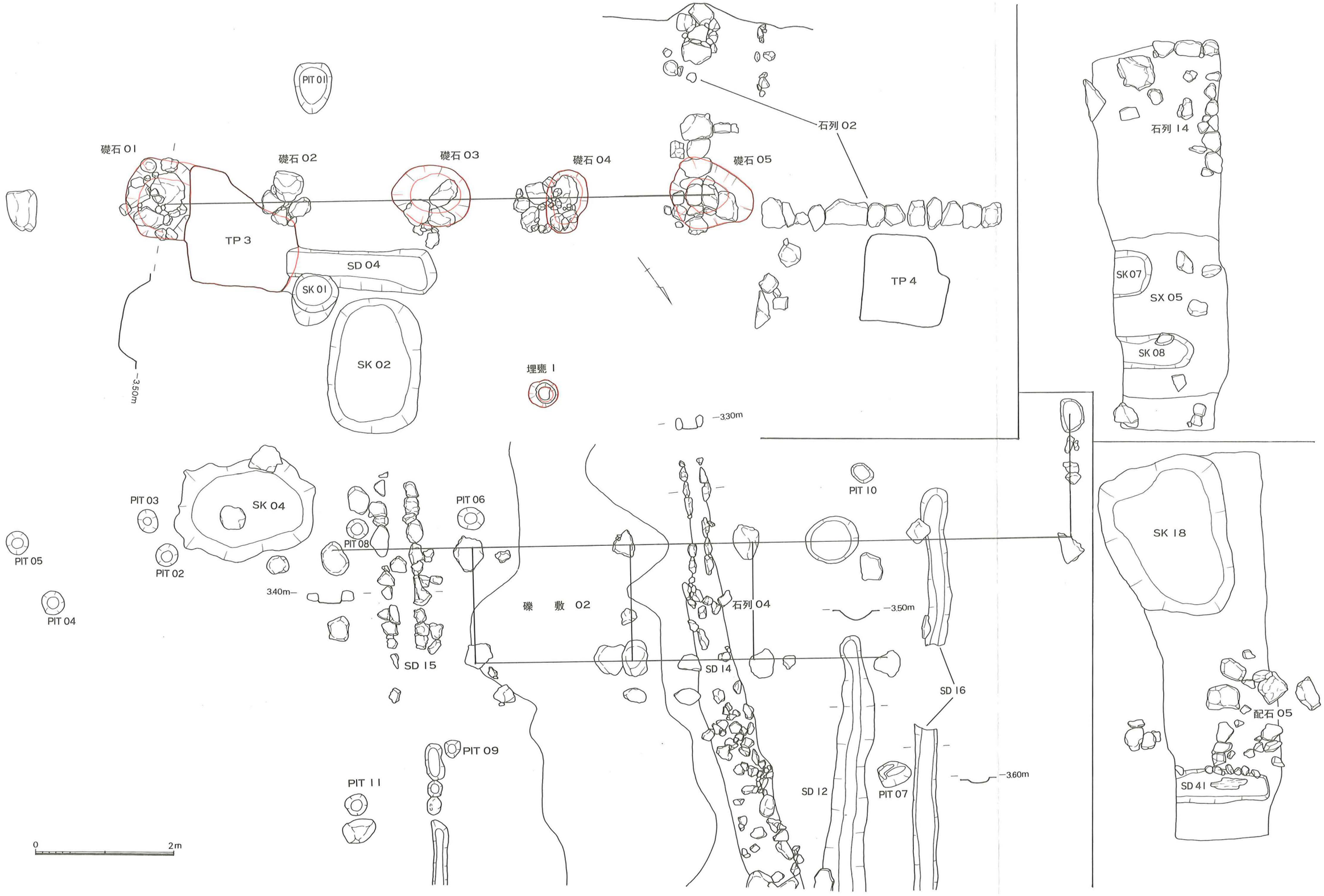
第８図　遺構詳細図②


遺物集中区
SK 06
SD 26
3.30m
SD 29
SD 27
3.50m
3.70m
配石 01
配石 02
SD 28
遺物集中区
SD 29
SD 05
SD 06
0
2m

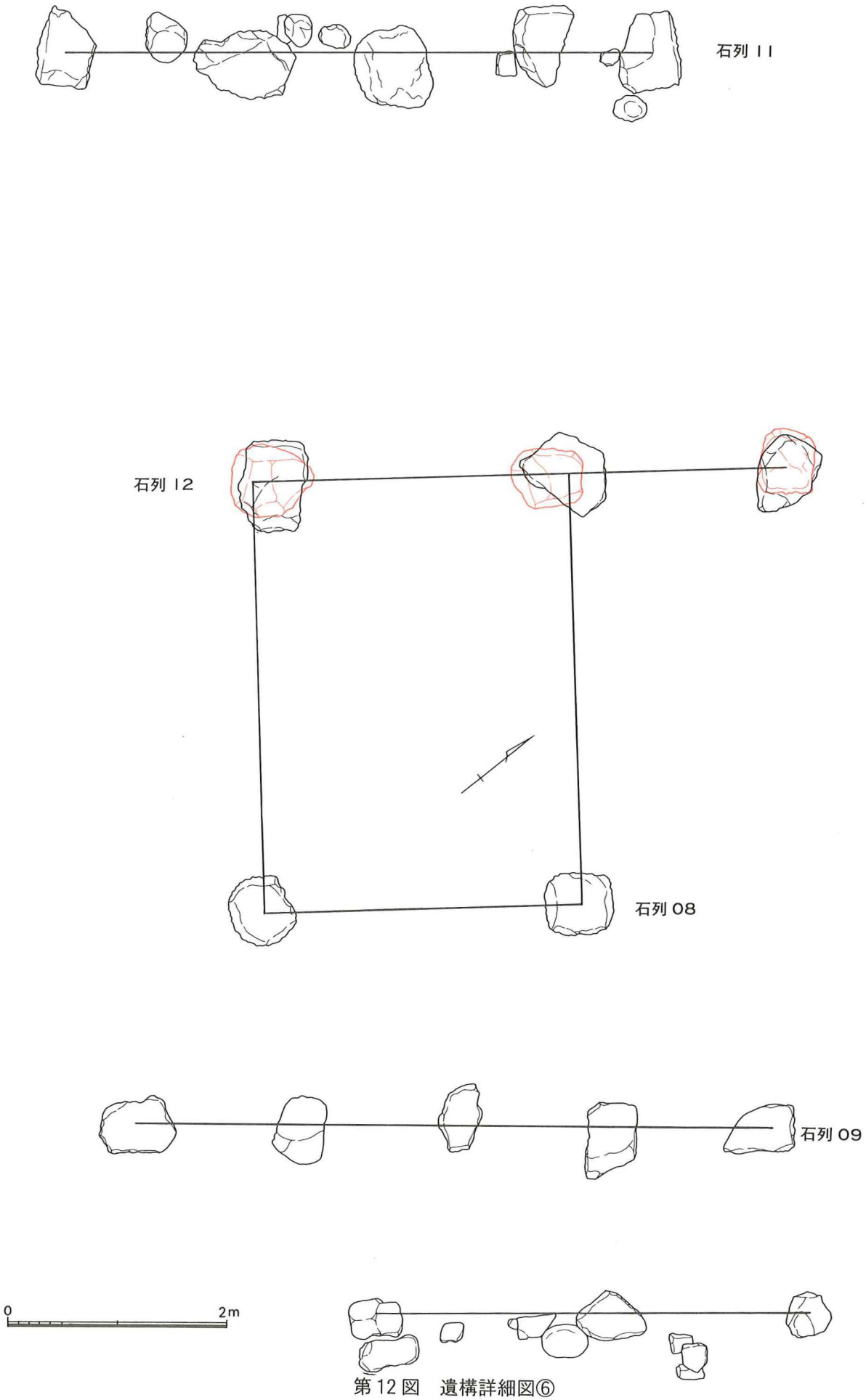
第９図　遺構詳細図③


石列13
PIT 15
SD 33
3.10m
PIT 13
3.10m
SD 35
SD 32
4.00m
PIT 14
SD 34
0
2m

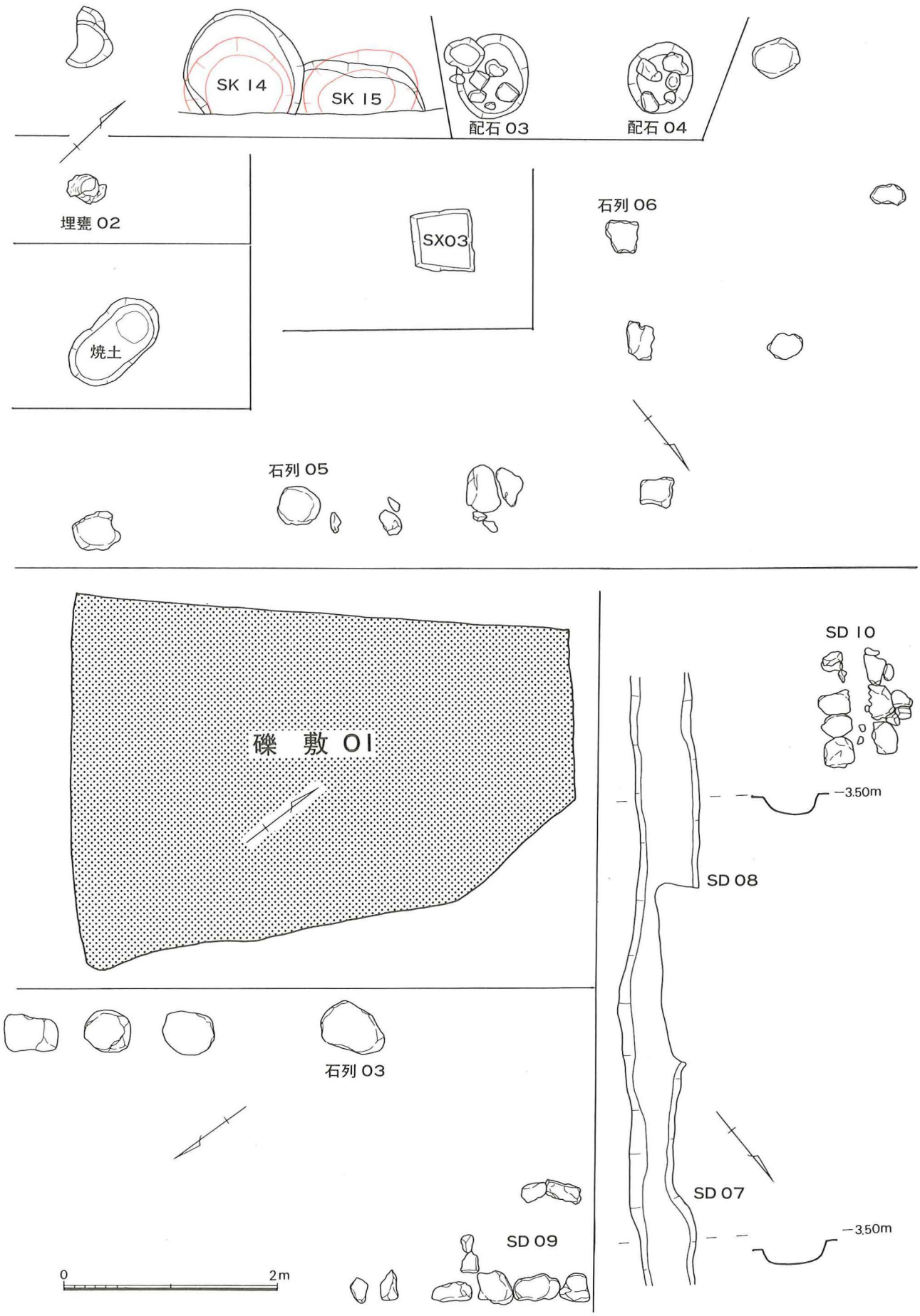
第10図　遺構詳細図④


PIT 01
礎石 01
礎石 02
礎石 03
礎石 04
礎石 05
石列 02
TP 3
SD 04
SK 01
SK 02
TP 4
埋甕 1
~3.50m
~3.30m
石列 14
SK 07
SX 05
SK 08
PIT 03
SK 04
PIT 05
PIT 02
PIT 04
PIT 08
PIT 06
3.40m
礫　敷　02
石列 04
PIT 10
~3.50m
SD 15
SD 14
SD 16
PIT 09
PIT 11
SD 12
PIT 07
~3.60m
SK 18
配石 05
SD 41
0
2m

第 11 図　遺構詳細図⑤




第 12 図　遺構詳細図⑥


SK 14
SK 15
配石 03
配石 04
埋甕 02
SX03
石列 06
焼土
石列 05
礫 敷 01
SD 10
−3.50m
SD 08
石列 03
SD 07
SD 09
−3.50m
0
2m

第 13 図　遺構詳細図⑦

| 遺構名 | グリッド名 | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|
| SD01 | A・B7 | Ⅲa | 石樋。掘込底に10cm程の石敷き。脇を石で固定 |
| SD02 | A・B4 | Ⅲa | 石樋。掘込と石樋の間に石。 |
| SD03 | B2 | Ⅲa | 石樋。石蓋あり |
| SD04 | B5・6 | Ⅳa | |
| SD05 | A・B7 | Ⅴ | 掘り込んで配石 |
| SD06 | A・B6 | Ⅴ | 配石上半にⅣ層整地面が被る。底に砂 |
| SD07 | B6 | Ⅴ | |
| SD08 | A6 | Ⅴ | |
| SD09 | A4 | Ⅵ | 片側のみ残存。面をそろえている |
| SD10 | A6 | Ⅴ | 面をそろえている |
| SD11 | A5 | Ⅲb | 石蓋あり。木樋痕 |
| SD12 | B7 | Ⅵa | |
| SD13 | | | 欠番 |
| SD14 | A6・B7 | Ⅵa | 内部に小礫 |
| SD15 | A・B6 | Ⅵa | |
| SD16 | A・B7 | Ⅵa | |
| SD17 | C・D3 | Ⅲa | 石樋。屈曲部アマカワで固定 |
| SD18 | A・B7 | Ⅵb | 底に瓦敷き |
| SD19 | A7 | Ⅵb | 底に瓦敷き |
| SD20 | D3 | Ⅲa | 蓋に丸瓦。SD17と連結しない。側に大甕 |
| SD21 | C3 | Ⅵa | 木質管あり |
| SD22 | C3 | Ⅵa | 木質管あり |
| SD23 | A・B9 | Ⅳa | 小礫を配列。覆土はシルト質 |
| SD24 | A・B9 | Ⅴ | 木敷。大振りの礫を使用。小礫で固定 |
| SD25 | B10 | Ⅲa | 石樋 |
| SD26 | A・B10 | Ⅴ | |
| SD27 | A・B10 | Ⅴ | |
| SD28 | A・B10 | Ⅴ | |
| SD29 | B10 | Ⅴ | |
| SD30 | A9 | Ⅴ | 側壁が石板。瓦を底に敷き，側壁と垂直に立てる。瓦に加工あり |
| SD31 | A・B9 | Ⅴ | 木樋。 |
| SD32 | A・B9 | Ⅵa | 木製管。 |
| SD33 | A・B10 | Ⅵa | |
| SD34 | A・B8 | Ⅵ | |
| SD35 | A9 | Ⅵa | 覆土に炭化物含む |
| SD36 | A・B11 | Ⅲ | 石樋。石で固定 |
| SD37 | | | 欠番 |
| SD38 | D16 | Ⅲa | 石蓋。アマカワで固定 |
| SD39 | B16 | Ⅲa | 石敷 |
| SD40 | B16 | Ⅲa | 石敷 |
| SD41 | D16 | Ⅵa | 木質 |
| SD42 | B16 | Ⅵa | |
| SD43 | D16 | Ⅲb | 木樋。木蓋。片側釘で固定 |
| SD44 | | | 欠番 |
| SK01 | B6 | Ⅳa | |
| SK02 | A5 | Ⅳa | |
| SK03 | | | 欠番 |
| SK04 | A5 | Ⅵa | 獣骨等。ゴミ穴か |
| SK05 | B9 | Ⅳ | |
| SK06 | A10 | Ⅴ | |
| SK07 | D16 | Ⅴ | |
| SK08 | D16 | Ⅴ | |
| SK09 | E16 | Ⅵ | |
| SK10 | F16 | Ⅵ | |
| SK11 | C16 | Ⅵ | |
| SK12 | B16 | Ⅵ | |
| SK13 | B16 | Ⅳ | |
| SK14 | E16 | Ⅵ？ | |
| SK15 | F16 | Ⅵ？ | |
| SK16 | | | 欠番 |
| SK17 | B16 | Ⅵa | |
| SK18 | C16 | Ⅵa | 内部は泥状で，木葉・植物の種子(桃等)出土 |
| SK19 | B16 | Ⅵa | |
| SK20 | D3 | Ⅵa | 覆土は焼土。瓦片出土 |
| 石列01 | A5～A7 | Ⅳa | 礎石1～5含む |
| 石列02 | A7 | Ⅳa | 礎石5にかむ |
| 石列03 | B3 | Ⅵ | |
| 石列04 | A6・7 | Ⅵa | |
| 石列05 | B5・6 | Ⅶ | |
| 石列06 | B6 | Ⅶ | 石列05と関連あり |
| 石列07 | B8 | Ⅳa | |
| 石列08 | A9・B10 | Ⅳb | |
| 石列09 | A・B9 | Ⅳb | |
| 石列10 | A・B8 | Ⅳb | |
| 石列11 | A・B11 | Ⅳb | 石列09と対応 |
| 石列12 | A・B10 | Ⅳc | 石列12下に配列 |
| 石列13 | A・B10 | Ⅵa | |
| 石列14 | C16 | Ⅴ | 建物の敷地境界か |
| 配石01 | A8 | Ⅴ | |
| 配石02 | B8 | Ⅴ | 2列の石列状 |
| 配石03 | A10 | Ⅵa | |
| 配石04 | B10 | Ⅵa | |
| 配石05 | D16 | Ⅵa | |
| 配石06 | B16 | Ⅵa | |
| 埋甕01 | B6 | Ⅴ | |
| 埋甕02 | C3 | Ⅳa | |
| 埋甕03 | B8 | Ⅳa | |
| SE01 | D3 | Ⅲa | 井戸。アマカワで固定 |
| SE02 | D3 | Ⅲb | SE01側，井戸？ |
| 礫敷01 | C3 | Ⅴ | |
| 礫敷02 | AB6 | Ⅵa | SD14-SD15間に集石。窪地に投石した跡か |
| PIT01 | A6 | Ⅳa | |
| PIT02 | A5 | Ⅵa | |
| PIT03 | A5 | Ⅵa | |
| PIT04 | A5 | Ⅵa | |
| PIT05 | A・B5 | Ⅵa | |
| PIT06 | A6 | Ⅵa | |
| PIT07 | B7 | Ⅵa | |
| PIT08 | A6 | Ⅵa | |
| PIT09 | B6 | Ⅵa | |
| PIT10 | B7 | Ⅵa | |
| PIT11 | B6 | Ⅵa | |
| PIT12 | | | 欠番 |
| PIT13 | A10 | Ⅵa | |
| PIT14 | B9 | Ⅵa | |
| PIT15 | B10 | Ⅵa | |
| PIT16 | B16 | Ⅴ | |
| PIT17 | B16 | Ⅵa | |
| PIT18 | A16 | Ⅴ | |
| SX01 | B2 | Ⅲb | SD03下，木製箱 |
| SX02 | C3 | Ⅲb | SD13下，桶状の掘込 |
| SX03 | C2 | Ⅵa | 隣接して焼土 |
| SX04 | A10・B11 | Ⅲa | 柱穴は焼土まで達し，貼床 |
| SX05 | D16 | Ⅴ | |

表1　遺構観察表

## 4. 遺物

調査では，パンコンテナ70箱分の遺物が出土した。以下に遺構別・層位別で取り上げた遺物の特徴を記す。

### 遺構出土の遺物

各面で複数の遺構が確認されたが，覆土から出土した遺物で時期的なまとまりがあるものとしてはSK3，4，SD8，12，26，ピット2がある。中でもSK3の出土遺物は時期的にまとまっており，セット関係を捉える上で良好な一括資料であると判断される。出土した遺物は127点であるが，構成する遺物の組成はグラフ1(P.49)のとおりである。廃棄の時期としては，初期伊万里が含れることや青花の様相から1610年代から1620年代が考えられる。また，SD12から出土した褐釉陶器の有頸壺が注目される。SD12は寛文大火より前に埋没していることから，時期の下限を1650年代と考えることができる。

### Ⅵ層出土の遺物

Ⅵ層は，縄文時代から16世紀末頃までの遺物を含む下層Ⅵb層と16世紀末から17世紀中頃までの遺物を含むⅥa層からなる。しかし，Ⅵb層が検出された場所は限られており，調査時に確実なものと判断した資料は少ない(註1)。以下ではⅥa・Ⅵbを総括してⅥ層として報告する。出土した遺物は，中国産では景徳鎮系の青花・色絵，漳州窯系の粗製青花・色絵，東南アジア産の焼締め壺，肥前陶磁などがある。注目される資料としては天啓・崇禎期（1621～1644）に生産された，日本からの注文で生産されたとされるいわゆる古染付があげられる（84～98など)。また，粗製の陶器質の青花碗（36～41）がまとまって出土しており，生産地の検討を含め今後の研究が期待される。東南アジア産では瓦質クンディ（98）や（註2)，産地，用途ともに不明な焼締め製品（100・101）などがあるが，中でもべっ甲（125・126）が注目される。また、ドイツのライン炉器の出土も注目される。Ⅵ層に含まれる遺物の廃棄の下限は148・149のように輸出向けの肥前陶磁が含まれることから1650年代が考えられる。なお，古代の石帯（127）が出土しているが，流れ込みによるものと考えられる（註3)。

### Ⅴ層出土の遺物

Ⅴ層は，寛文三年（1663）の大火の焼土層である。中でも10区では規格性のある肥前陶磁が集中して出土しており，商品として保管されていたものと考えられ，とくにⅤ層一括遺物として取り上げた(150～311)。そのほかの場所では，17世紀前半の遺物が含まれるなど通常の火災層と判断し単にⅤ層として取り上げた（312～352)。Ⅴ層一括の遺物は，前陶磁の海外輸出の様相を考える上で極めて重要な資料といえる。東南アジア向けと考えられる粗製碗が圧倒的に多いが，ヨーロッパ向けと考えられる燭台や瑠璃釉に金彩を施した蓋付鉢やツバメ形の合子などが注目される。組成について時間の許す限り分析を行ったが（グラフ2．P.49)，報告後も分析を続けて別に紹介の機会を持ちたい。

### Ⅳ層出土の遺物

Ⅳ層は，寛文大火後の整地層とその後の生活に伴う堆積層からなる。遺物には整地時の攪乱により17世紀前半のものも含まれるが，やはり輸出向けの肥前陶磁が散見される。また，18世紀から19世紀にかけての遺物が入る。

### Ⅲ層出土の遺物

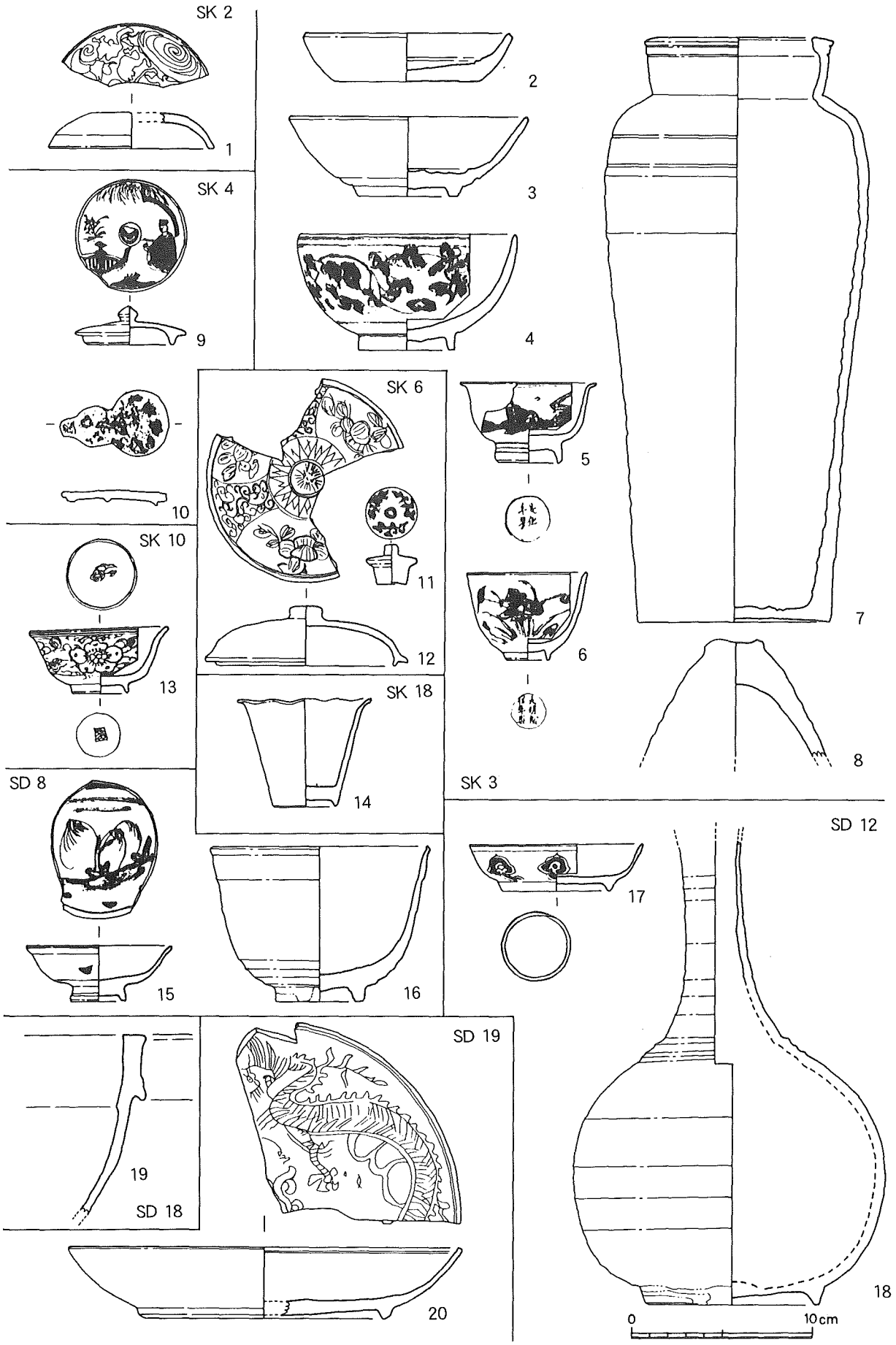
近代に攪乱された層であるが，近世の遺物を含んでいる。注目される資料として中国産の安平壺（443）康熙三彩の硯（444）のいわゆる祥瑞の小鉢（434）などがある。

【註】

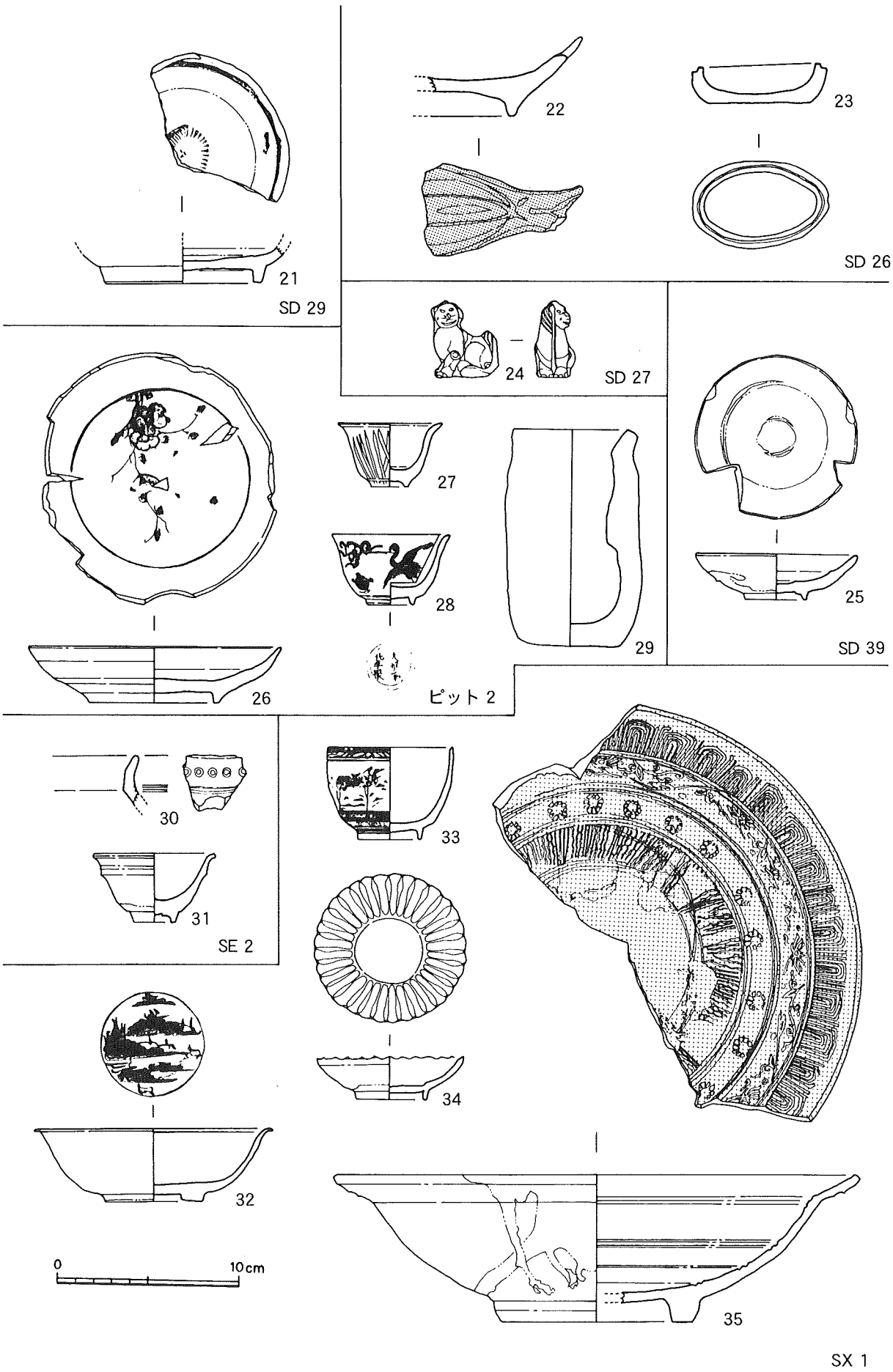
(1) 縄文時代の石鏃，龍泉窯系青磁，小野青花皿C群など貿易陶磁が若干含まれるほか，慶長通寶が出土している。

(2) 瓦質クンディは，築町で出土している。坂井隆による論攷がある（内下町・市1997)。

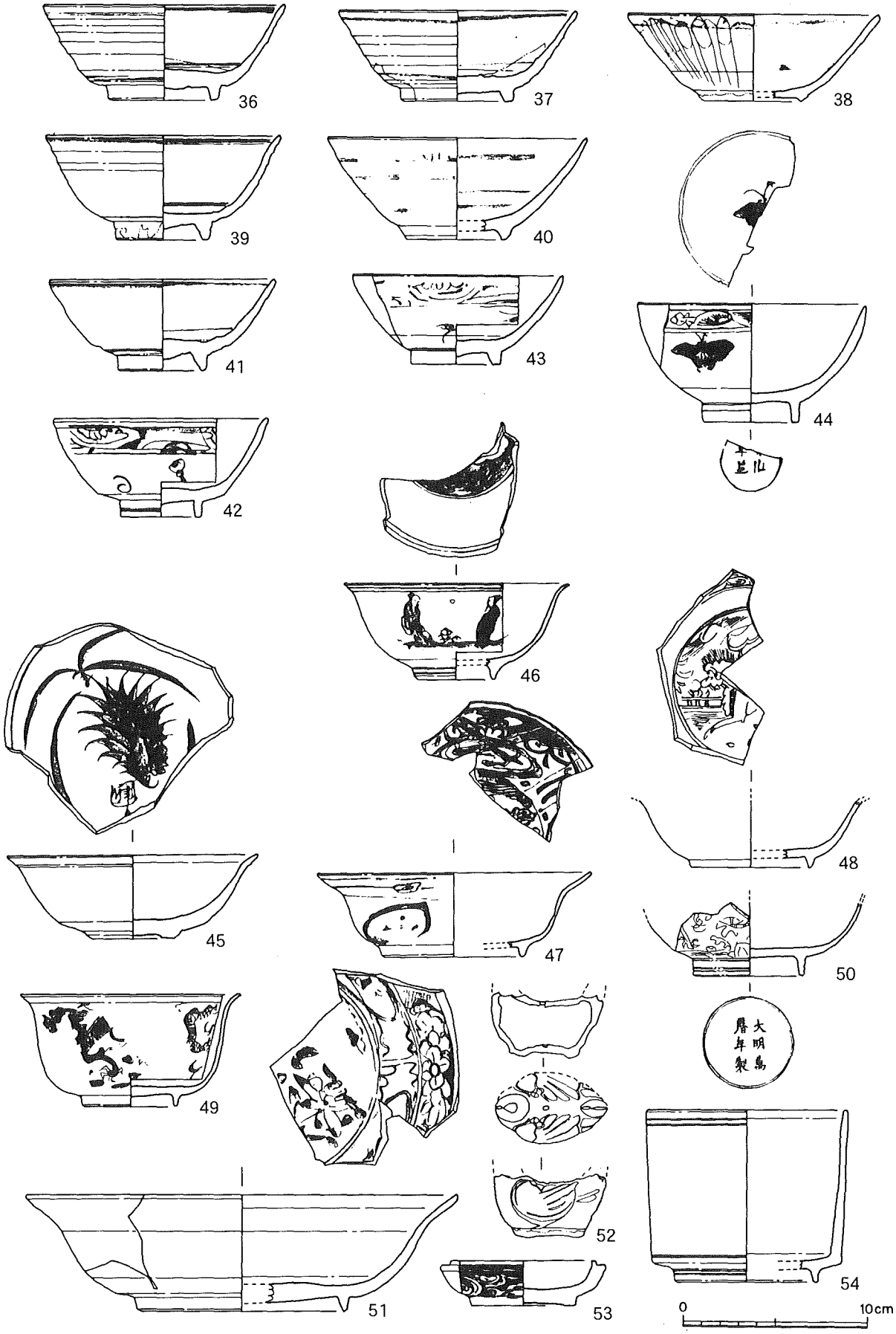
(3) 石帯の出土は，壱岐・石田町の椿遺跡に続き本県で2例目である。


SK 2
1
2
3
SK 4
9
4
SK 6
5
10
11
SK 10
12
7
13
6
SK 18
14
8
SD 8
SK 3
SD 12
17
15
16
SD 19
19
SD 18
18
20
0
10cm

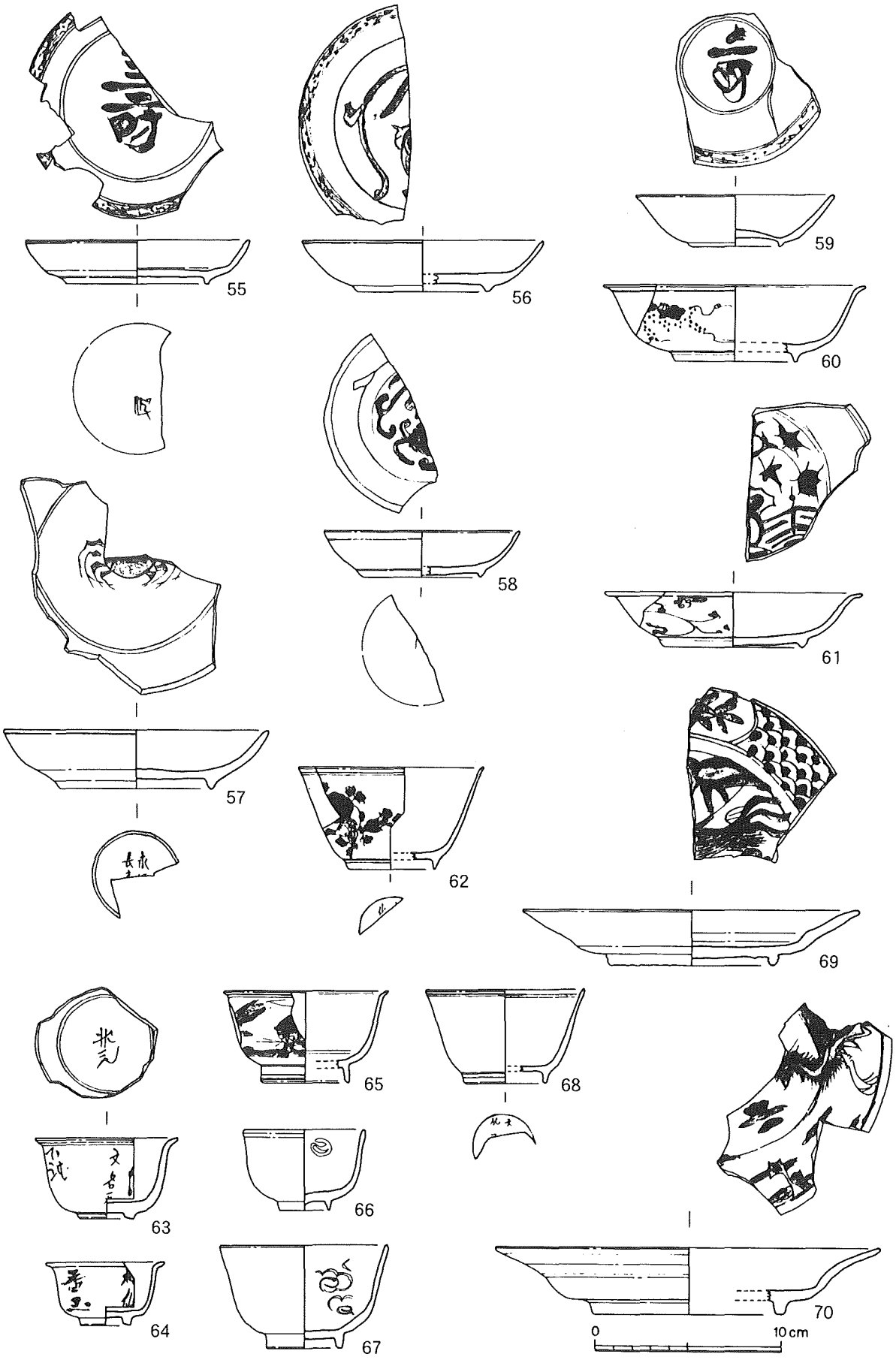
第 14 図　出土遺物①


21
SD 29
22
23
SD 26
24
SD 27
27
28
29
25
SD 39
26
ピット 2
30
31
SE 2
33
34
32
35
SX 1
0
10cm

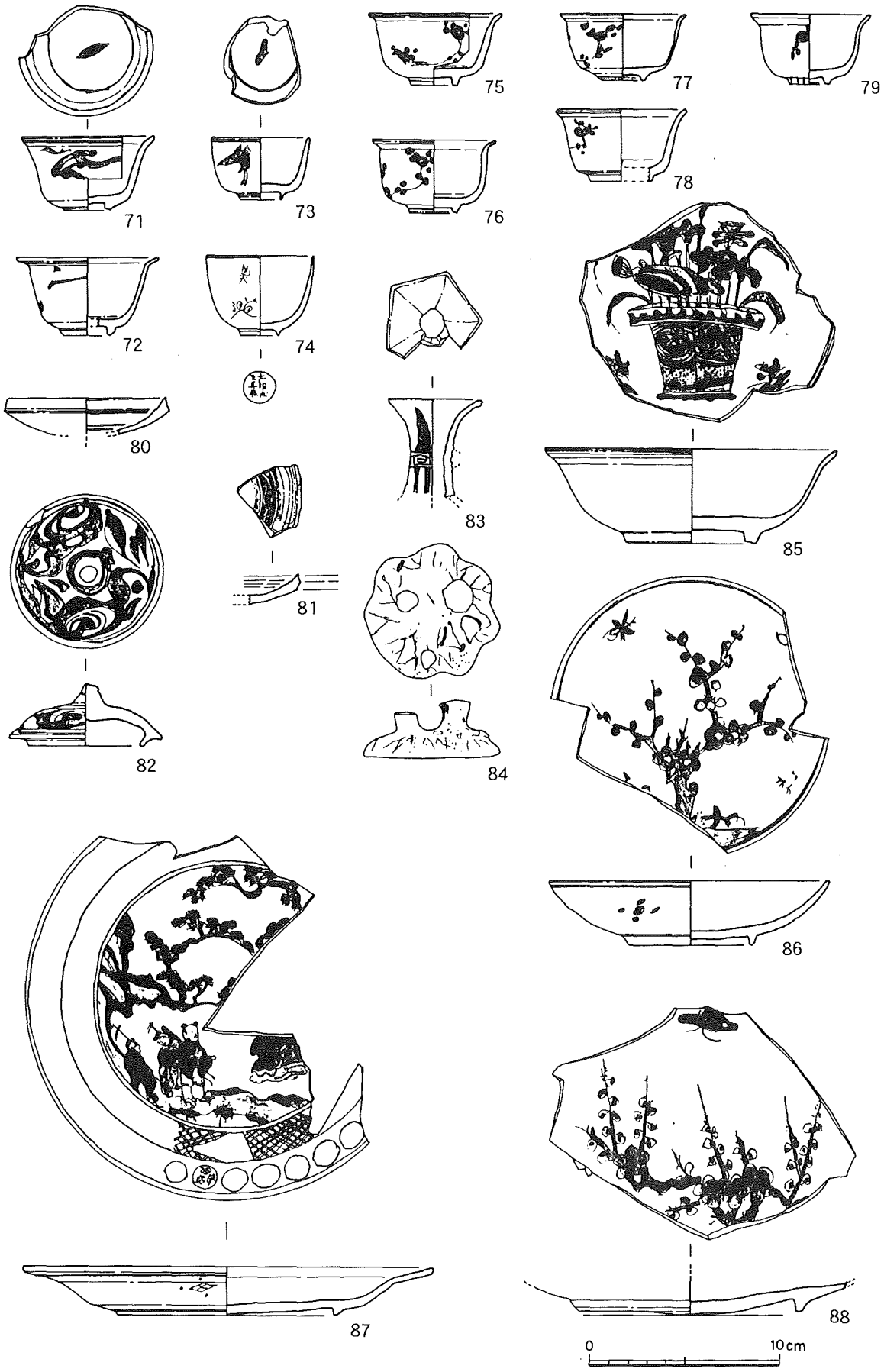
第 15 図　出土遺物②



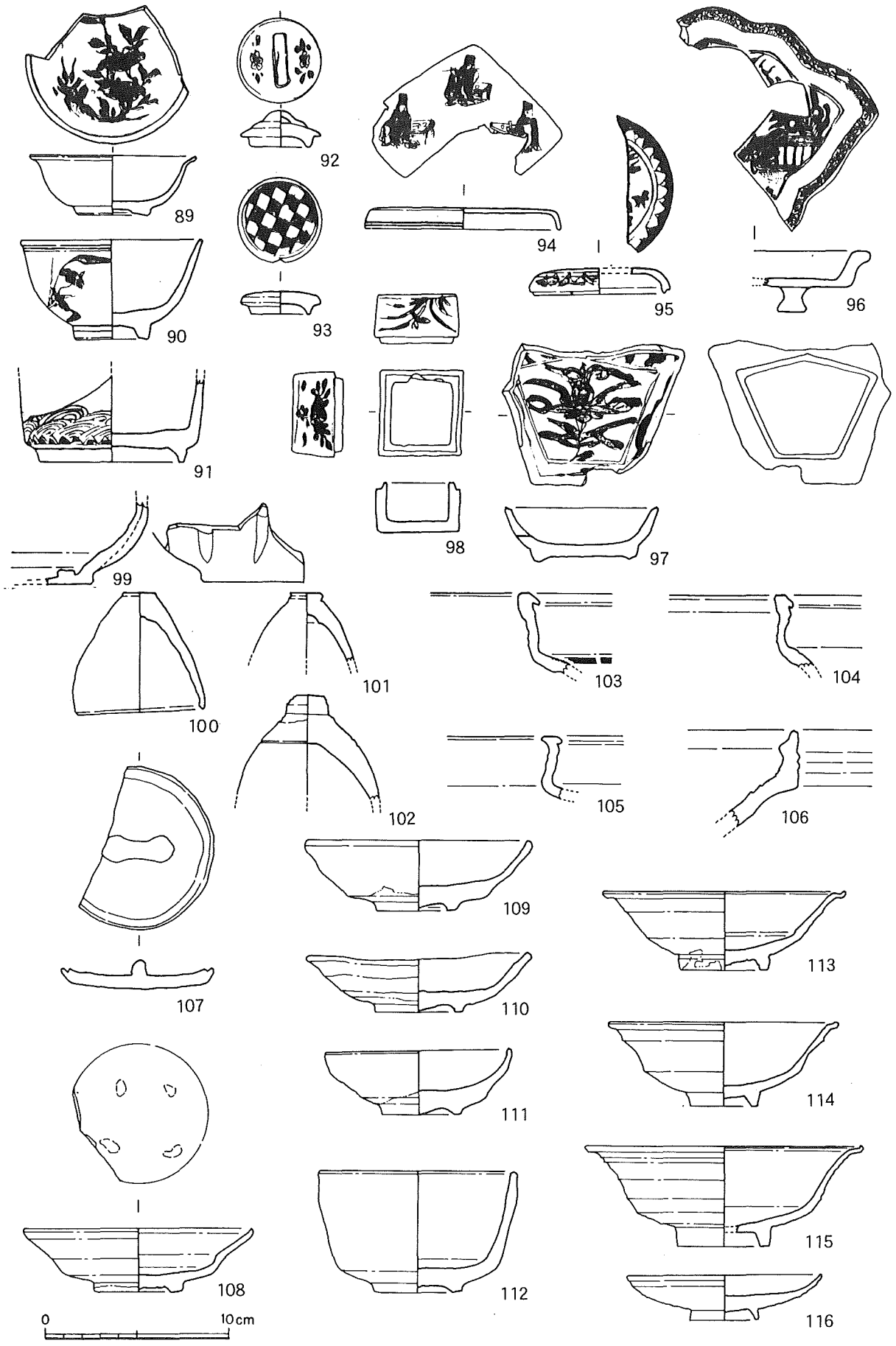

第 16 図　出土遺物③



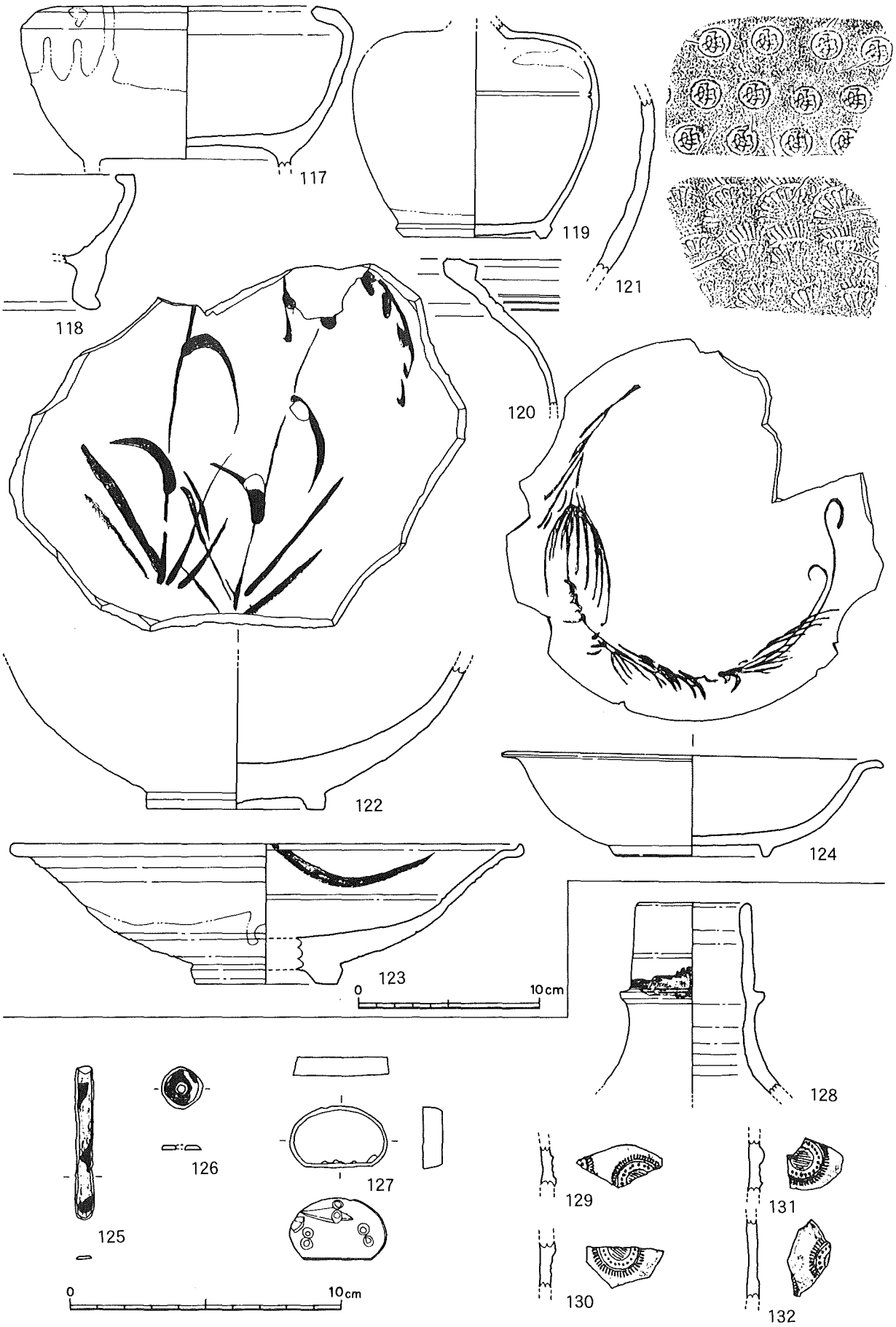

第17図　出土遺物④




第 18 図　出土遺物⑤


89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
0
10cm

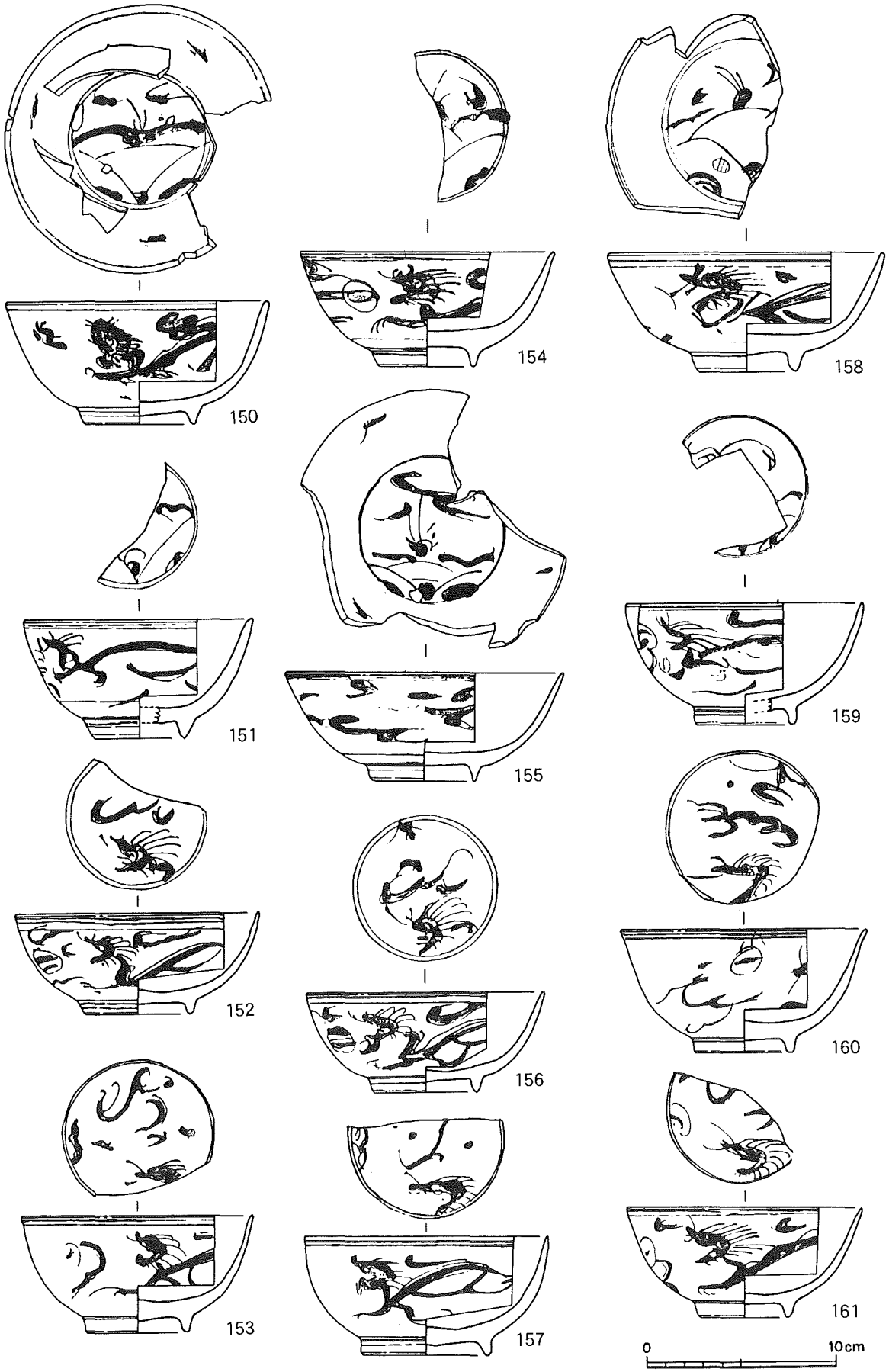
第 19 図　出土遺物⑥


117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
0
10cm
0
10cm

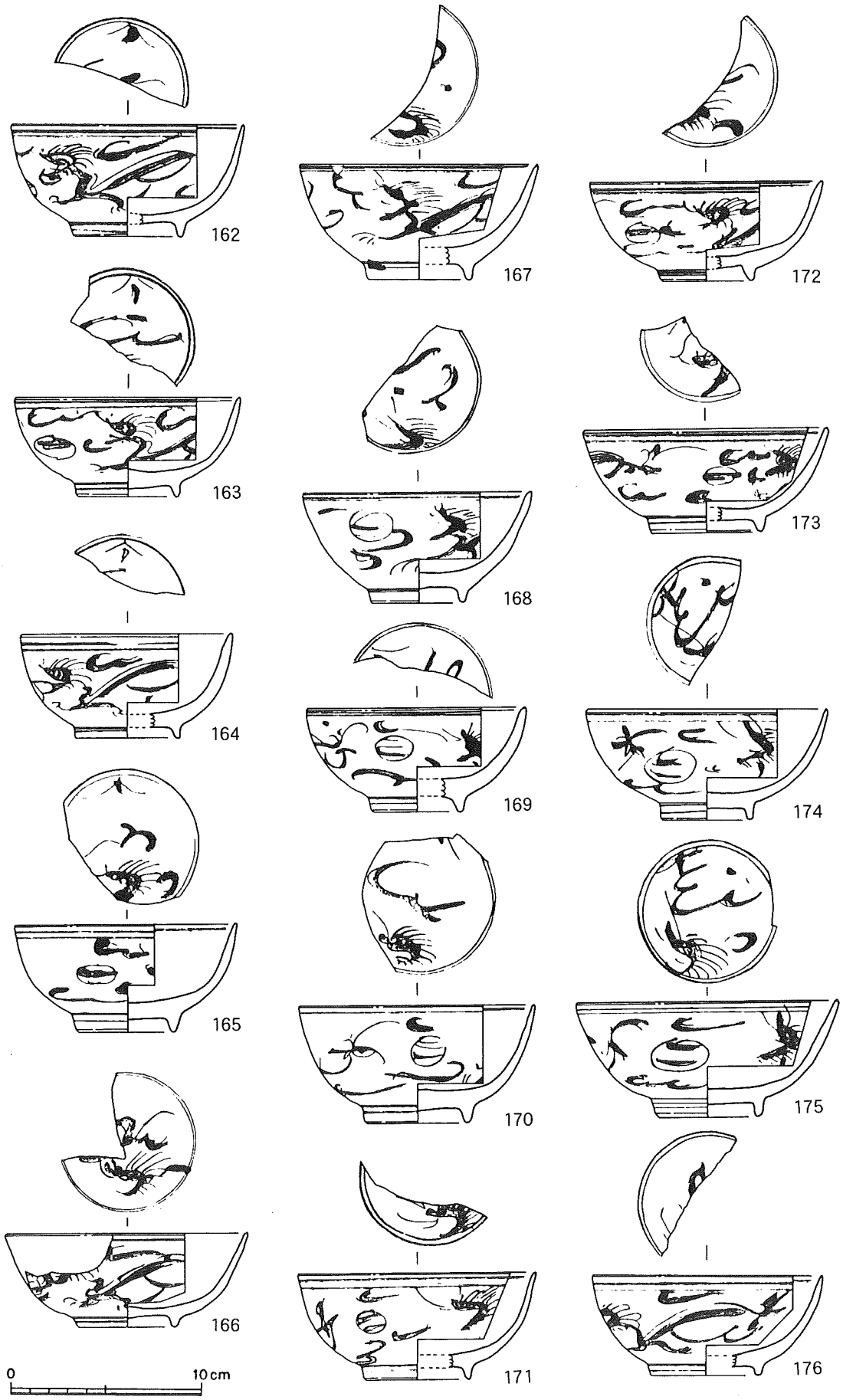
第 20 図　出土遺物⑦

133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
0
10cm

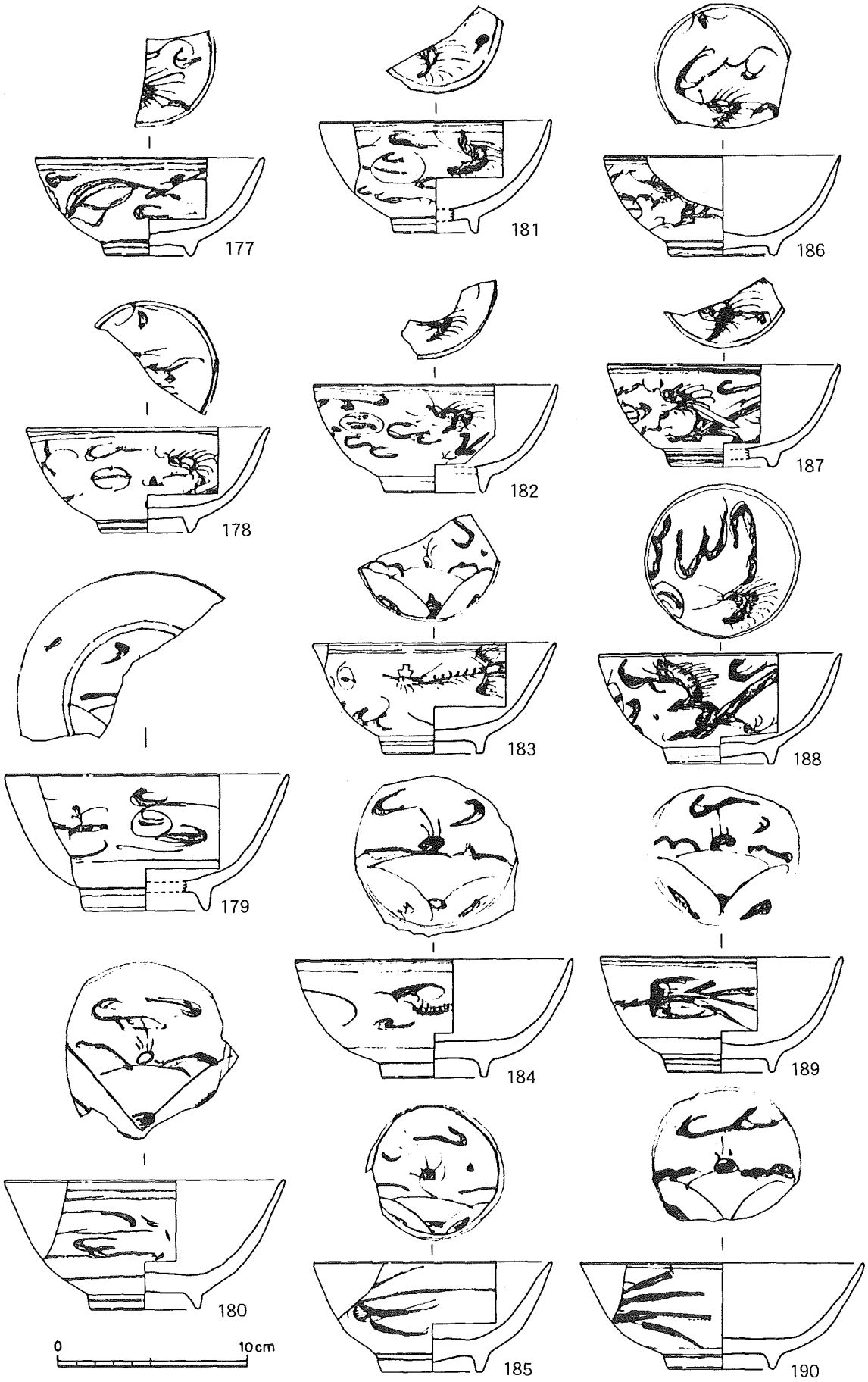
第 21 図　出土遺物⑧



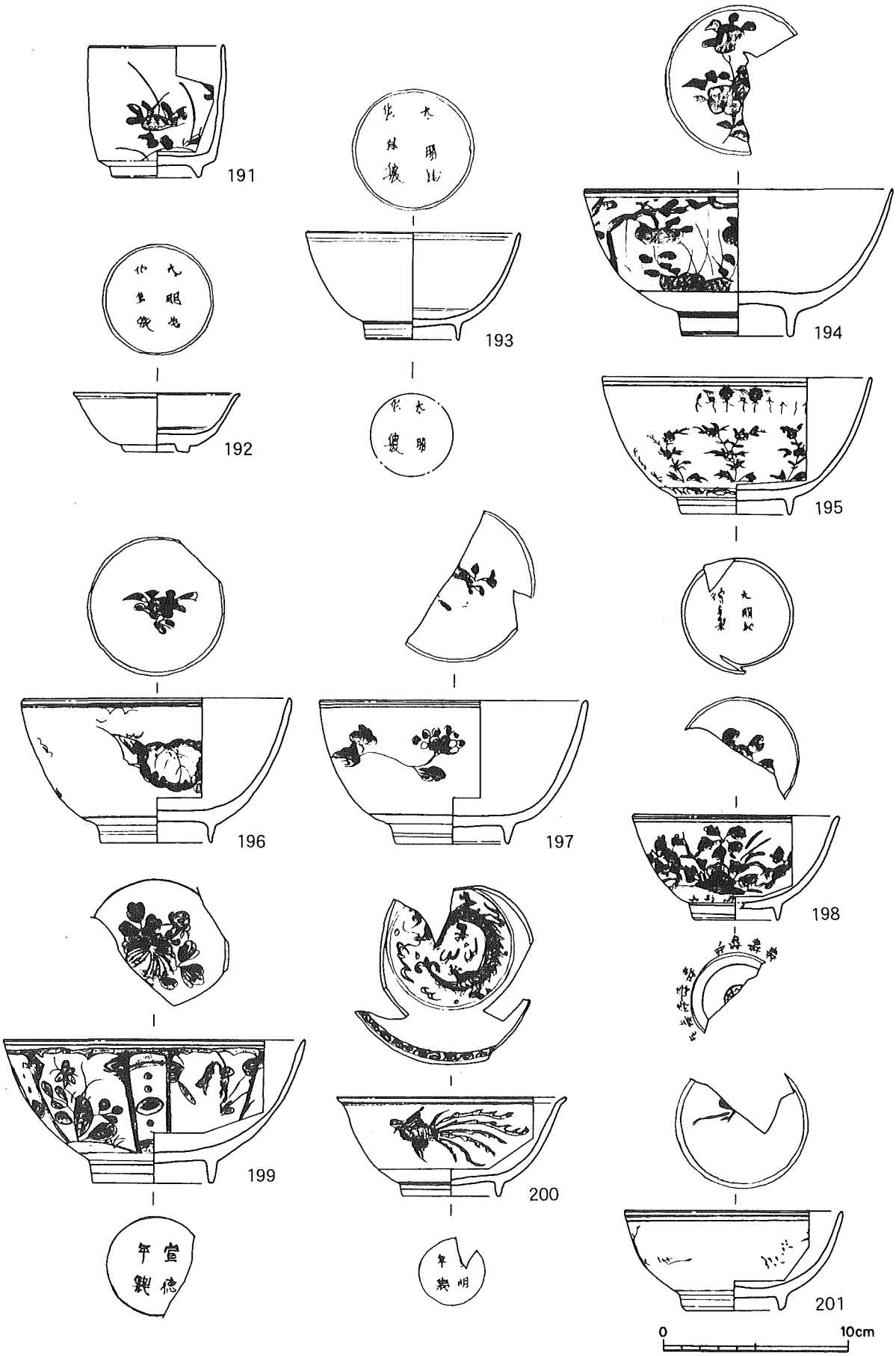

第 22 図　出土遺物⑨


162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
0
10cm

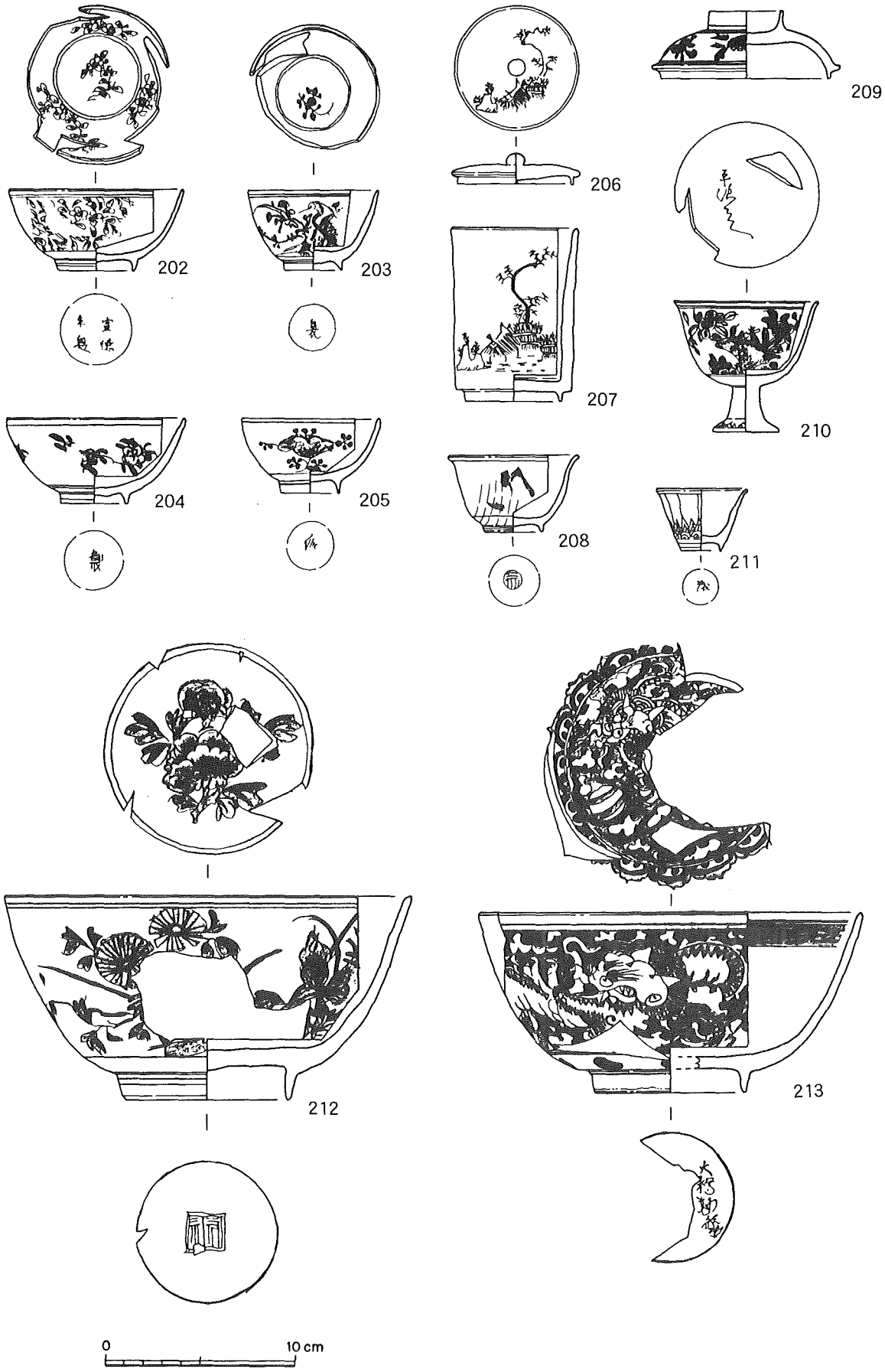
第 23 図　出土遺物⑩



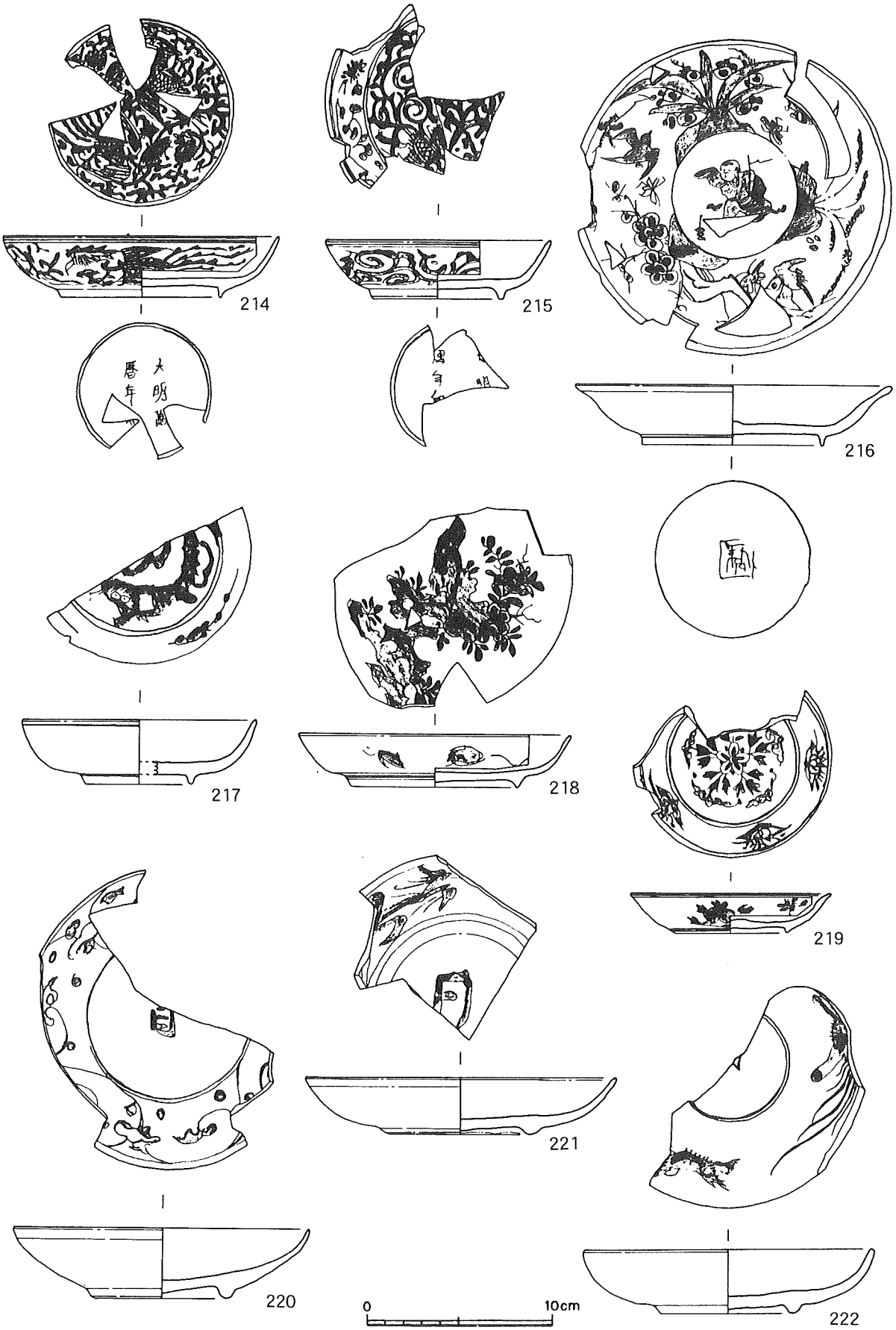

第 24 図　出土遺物⑪



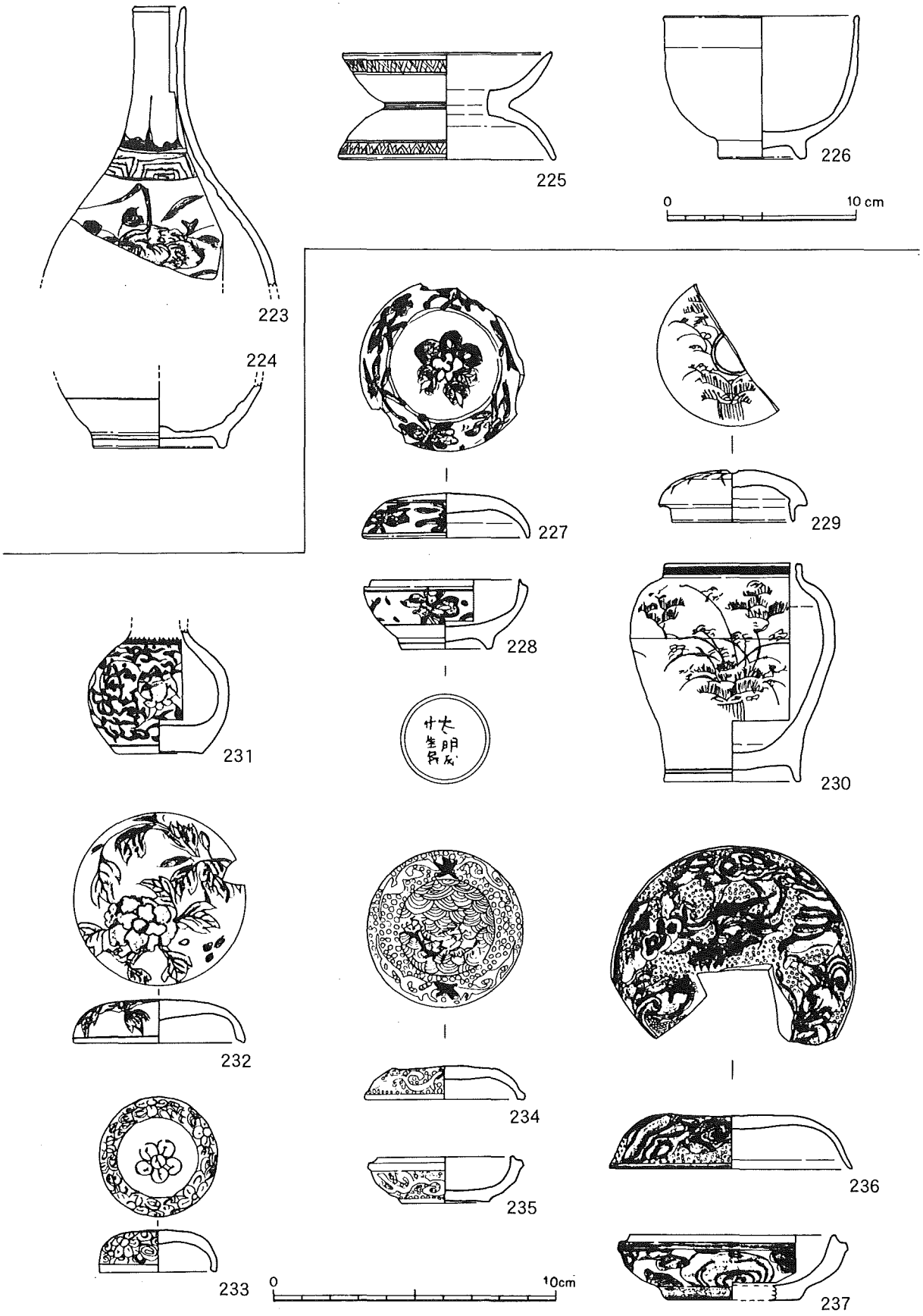

第 25 図　出土遺物⑫



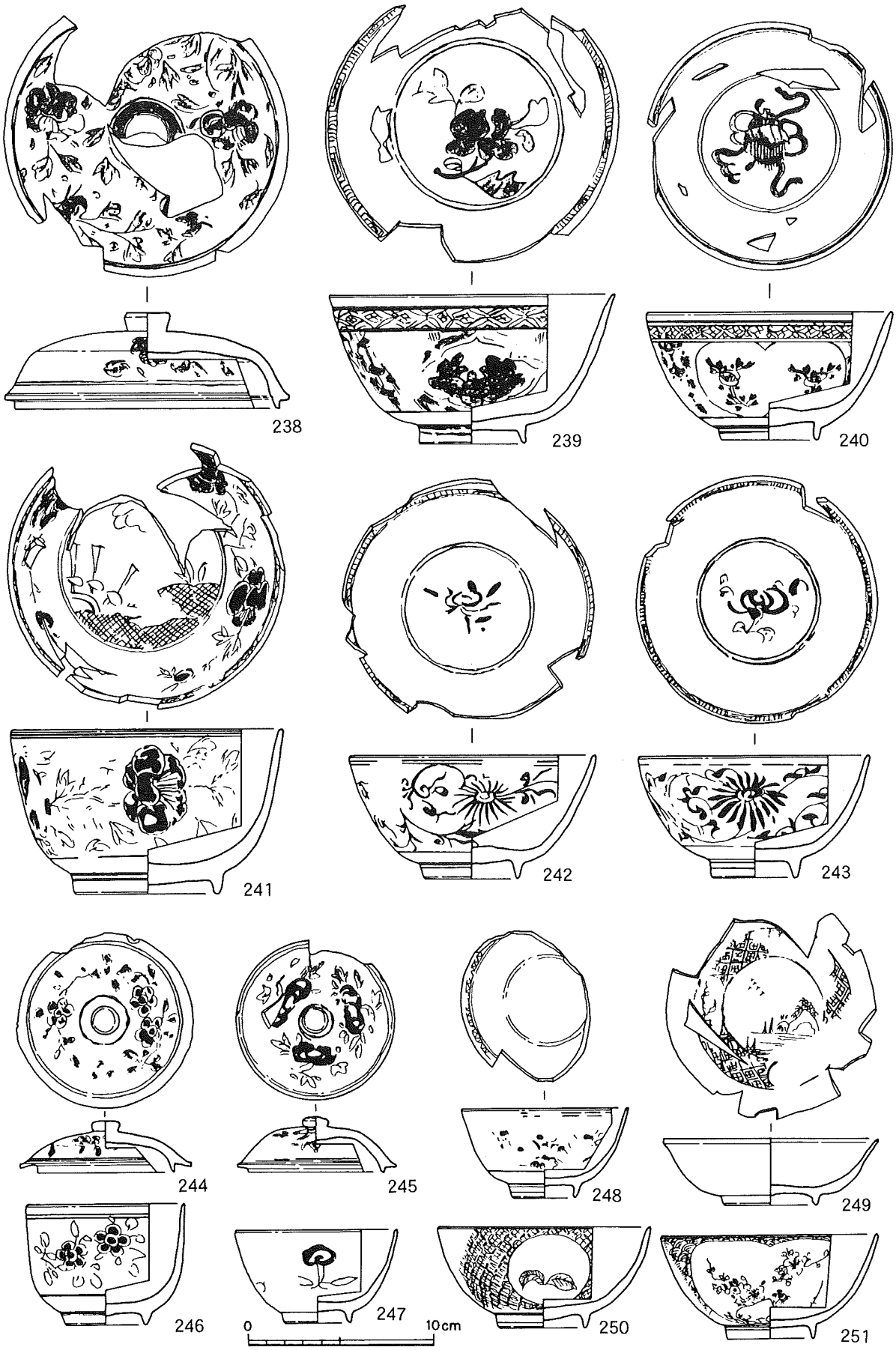

第 26 図　出土遺物⑬



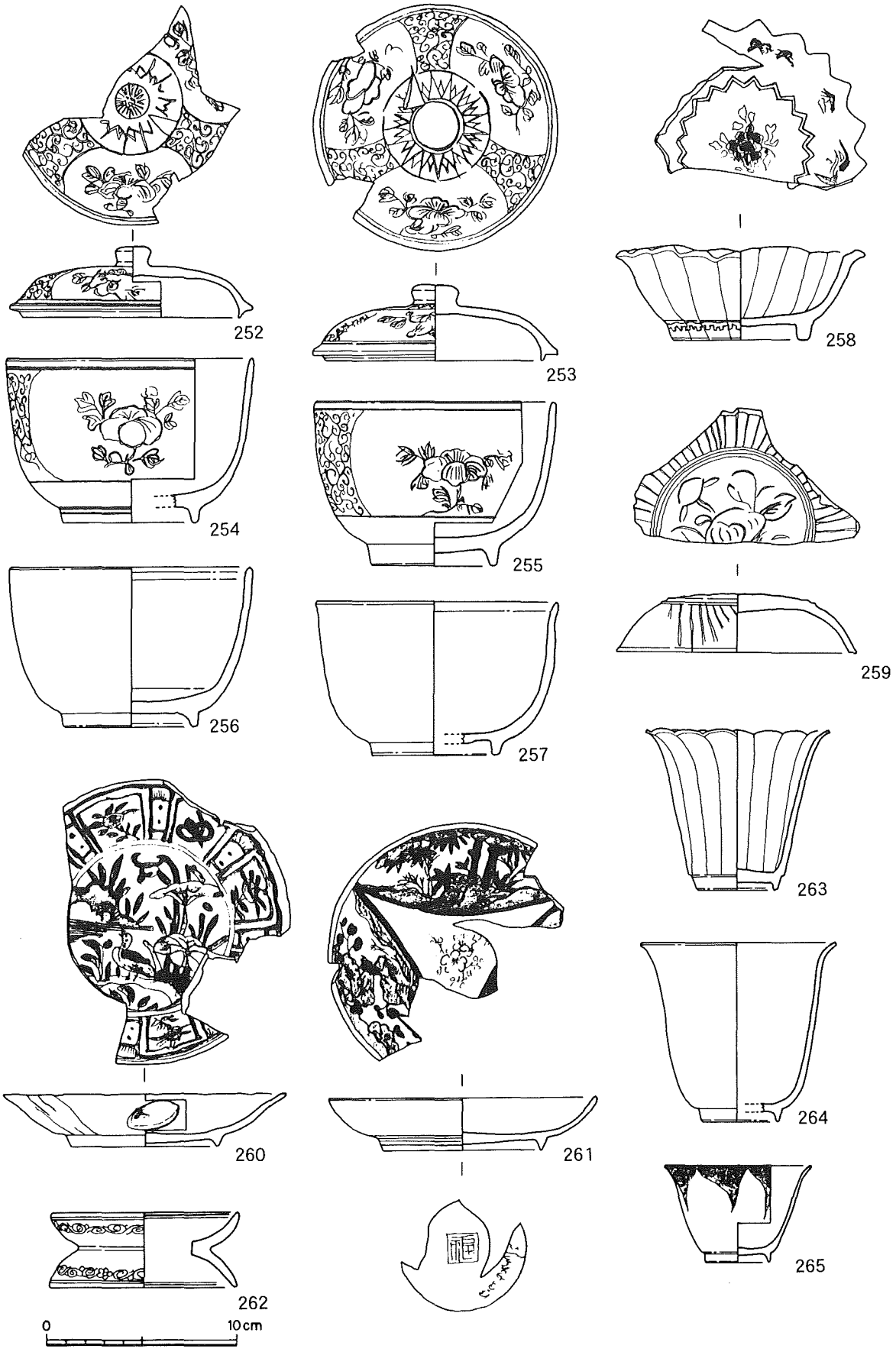

第 27 図　出土遺物⑭


223
224
225
226
0
10 cm
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
0
10cm

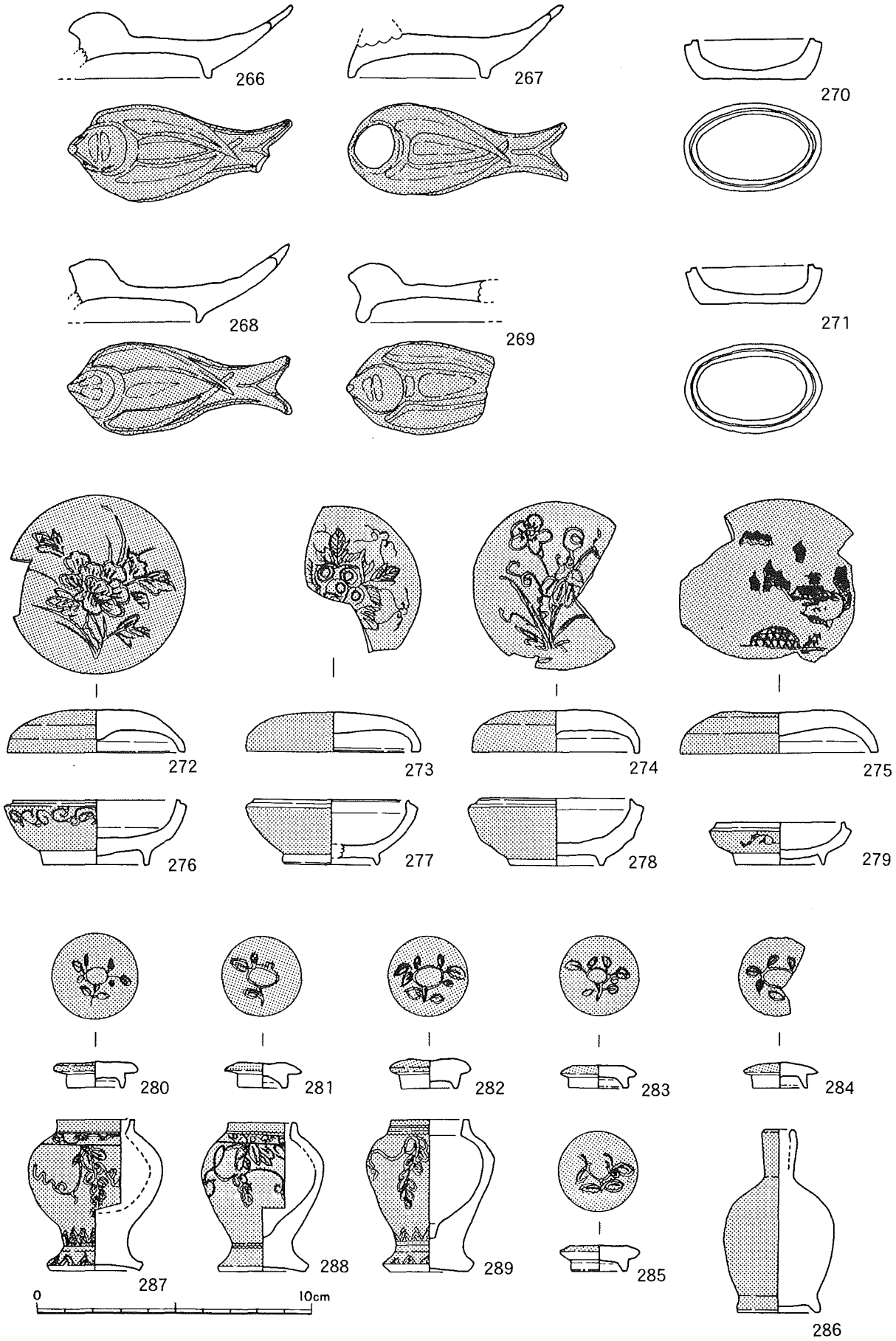
第 28 図　出土遺物⑮



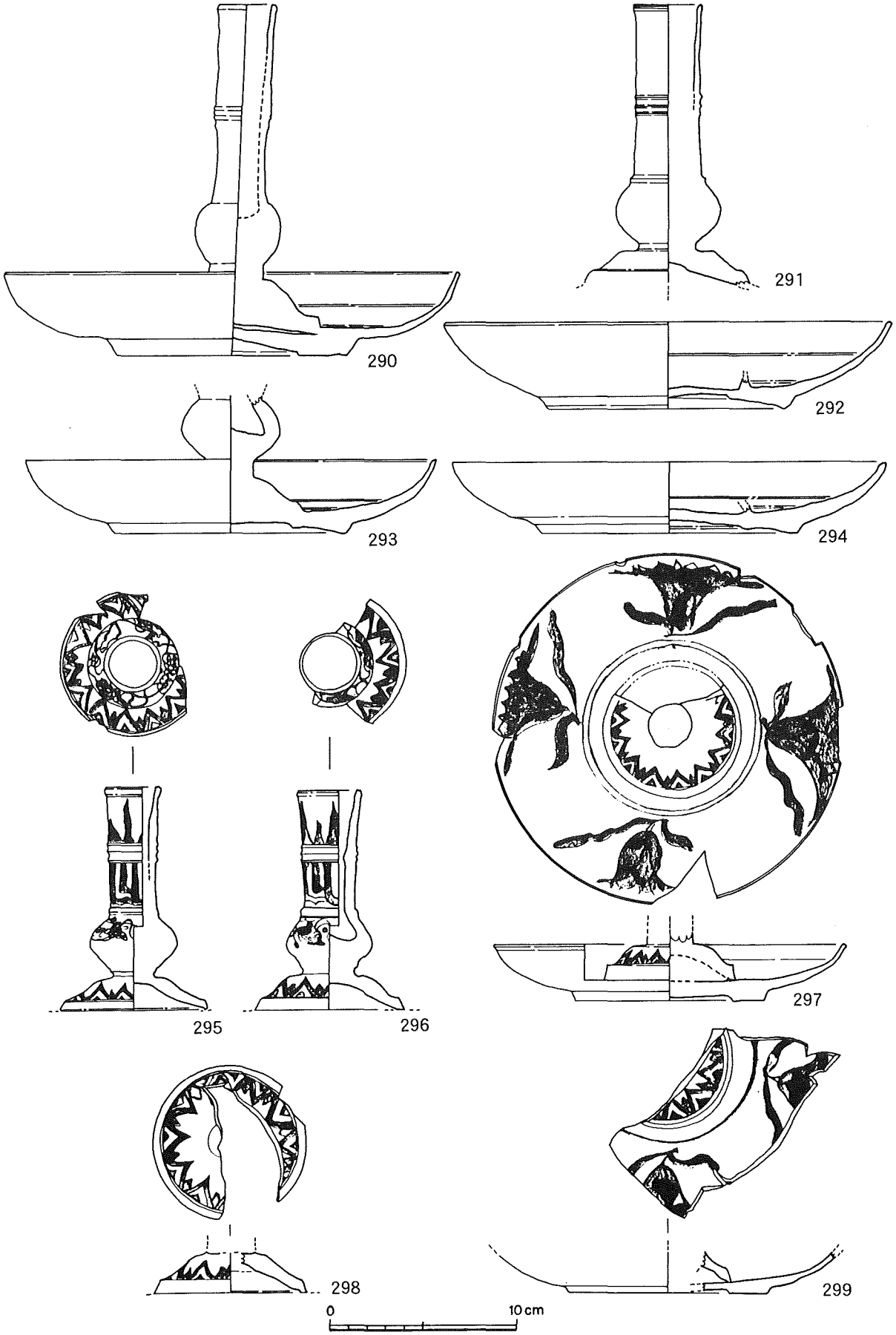

第 29 図　出土遺物⑯



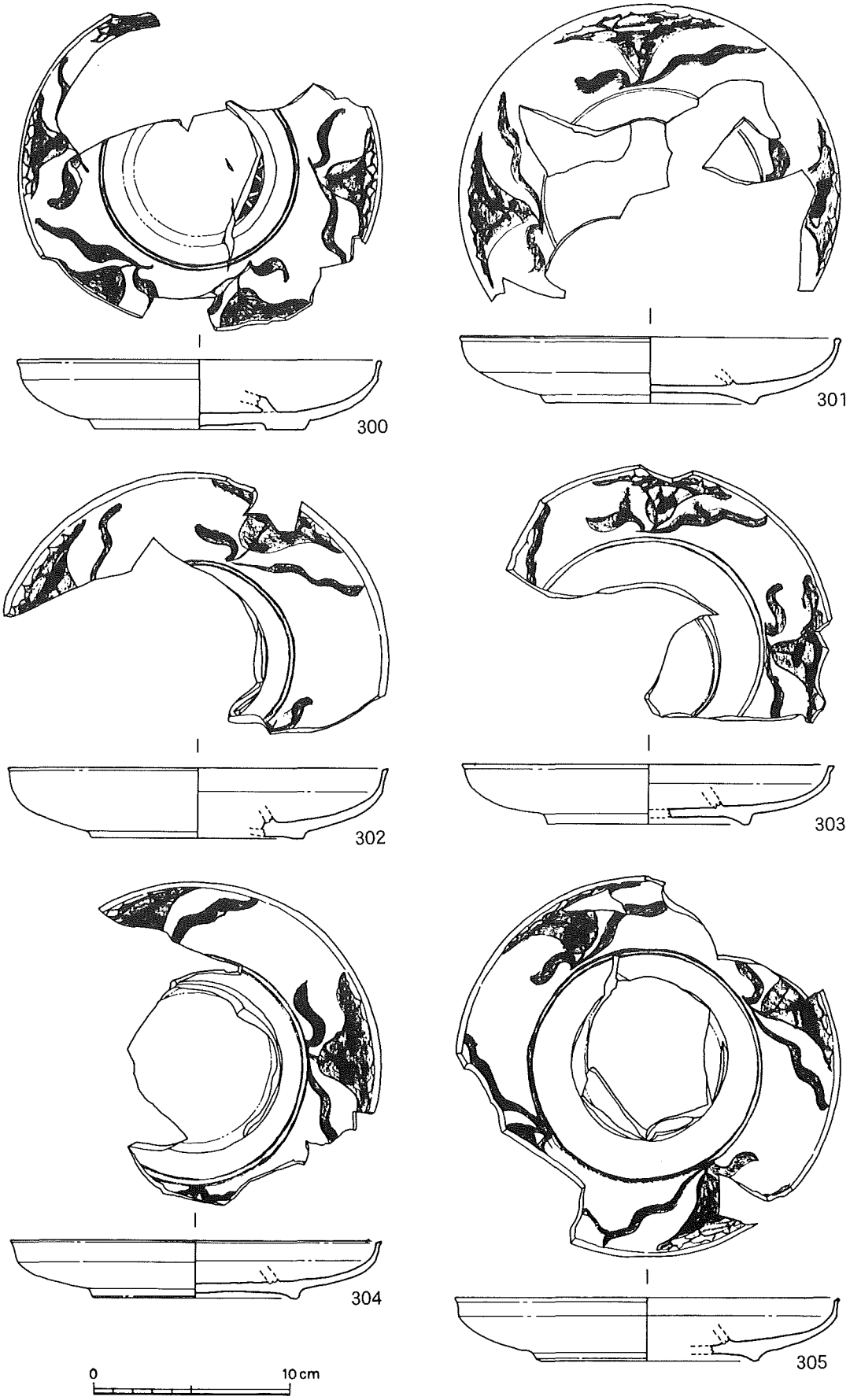

第 30 図　出土遺物⑰


266
267
270
268
269
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
287
288
289
285
286
0
10cm

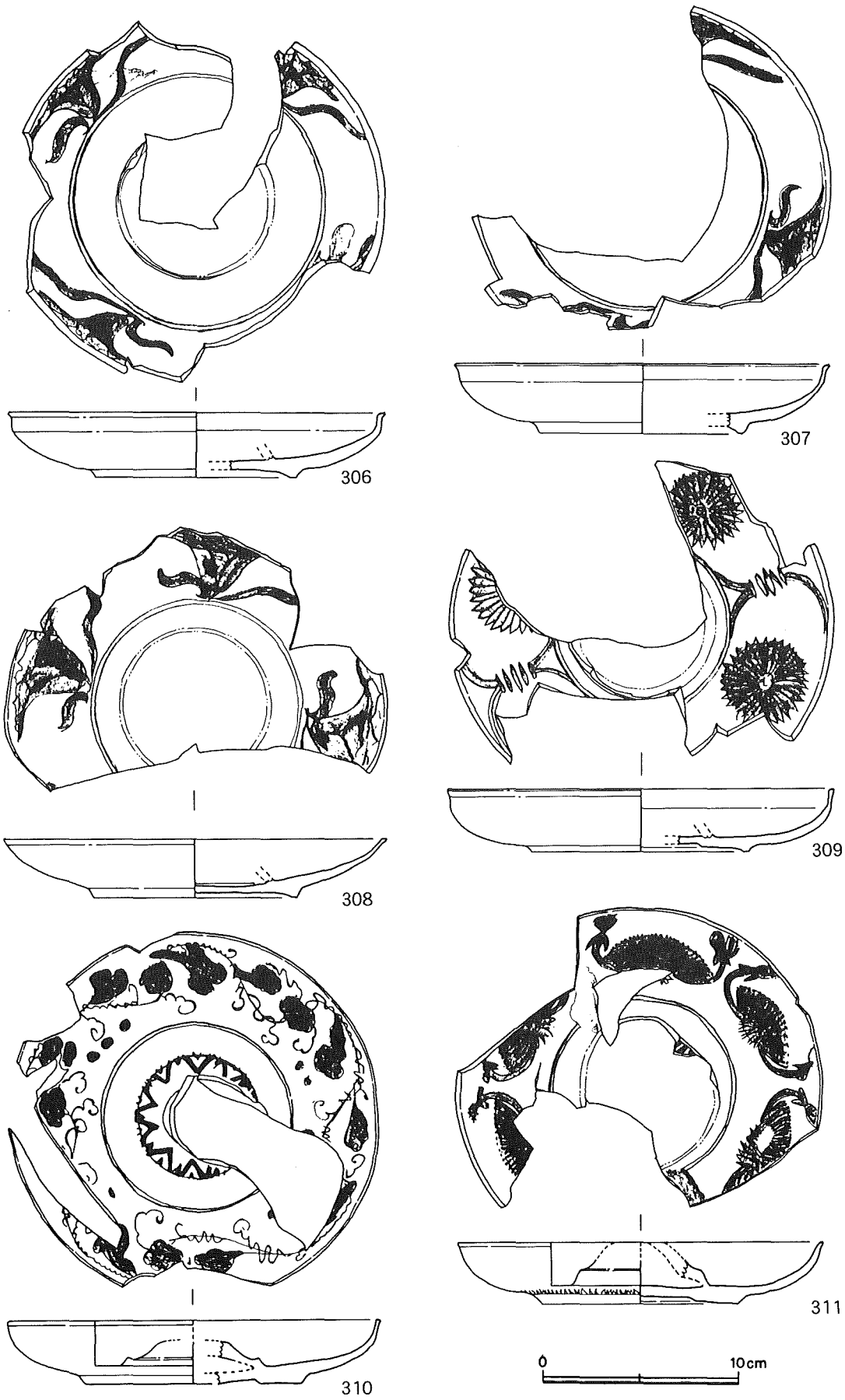
第31図　出土遺物⑱



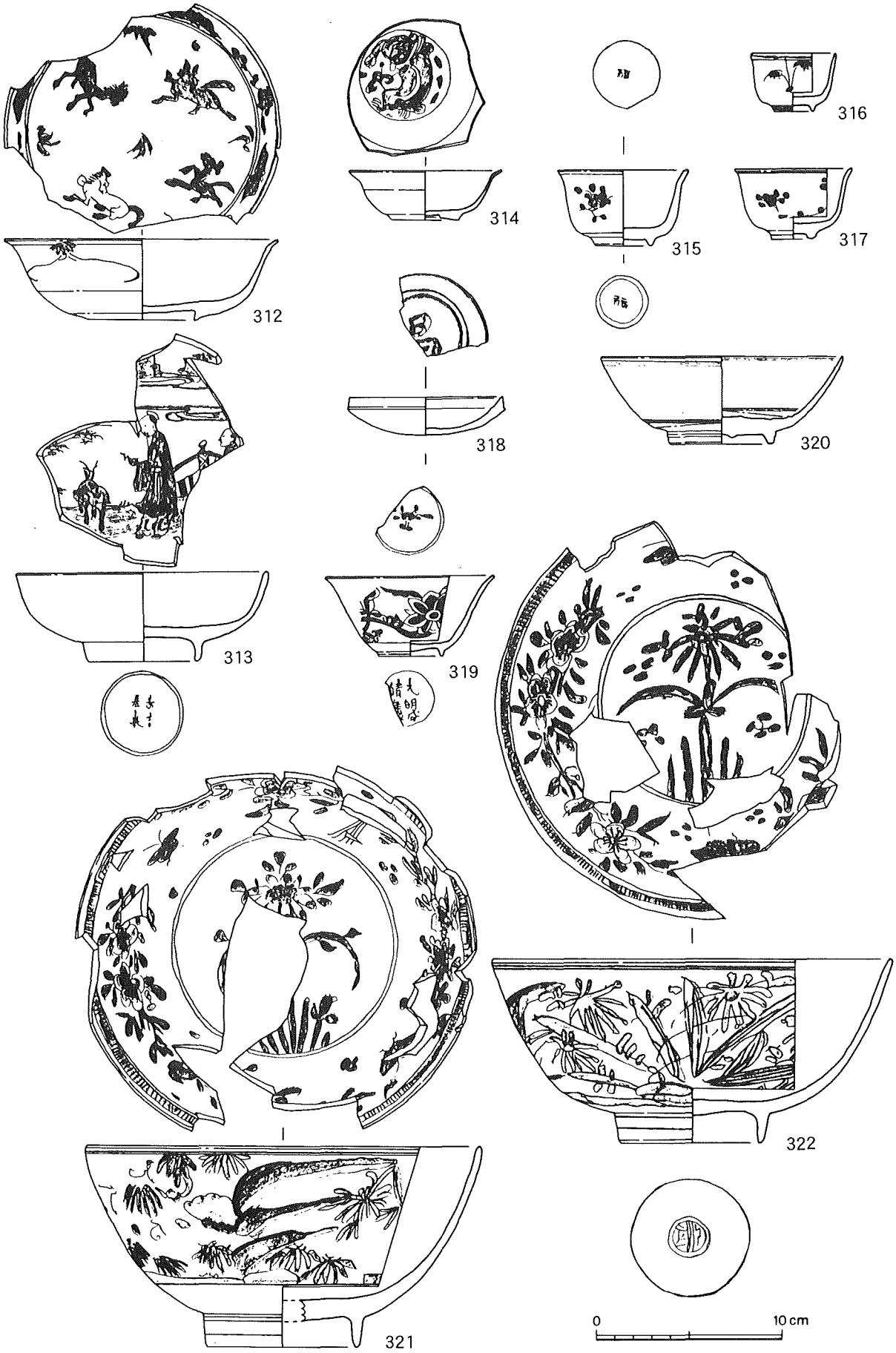

第 32 図　出土遺物⑲



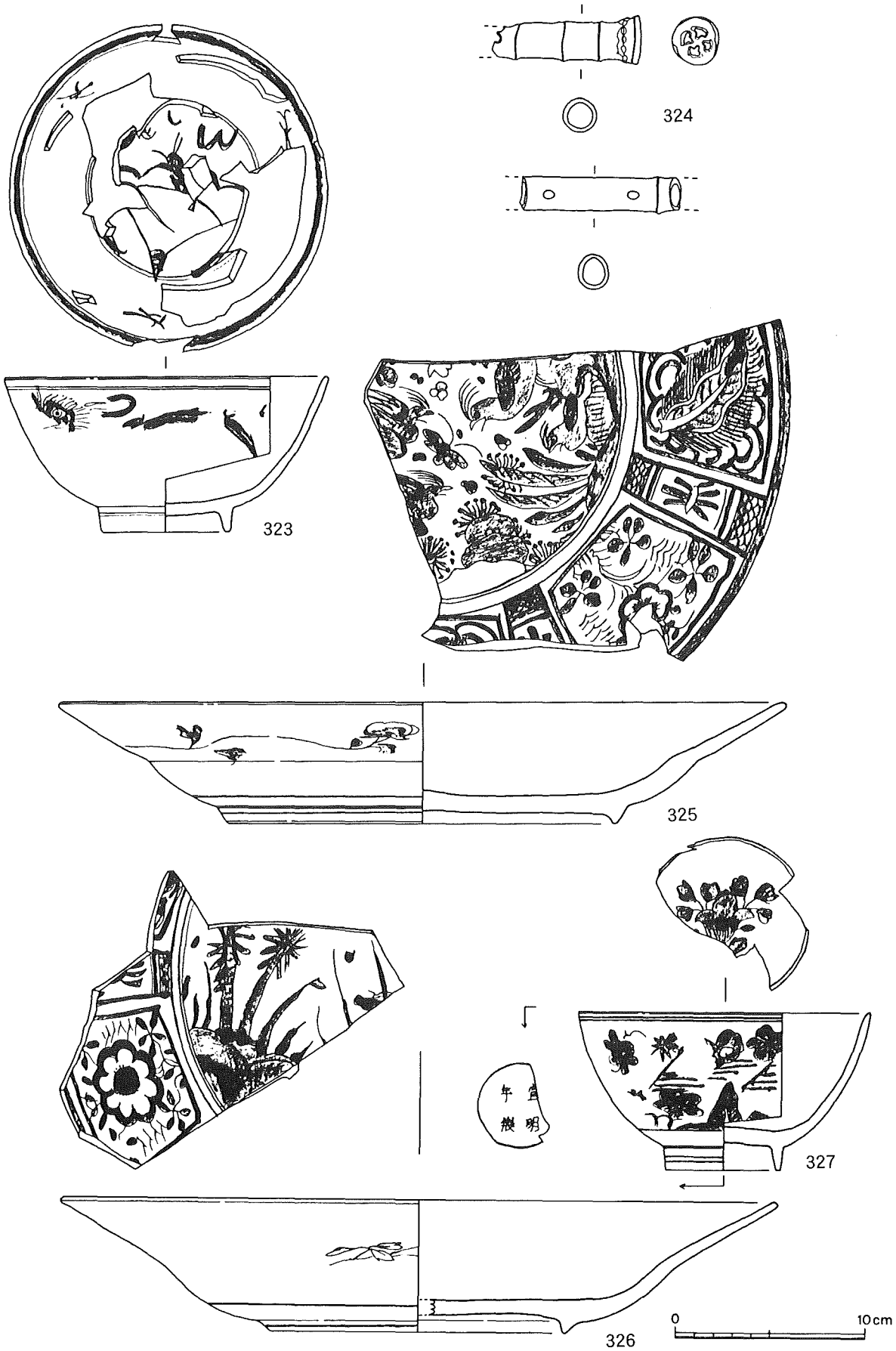

第 33 図　出土遺物⑳



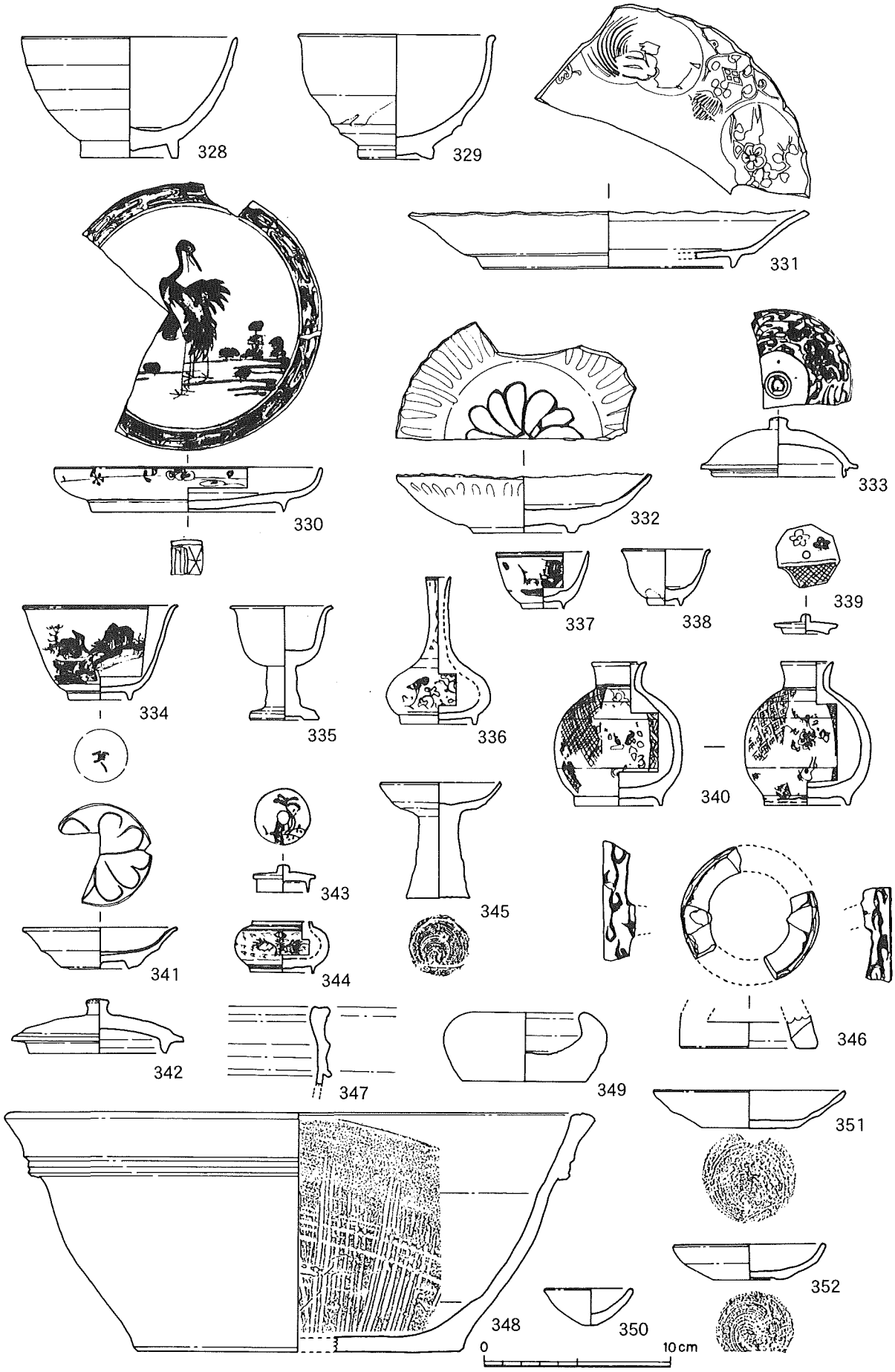

第 34 図　出土遺物㉑



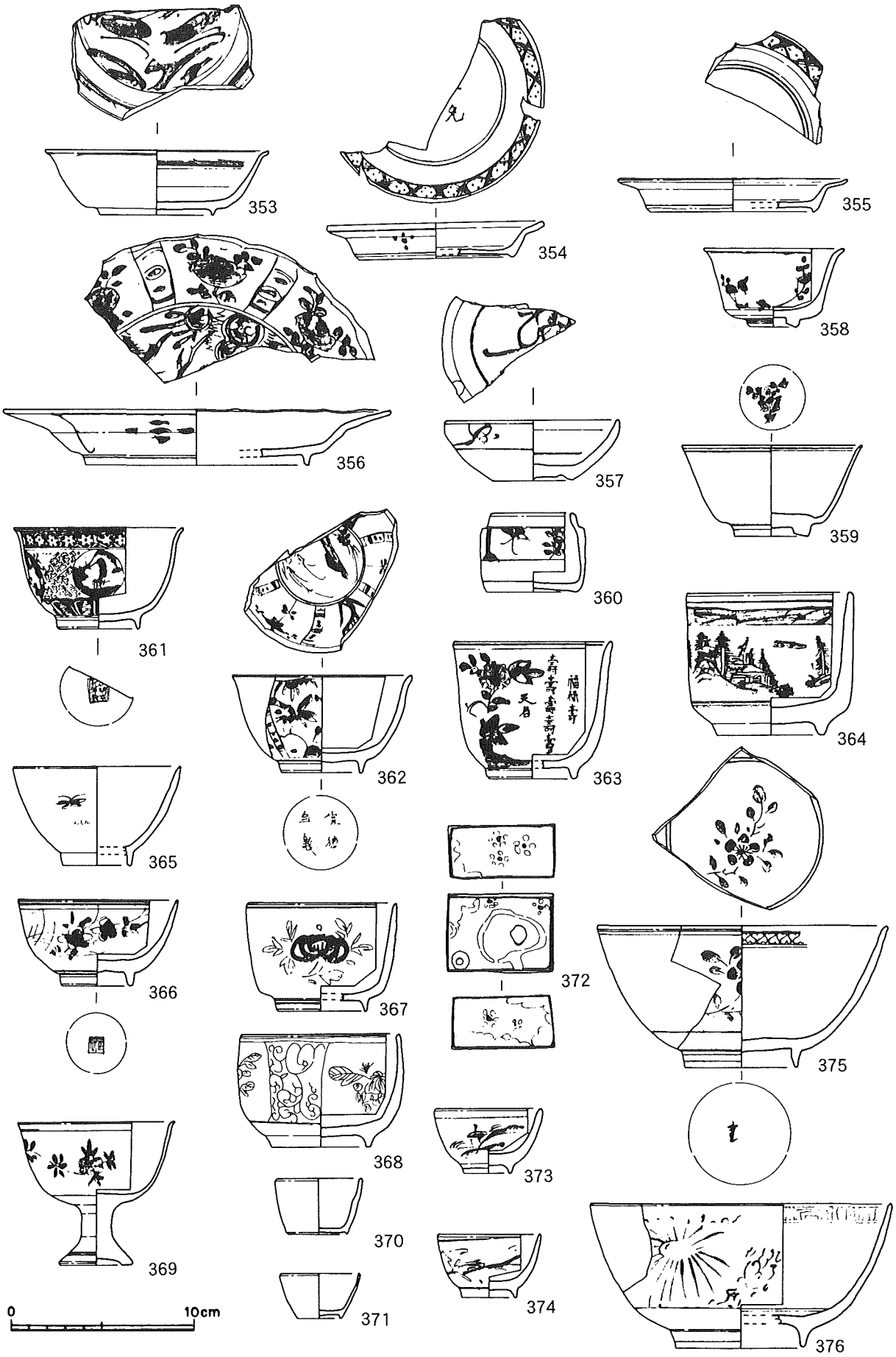

第35図　出土遺物㉒



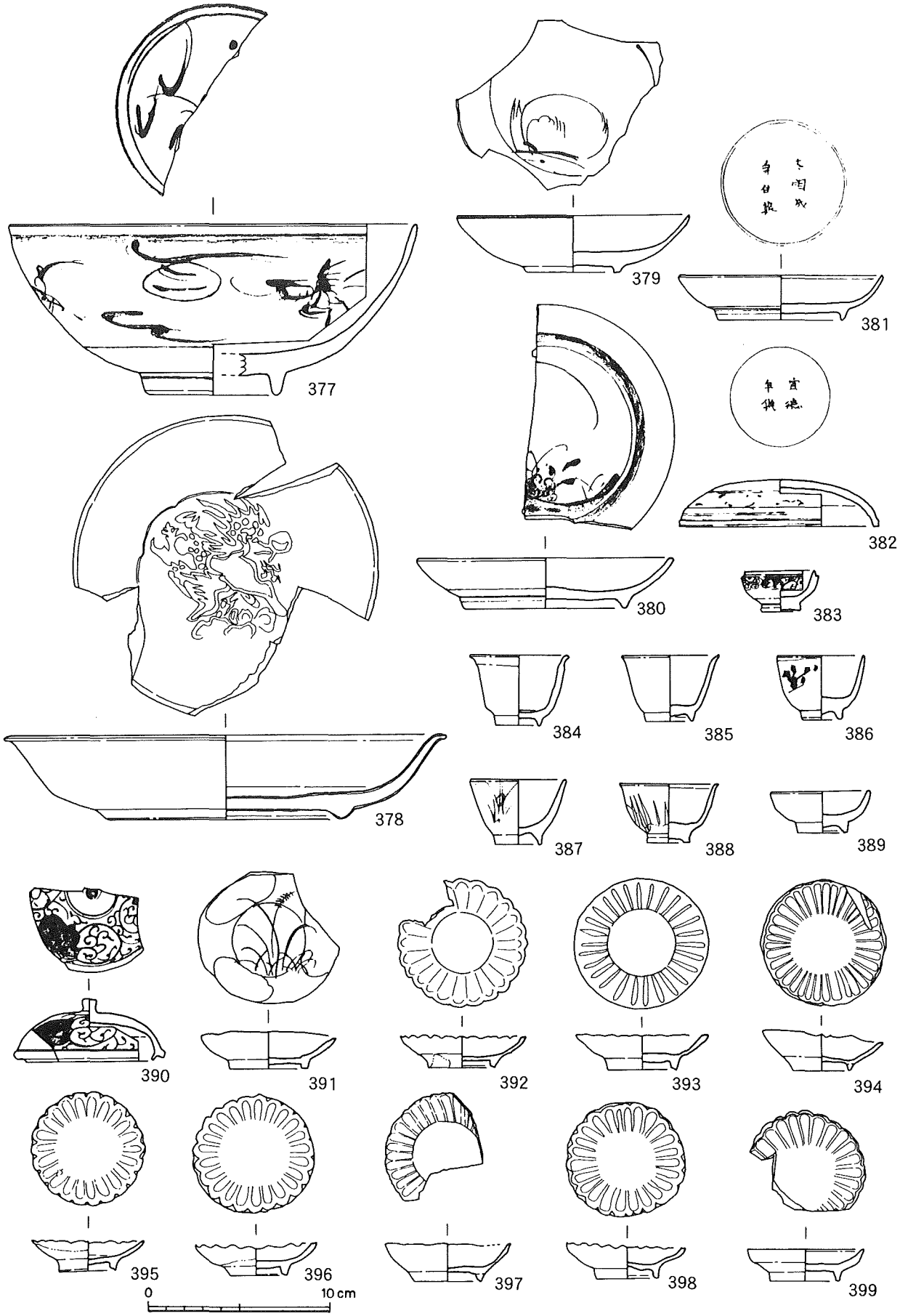

第 36 図　出土遺物㉓


328
329
331
330
332
333
337
338
339
334
335
336
340
343
345
341
344
346
342
347
349
351
348
350
352
0
10cm

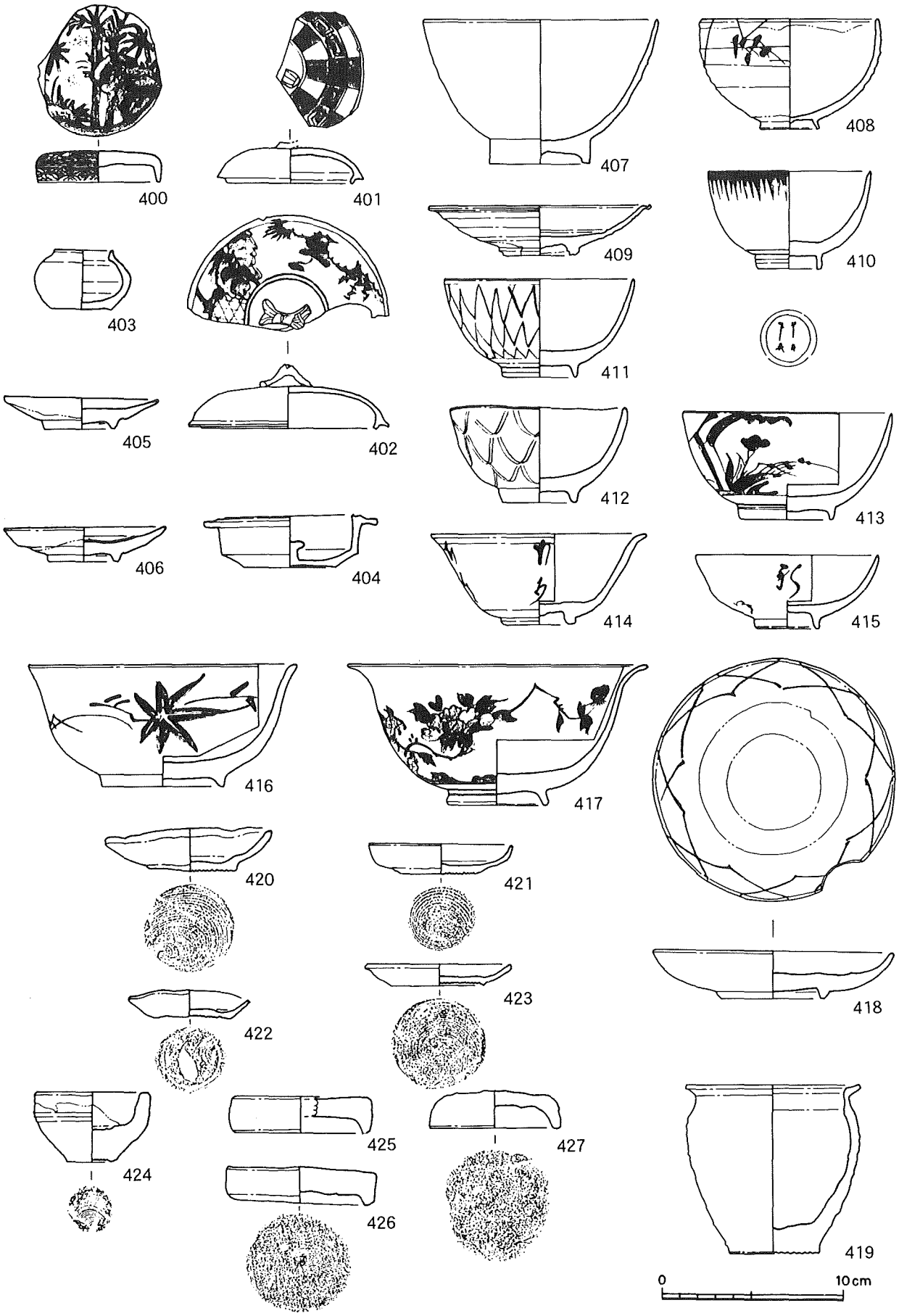
第 37 図　出土遺物㉔


353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
0
10cm

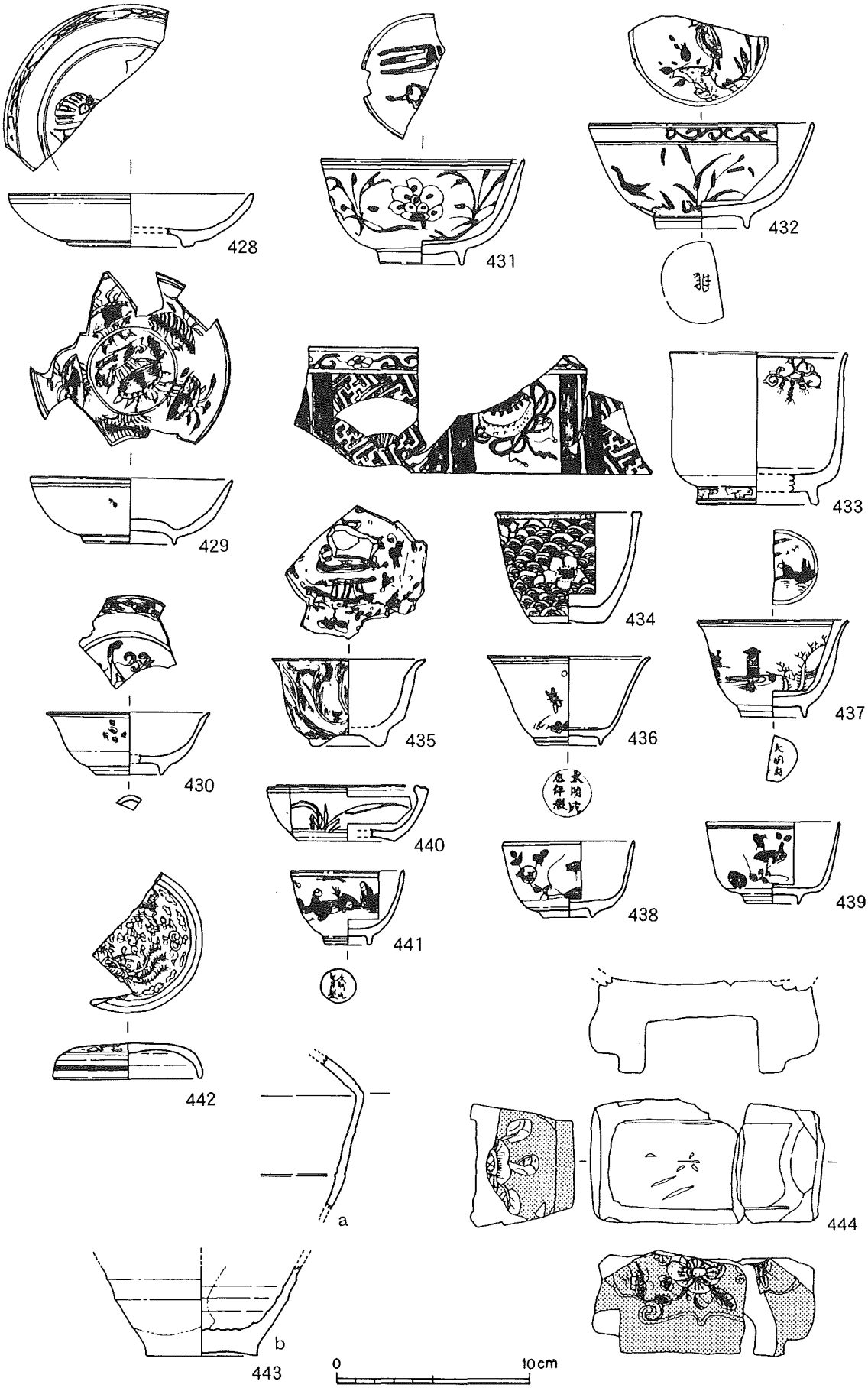
第 38 図　出土遺物㉕


377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
0
10cm

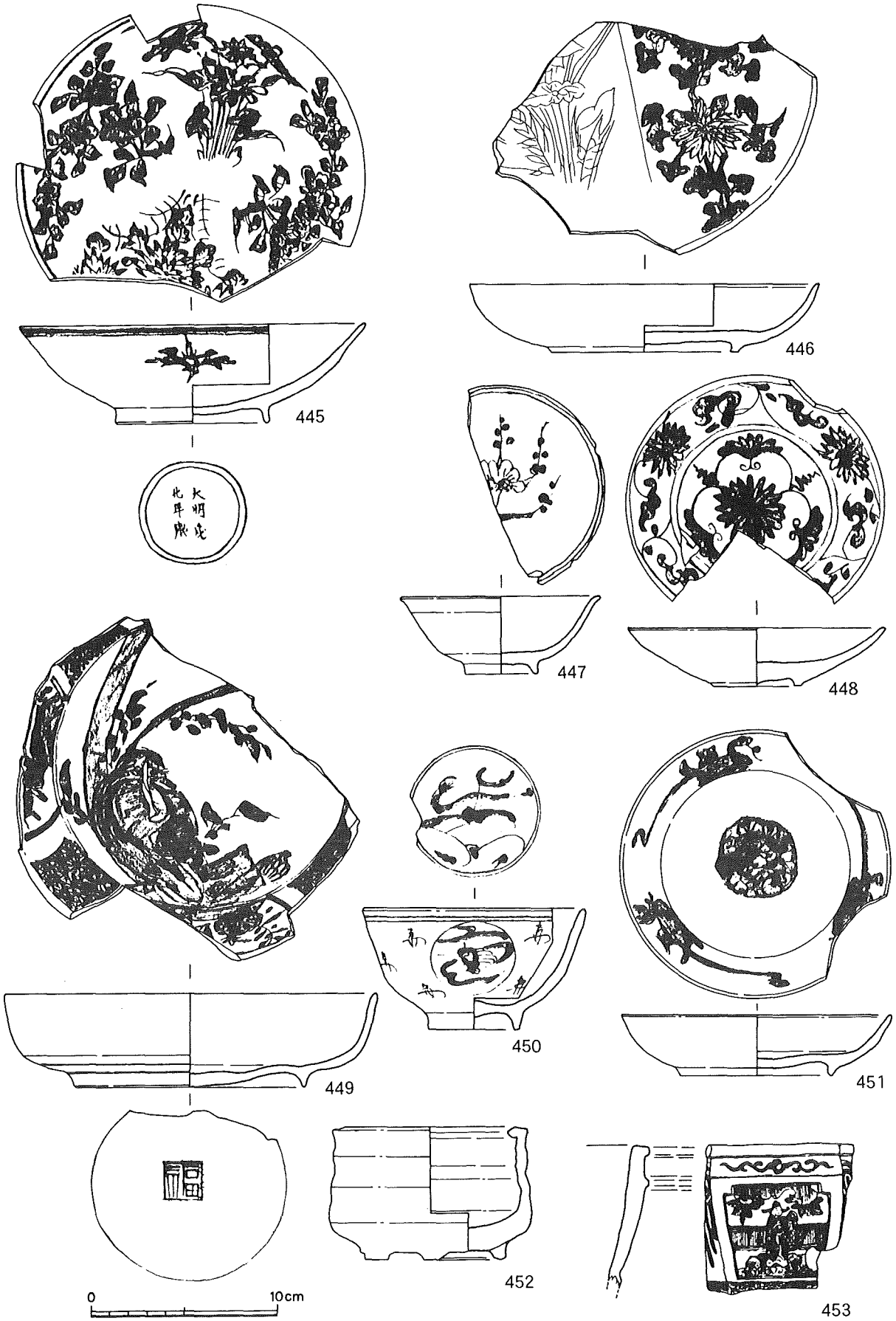
第 39 図　出土遺物㉖


400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
0
10cm

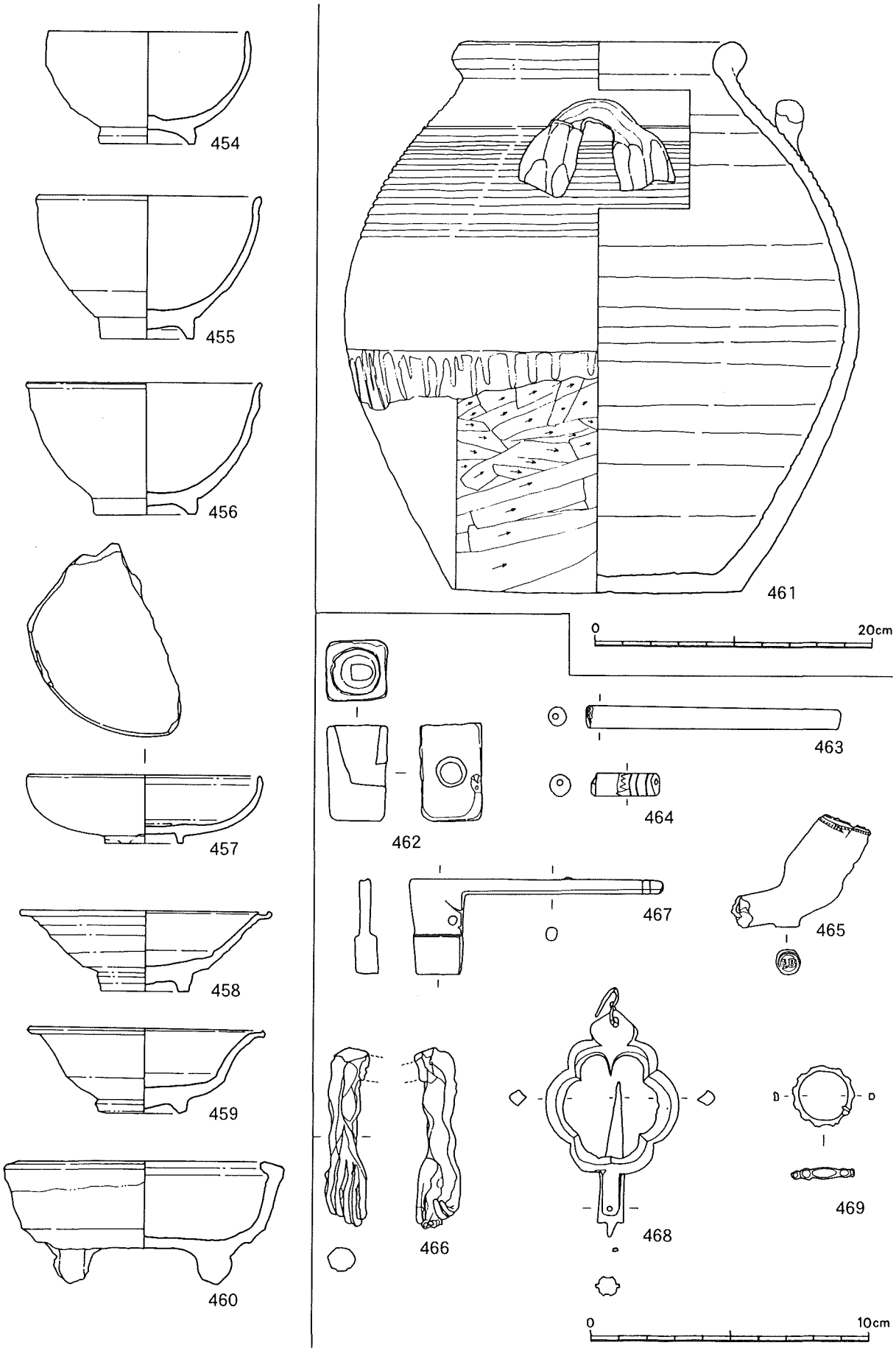
第 40 図　出土遺物㉗


428
431
432
429
433
430
434
435
436
437
440
438
439
441
442
a
444
b
443
0
10cm

第 41 図　出土遺物㉘




第 42 図　出土遺物㉙


454
455
456
457
458
459
460
461
0
20cm
462
463
464
465
466
467
468
469
0
10cm

第 43 図　出土遺物㉚

## 遺物データ①

| 番号 | 遺物名称 | 出土区・遺構名 | 出土層位 | 口径 | 底径 | 器高 | 生産地 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 青磁合子身 | SK2 | | 9.0 | － | 1.9 | 肥前 | |
| 2 | 土師皿 | SK3 | | 11.1 | 7.8 | 2.6 | 日本 | |
| 3 | 粗製青花碗 | SK3 | | 12.8 | 5.4 | 4.3 | 漳州窯 | |
| 4 | 染付碗 | SK3 | | 11.6 | 5.2 | 6.3 | 肥前 | |
| 5 | 青花小杯 | SK3 | | 7.4 | 3.2 | 4.3 | 景徳鎮 | |
| 6 | 染付小杯 | SK3 | | 6.4 | 2.2 | 4.7 | 肥前 | |
| 7 | 焼締長胴壺 | SK3 | Ⅲ | 10.3 | 10.4 | 31.7 | ベトナム | |
| 8 | 焼締蓋 | SK3 | | － | － | － | 中国南部か | |
| 9 | 青花蓋 | SK10 | | － | 4.6 | 2.1 | 景徳鎮 | |
| 10 | 青花蓋 | SK10 | | － | － | 0.8 | 景徳鎮 | 吹墨, 辰砂 |
| 11 | 染付蓋 | SK6 | | － | 1.5 | 2.15 | 肥前 | |
| 12 | 色絵瑠璃釉蓋 | SK6 | | 9.65 | － | 3.2 | 肥前 | |
| 13 | 青花小碗 | SK10 | | 7.7 | 3.0 | 3.6 | 景徳鎮 | |
| 14 | 白磁輪花杯 | SK18 | | 7.3 | 3.4 | 5.8 | 肥前 | |
| 15 | 染付皿 | SD8 | | 8.0 | 3.0 | 3.0 | 肥前 | |
| 16 | 陶器碗 | SD8 | V | 12.0 | 4.8 | 8.25 | 肥前 | |
| 17 | 青花皿 | SD12 | | 9.4 | 5.8 | 2.5 | 景徳鎮 | |
| 18 | 陶器有頸壺 | SD12 | | － | 9.1 | － | 肥前 | |
| 19 | 褐釉すり鉢 | SD18 | | － | － | － | 日本 | |
| 20 | 三彩陰刻皿 | SD19 | | 20.6 | 12.9 | 3.8 | 景徳鎮 | |
| 21 | 鉄絵碗 | SD29 | | － | 8.3 | － | ベトナム | |
| 22 | 瑠璃釉鳥形香合蓋 | SD26 | | － | － | － | 肥前 | |
| 23 | 瑠璃釉鳥形香合身 | SD26 | | 4.4 | 3.6 | 1.45 | 肥前 | |
| 24 | 土製品(狛犬) | SD27 | | － | － | － | 日本 | |
| 25 | 白磁小皿 | SD39 | | 8.6 | 3.4 | 2.49 | 波佐見か | |
| 26 | 染付皿 | ピット2 | | 13.6 | 7.0 | 3.0 | 肥前 | |
| 27 | 白磁鎬文盃 | ピット2 | | 5.6 | 2.0 | 3.4 | 肥前 | |
| 28 | 青花盃 | ピット2 | | 6.4 | 2.4 | 3.8 | 景徳鎮 | |
| 29 | 焼塩壺 | ピット2 | | 6.8 | － | 11.7 | 日本 | |
| 30 | 土器壺 | SE2 | | － | － | － | 東南アジアか | |
| 31 | 白磁盃 | SE2 | | 6.6 | 2.3 | 3.7 | 肥前 | |
| 32 | 青花鉢 | SX1 | | 13.0 | 5.2 | 3.9 | 景徳鎮 | 森皿H3 |
| 33 | 染付猪口 | SX1 | | 6.8 | 3.4 | 4.9 | 肥前 | |
| 34 | 白磁輪花小皿 | SX1 | | 8.0 | 3.9 | 2.3 | 肥前 | 紅皿 |
| 35 | 陶器象嵌鉢 | SX1 | | 14.25 | 5.2 | 7.9 | 武雄 | 三島唐津象嵌 |
| 36 | 粗製青花碗 | A－7 | Ⅵ層 | 13.0 | 5.2 | 5.05 | 漳州窯 | 見込み蛇目, 高台無釉 |
| 37 | 粗製青花碗 | C－2 | Ⅵ層 | 12.8 | 5.6 | 4.8 | 漳州窯 | 見込み蛇目, 高台無釉 |
| 38 | 粗製青花碗 | A－9 | Ⅵ層 | 13.55 | 5.2 | 4.6 | 漳州窯 | 見込み蛇目, 高台無釉 |
| 39 | 粗製青花碗 | B－8 | Ⅵ層 | 12.6 | 4.8 | 5.55 | 漳州窯 | 見込み蛇目, 高台無釉 |
| 40 | 粗製青花碗 | A－6 | Ⅵ層 | 13.8 | 4.9 | 5.4 | 漳州窯 | 見込み蛇目, 高台無釉 |
| 41 | 粗製青花碗 | A－10 | Ⅵ層 | 12.2 | 4.4 | 4.85 | 漳州窯 | 見込み蛇目, 高台無釉 |
| 42 | 粗製青花碗 | A－8 | Ⅵ層 | 11.4 | 4.2 | 5.2 | 漳州窯 | 全面施釉, 森碗J2 |
| 43 | 粗製青花碗 | A－8 | Ⅵ層 | 11.2 | 4.8 | 4.7 | 漳州窯 | 全面施釉, 森碗J2 |
| 44 | 青花碗 | A－9 | Ⅵ層 | 12.2 | 5.0 | 6.3 | 景徳鎮 | |
| 45 | 青花鉢 | A－9 | Ⅵ層 | 13.4 | 4.4 | 4.4 | 景徳鎮 | 森皿H3 |
| 46 | 青花碗 | A－5 | Ⅵ層 | 12.0 | 4.0 | 5.05 | 景徳鎮 | |
| 47 | 青花鉢 | A－6 | Ⅵ層 | 16.5 | 7.2 | 4.45 | 景徳鎮 | |
| 48 | 青花鉢 | A－8 | Ⅵ層 | － | 6.4 | － | 景徳鎮 | 森皿B3(ペンシルドロウイング) |
| 49 | 三彩小碗 | B－6 | Ⅵ層 | 11.8 | 5.0 | 6.0 | 景徳鎮 | |
| 50 | 三彩陰刻碗 | A－6 | Ⅵ層 | － | 5.7 | － | 景徳鎮 | 高台内「萬暦年製」銘 |
| 51 | 青花鉢 | D－2 | Ⅵ層 | 23.0 | 10.8 | 6.1 | 景徳鎮 | |
| 52 | 三彩鳥形水滴 | A－9 | Ⅵ層 | － | － | － | 華南 | 小野F群粗製 |
| 53 | 青磁合子身 | C－3 | Ⅵ層 | 7.7 | 5.4 | 2.35 | 肥前 | |
| 54 | 染付筒形碗 | B－6 | Ⅵ層 | 10.8 | 7.4 | 9.1 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 55 | 青花皿 | A－9 | Ⅵ層 | 6.0 | 3.8 | 2.3 | 景徳鎮 | 小野皿E群 |
| 56 | 青花皿 | A－8 | Ⅵ層 | 12.8 | 7.0 | 2.7 | 景徳鎮 | 小野皿E群 |
| 57 | 青花皿 | A－9 | Ⅵ層 | 14.0 | 8.0 | 3.1 | 景徳鎮 | 小野皿E群 |
| 58 | 青花皿 | なし | Ⅵ層 | 10.3 | 6.2 | 2.45 | 景徳鎮 | 小野皿E群 |
| 59 | 青花皿 | A－9 | Ⅵ層 | 10.5 | 4.6 | 2.7 | 景徳鎮 | 小野皿E群か(ただし見込が盛り上がる) |
| 60 | 青花鉢 | A－9 | Ⅵ層 | 13.8 | 6.4 | 4.0 | 景徳鎮 | 器形としては森B3に似る(ただし線描きではない) |
| 61 | 青花皿 | A－10 | Ⅵ層 | 13.6 | 7.4 | 2.85 | 景徳鎮 | 小野皿B2群 |
| 62 | 青花杯 | B－5 | Ⅵ層 | 9.8 | 4.45 | 5.35 | 景徳鎮 | |
| 63 | 青花盃 | A－8 | Ⅵ層 | 7.5 | 2.9 | 4.2 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 64 | 柿釉杯 | A－6 | Ⅵ層 | 6.3 | 2.6 | 3.3 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 65 | 青花盃 | A－9 | Ⅵ層 | 8.6 | 4.4 | 4.7 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅰ類か |
| 66 | 白磁小杯 | A－9 | Ⅵ層 | 6.4 | 2.6 | 4.2 | 景徳鎮 | |
| 67 | 三彩小碗 | A－6 | Ⅵ層 | 8.8 | 3.8 | 5.4 | 景徳鎮 | |
| 68 | 青花盃 | A－9 | Ⅵ層 | 8.4 | 4.2 | 4.9 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅰ類 |
| 69 | 青花皿 | A－9 | Ⅵ層 | 17.6 | 8.7 | 2.9 | 景徳鎮 | 小野F群粗製 |
| 70 | 青花皿 | A－8 | Ⅵ層 | 20.3 | 10.0 | 3.5 | 景徳鎮 | 小野F群粗製 |
| 71 | 青花盃 | A－8 | Ⅵ層 | 7.0 | 2.4 | 3.8 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類に似る(ただし端反り) |
| 72 | 青花盃 | B－5 | Ⅵ層 | 7.5 | 2.4 | 4.0 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅰ類 |
| 73 | 青花盃 | A－9 | Ⅵ層 | 5.0 | 2.1 | 3.2 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類 |
| 74 | 青花盃 | D－2 | Ⅵ層 | 5.6 | 2.0 | 4.1 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類 |
| 75 | 青花盃 | A－9 | Ⅵ層 | 7.0 | 2.4 | 3.7 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 76 | 青花盃 | A－11 | Ⅵ層 | 6.5 | 2.6 | 3.8 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 77 | 青花盃 | C－2 | Ⅵ層 | 6.6 | 2.4 | 3.4 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 78 | 青花盃 | B－5 | Ⅵ層 | 6.6 | 3.2 | 3.7 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 79 | 青花盃 | | Ⅵ層 | 6.2 | 2.0 | 3.6 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類 |
| 80 | 青花灯明皿 | A－7 | Ⅵ層 | 4.2 | － | － | 景徳鎮 | 外面露胎 |
| 81 | 青花灯明皿 | A－9 | Ⅵ層 | － | － | － | 景徳鎮 | 外面露胎 |
| 82 | 粗製青花蓋 | A－8 | Ⅵ層 | 6.0 | － | 3.2 | 漳州窯 | |
| 83 | 青花有頸壺 | A－8 | Ⅵ層 | 4.95 | － | － | 景徳鎮 | 口縁部五角形 |
| 84 | 青花置物 | №4 | Ⅵ層 | － | － | (2.8) | 景徳鎮 | 鳥の足か(上部欠損) |
| 85 | 青花鉢 | B－5 | Ⅵ層 | 15.1 | 7.5 | 4.9 | 景徳鎮 | 花籠文, 精製品 |
| 86 | 青花皿 | C－2 | Ⅵ層 | 14.6 | 6.4 | 3.3 | 景徳鎮 | 古染付, 梅樹・蝶文 |
| 87 | 青花皿 | A－6 | Ⅵ層 | 21.2 | 11.4 | 2.5 | 景徳鎮 | 古染付, 江戸・東片町遺跡に類例(註 ) |
| 88 | 青花皿 | B－5 | Ⅵ層 | － | 11.4 | － | 景徳鎮 | 古染付, 梅樹・蝶文 |
| 89 | 青花鉢 | A－8 | Ⅵ層 | 8.8 | 3.7 | 3.15 | 景徳鎮 | 森皿H3 |
| 90 | 青花碗 | A－6 | Ⅵ層 | 9.8 | 3.8 | 5.3 | 景徳鎮 | |
| 91 | 青花筒形碗 | B－5 | Ⅵ層 | － | 7.7 | － | 景徳鎮 | 古染付 |
| 92 | 青花合子蓋 | B－10 | Ⅵ層 | 3.0 | － | 1.9 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 93 | 青花合子蓋 | A－8 | Ⅵ層 | － | 3.2 | 1.2 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 94 | 青花合子蓋 | B－6 | Ⅵ層 | 10.6 | － | 1.1 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 95 | 青花合子蓋 | C－2 | Ⅵ層 | － | 7.0 | 1.4 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 96 | 青花脚付皿 | A－5, B－6 | Ⅵ層 | － | － | 3.25 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 97 | 粗製青花角皿 | D－2 | Ⅵ層 | 8.3 | 4.9 | 2.8 | 漳州窯 | 古染付 |
| 98 | 青花角形合子身 | A－9 | Ⅵ層 | 3.7 | 4.2 | 2.6 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 99 | 瓦質クンディ | B－4 | Ⅵ層 | － | 10.8 | － | 東南アジア | |
| 100 | 焼締蓋か | A－9 | Ⅵ層 | 6.8 | 1.8 | 6.35 | 華南か | 用途不明 |

## 遺物データ②

| 番号 | 遺物名称 | 出土区・遺構名 | 出土層位 | 口径 | 底径 | 器高 | 生産地 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 101 | 焼締蓋か | B−7 | Ⅵ層 | − | 1.6 | − | 華南か | 用途不明 |
| 102 | 焼締蓋か | B−3 | Ⅵ層 | − | 2.0 | − | 唐津か | 用途不明 |
| 103 | 焼締長胴壺 | | Ⅵ層 | − | − | − | ベトナム | |
| 104 | 焼締長胴壺 | | Ⅵ層 | − | − | − | ベトナム | |
| 105 | 焼締長胴壺 | D−6 | Ⅵ層 | − | − | − | ベトナム | |
| 106 | すり鉢 | A−9 | Ⅵ層 | − | − | − | 備前 | |
| 107 | 焼締蓋 | A−9 | Ⅵ層 | 8.4 | 8.0 | 1.6 | 肥前か | |
| 108 | 灰釉皿 | B−5 | Ⅵ層 | 12.45 | 4.8 | 3.4 | 肥前 | 胎土目 |
| 109 | 灰釉皿 | A−4 | Ⅵ層 | 12.2 | 4.4 | 3.7 | 肥前 | |
| 110 | 灰釉皿 | A−8 | Ⅵ層 | 12.2 | 4.6 | 3.15 | 肥前 | |
| 111 | 灰釉皿 | B−10 | Ⅵ層 | 10.0 | 4.3 | 3.4 | 肥前 | |
| 112 | 灰釉筒形碗 | A−8 | Ⅵ層 | 10.7 | 4.8 | 6.5 | 肥前 | |
| 113 | 灰釉折縁皿 | A−8 | Ⅵ層 | 13.2 | 4.8 | 4.2 | 肥前 | 砂目 |
| 114 | 灰釉折縁皿 | B−7 | Ⅵ層 | 12.4 | 3.7 | 4.5 | 肥前 | 砂目 |
| 115 | 灰釉折縁皿 | D−2 | Ⅵ層 | 15.0 | 5.0 | 5.3 | 肥前 | 砂目 |
| 116 | 鉄釉皿 | A−8 | Ⅵ層 | 10.5 | 3.7 | 2.4 | 肥前 | |
| 117 | 焼締火入れ | A−8 | Ⅵ層 | 13.4 | − | − | 肥前か | |
| 118 | 焼締火入れ | A−8 | Ⅵ層 | − | − | − | 中国 | |
| 119 | 黒釉有頸壺 | A−4 | Ⅵ層 | − | 7.8 | − | 中国 | |
| 120 | 焼締甕 | B−6 | Ⅵ層 | − | − | − | 中国 | |
| 121 | 焼締甕 | | Ⅵ層 | | | | 肥前 | |
| 122 | 鉄絵鉢 | B−4 | Ⅵ層 | − | 9.6 | − | 肥前 | |
| 123 | 鉄絵鉢 | B−8 | Ⅵ層 | 28.0 | 7.4 | 7.5 | 肥前 | |
| 124 | 鉄絵鉢 | A−9 | Ⅵ層 | 20.7 | 8.2 | 5.7 | 肥前 | |
| 125 | べっ甲製品 | B−3 | Ⅵ層 | − | − | − | 東南アジアか | |
| 126 | べっ甲製品 | | Ⅵ層 | − | − | − | 東南アジアか | |
| 127 | 石帯 | A−7 | Ⅵ層 | − | − | − | | 丸鞆。古代の混入か。 |
| 128 | 塩釉炉器水注 | B−3・C−2 | Ⅵ層 | 4.1 | − | − | ドイツ | 124〜128同一個体か。 |
| 129 | 塩釉炉器水注 | C−3 | Ⅵ層 | − | − | − | ドイツ | ライン地方・ヴェスターヴァルト窯産と考えられる。 |
| 130 | 塩釉炉器水注 | C−3 | Ⅵ層 | − | − | − | ドイツ | |
| 131 | 塩釉炉器水注 | C−3 | Ⅵ層 | − | − | − | ドイツ | |
| 132 | 塩釉炉器水注 | C−3 | Ⅵ層 | − | − | − | ドイツ | |
| 133 | 染付筒形碗 | B−6 | Ⅵ層 | 9.7 | 4.7 | 7.5 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 134 | 染付鎬文盃 | A−8 | Ⅵ層 | 6.2 | 3.0 | 3.7 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 135 | 鎬文盃 | B−5 | Ⅵ層 | 6.1 | 2.6 | 4.3 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 136 | 染付鎬文盃 | B−3 | Ⅵ層 | 5.9 | 2.8 | 3.9 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 137 | 染付盃 | A−9 | Ⅵ層 | 5.6 | 2.5 | 3.5 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 138 | 白磁盃 | A−9 | Ⅵ層 | 4.6 | 2.2 | 2.8 | 中国 | 大橋Ⅱ期 |
| 139 | 白磁三足火入れ | A−9 | Ⅵ層 | 9.9 | 5.1 | 4.6 | 肥前 | |
| 140 | 染付輪花皿 | A−6 | Ⅵ層 | 13.3 | 5.0 | 3.2 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 141 | 白磁鉢 | A−6 | Ⅵ層 | 11.8 | 4.3 | 5.5 | 肥前 | 内面施釉。火入れか。 |
| 142 | 白磁人形 | A−9 | Ⅵ層 | − | − | − | 肥前か | |
| 143 | 白磁輪花小皿 | A−6 | Ⅵ層 | 7.0 | 3.6 | 1.6 | 肥前 | |
| 144 | 軟質陶器合子 | | Ⅵ層 | 3.8 | 3.6 | 2.3 | 漳州窯 | |
| 145 | 合子形土製品 | B−5 | Ⅵ層 | 2.7 | 2.8 | 1.95 | 不明 | |
| 146 | 土師皿 | B−5 | Ⅵ層 | 9.1 | 4.8 | 2.5 | 不明 | |
| 147 | 土師皿 | A−8 | Ⅵ層 | 8.0 | 3.4 | 1.6 | 不明 | |
| 148 | 染付手付瓶 | A−9 | Ⅵ層 | − | 6.2 | (19.4) | 肥前 | 長吉谷窯製品か，大橋Ⅲ期 |
| 149 | 染付手付瓶 | A−9 | Ⅵ層 | − | 6.4 | (13.6) | 肥前 | 長吉谷窯製品か，大橋Ⅲ期 |
| 150 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 13.7 | 5.6 | 6.3 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 151 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.0 | 4.6 | 6.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 152 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.6 | 5.3 | 5.2 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 153 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 11.8 | 5.2 | 6.0 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 154 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 13.2 | 5.0 | 5.9 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 155 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.4 | 5.2 | 5.5 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 156 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.4 | 5.3 | 5.15 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 157 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.5 | 6.5 | 6.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 158 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.2 | 5.2 | 6.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 159 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.5 | 5.1 | 6.3 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 160 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.8 | 5.1 | 6.35 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 161 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.2 | 4.4 | 5.65 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 162 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.0 | 5.6 | 5.7 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 163 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 11.7 | 5.2 | 5.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗,177と接合 |
| 164 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 11.0 | 5.4 | 5.3 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 165 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 11.6 | 5.0 | 5.5 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 166 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.6 | 5.0 | 4.8 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 167 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.2 | 5.4 | 5.9 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 168 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 11.8 | 4.8 | 5.6 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 169 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 11.4 | 4.6 | 5.3 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 170 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.1 | 5.2 | 6.0 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 171 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.2 | 5.2 | 5.45 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 172 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | | | | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 173 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | | | | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 174 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.4 | 5.0 | 5.7 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗,181と接合 |
| 175 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 13.6 | 5.2 | 5.9 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 176 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.0 | 5.7 | 5.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 177 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.0 | 4.4 | 5.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗,164と接合 |
| 178 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.6 | 4.8 | 5.5 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 179 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.8 | 6.4 | 7.1 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 180 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.6 | 5.6 | 6.7 | 肥前 | 鳳凰見込荒磯文碗 |
| 181 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.2 | 4.0 | 5.8 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗,174と接合 |
| 182 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.8 | 5.1 | 5.6 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 183 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 13.2 | 5.0 | 5.75 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 184 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.4 | 5.4 | 6.1 | 肥前 | 鳳凰見込荒磯文碗 |
| 185 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.4 | 5.2 | 5.7 | 肥前 | 鳳凰見込荒磯文碗 |
| 186 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.4 | 5.4 | 5.25 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 187 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.2 | 5.3 | 5.3 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 188 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.7 | 5.2 | 5.8 | 肥前 | 雲竜見込荒磯文碗 |
| 189 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 12.6 | 5.4 | 6.0 | 肥前 | 鳳凰見込荒磯文碗 |
| 190 | 染付碗 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.8 | 5.4 | 5.5 | 肥前 | 鳳凰見込荒磯文碗 |
| 191 | 染付筒形碗 | なし | Ⅴ層一括 | 7.2 | 4.4 | 6.9 | 肥前 | |
| 192 | 染付碗 | B−10 | Ⅴ層一括 | 8.8 | 3.4 | 3.1 | 肥前 | 高台内「太明成化年製」銘 |
| 193 | 染付碗 | B−10 | Ⅴ層一括 | 11.4 | 4.8 | 5.7 | 肥前 | 高台内「太明成化年製」銘 |
| 194 | 染付鉢 | A−10 | Ⅴ層一括 | 16.3 | 5.9 | 7.3 | 肥前 | |
| 195 | 染付鉢 | B−10 | Ⅴ層一括 | 14.4 | 5.8 | 7.2 | 肥前 | |
| 196 | 染付鉢 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.1 | 5.9 | 7.6 | 肥前 | |
| 197 | 染付鉢 | A−10 | Ⅴ層一括 | 14.0 | 5.9 | 7.6 | 肥前 | |
| 198 | 染付碗 | B−10 | Ⅴ層一括 | 11.0 | 4.4 | 5.5 | 肥前 | |
| 199 | 染付鉢 | B−10 | Ⅴ層一括 | 16.0 | 6.4 | 7.6 | 肥前 | 高台内「宣徳年製」銘 |
| 200 | 染付碗 | B−10 | Ⅴ層一括 | 12.2 | 5.2 | 5.2 | 肥前 | |

## 遺物データ③

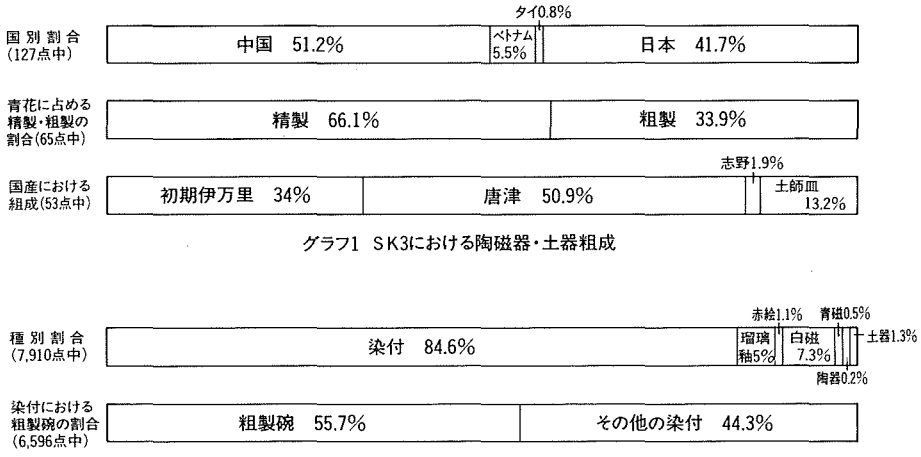
| 番号 | 遺物名称 | 出土区・遺構名 | 出土層位 | 口径 | 底径 | 器高 | 生産地 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 201 | 染付碗 | | V層一括 | 11.5 | 5.0 | 5.25 | 肥前 | |
| 202 | 染付碗 | P15, B−11 | V層一括 | 9.1 | 4.0 | 4.2 | 肥前 | 高台内「宣徳年製」銘 |
| 203 | 染付小碗 | B−10 | V層一括 | 6.8 | 3.0 | 4.1 | 肥前 | 高台内「製」銘 |
| 204 | 染付碗 | B−10 | V層一括 | 9.2 | 3.5 | 4.4 | 肥前 | 高台内「製」銘 |
| 205 | 染付碗 | B−10 | V層一括 | 7.2 | 3.0 | 3.8 | 肥前 | |
| 206 | 染付蓋 | B−10 | V層一括 | 6.0 | − | 1.6 | 肥前 | |
| 207 | 染付筒形碗 | B−10 | V層一括 | 6.4 | 5.0 | 8.9 | 肥前 | |
| 208 | 染付杯 | B−10 | V層一括 | 6.8 | 3.0 | 4.0 | 肥前 | |
| 209 | 染付蓋 | B−10 | V層一括 | − | − | 3.5 | 肥前 | |
| 210 | 染付脚付小杯 | B−10 | V層一括 | 7.5 | 2.9 | 6.7 | 肥前 | |
| 211 | 染付盃 | B−10 | V層一括 | 4.8 | 2.0 | 3.2 | 肥前 | |
| 212 | 染付鉢 | B−10 | V層一括 | 21.0 | 8.4 | 10.5 | 肥前 | |
| 213 | 染付鉢 | B−10 | V層一括 | 19.9 | 7.7 | 9.3 | 肥前 | |
| 214 | 染付皿 | A−10, B−11 | V層一括 | 14.8 | 8.5 | 3.2 | 肥前 | 鳳凰文, 高台内「大明萬暦年製」銘 |
| 215 | 染付皿 | B−10 | V層一括 | 12.0 | 6.9 | 3.1 | 肥前 | 高台内「大明萬暦年製」銘,金彩 |
| 216 | 染付皿 | B−10 | V層一括 | 16.8 | 9.6 | 3.2 | 肥前 | |
| 217 | 染付皿 | B−10 | V層一括 | 12.5 | 5.6 | 3.4 | 肥前 | |
| 218 | 染付皿 | B−10 | V層一括 | 14.4 | 8.8 | 2.8 | 肥前 | |
| 219 | 染付皿 | A−10 | V層一括 | 10.8 | 6.0 | 2.3 | 肥前 | |
| 220 | 染付皿 | A−10 | V層一括 | 15.65 | 3.7 | 6.9 | 肥前 | 日の字鳳凰文皿 |
| 221 | 染付皿 | A−3, 10 | V層一括 | 16.6 | 7.4 | 3.0 | 肥前 | 日の字鳳凰文皿 |
| 222 | 染付皿 | A−10 | V層一括 | 15.3 | 7.1 | 3.35 | 肥前 | |
| 223 | 染付壺 | A−10 | V層一括 | 2.6 | − | − | 肥前 | |
| 224 | 染付壺 | A−10 | V層一括 | − | 6.8 | − | 肥前 | |
| 225 | 染付器台 | B−10 | V層一括 | 10.8 | 11.2 | 5.5 | 肥前 | 用途不明, 器台か |
| 226 | 陶器碗 | A−10 | V層一括 | 10.2 | 4.4 | 7.4 | 肥前 | |
| 227 | 染付合子 | B−10 | V層一括 | 5.8 | − | 1.5 | 肥前 | |
| 228 | 染付合子 | B−10 | V層一括 | 5.2 | 3.2 | 2.4 | 肥前 | 高台内「太明成化年製」銘 |
| 229 | 染付蓋 | B−10 | V層一括 | 4.2 | − | 1.8 | 肥前 | |
| 230 | 染付壺 | B−10 | V層一括 | 4.8 | 4.8 | 7.6 | 肥前 | |
| 231 | 染付壺 | B−10 | V層一括 | − | 3.0 | (4.4) | 肥前 | |
| 232 | 色絵合子蓋 | B−10 | V層一括 | − | 6.0 | 1.5 | 肥前 | |
| 233 | 染付合子蓋 | B−10 | V層一括 | 4.1 | − | 1.5 | 肥前 | |
| 234 | 合子蓋 | B−10 | V層一括 | 5.6 | − | 1.7 | 肥前 | |
| 235 | 合子身 | B−10 | V層一括 | 4.8 | 3.1 | 1.6 | 肥前 | |
| 236 | 色絵合子蓋 | B−10・11 | V層一括 | 8.6 | − | 2.0 | 肥前 | |
| 237 | 色絵合子身 | B−10 | V層一括 | 7.2 | 4.6 | 2.25 | 肥前 | 赤絵、銀彩 |
| 238 | 色絵蓋 | A・B−10, B−11 | V層一括 | 14.0 | − | 5.0 | 肥前 | |
| 239 | 色絵鉢 | SD26, A−10 | V層一括 | 15.2 | 5.4 | 7.8 | 肥前 | |
| 240 | 色絵碗 | A・B−10 | V層一括 | 13.2 | − | (6.4) | 肥前 | |
| 241 | 色絵鉢 | A−10 | V層一括 | 14.5 | 7.6 | 8.6 | 肥前 | |
| 242 | 色絵碗 | A・B−10 | V層一括 | 13.2 | 4.8 | 6.4 | 肥前 | |
| 243 | 色絵碗 | A・B−10 | V層一括 | 12.3 | 4.5 | 6.4 | 肥前 | |
| 244 | 色絵蓋 | A・B−10 | V層一括 | 7.2 | − | 2.7 | 肥前 | |
| 245 | 色絵蓋 | SD26, A−10 | V層一括 | 7.2 | − | 2.9 | 肥前 | |
| 246 | 色絵筒形碗 | A−10 | V層一括 | 8.4 | 4.2 | 6.3 | 肥前 | |
| 247 | 色絵碗 | A−10 | V層一括 | 8.6 | 3.5 | 4.9 | 肥前 | |
| 248 | 色絵碗 | A−10 | V層一括 | 8.8 | 3.3 | 4.7 | 肥前 | |
| 249 | 色絵皿 | A−10 | V層一括 | 11.4 | 4.8 | 3.5 | 肥前 | 金彩あり |
| 250 | 色絵碗 | P15, A−10, A・B−11 | V層一括 | 10.3 | 4.6 | 5.3 | 肥前 | |
| 251 | 色絵碗 | P15, B−10・11 | V層一括 | 11.6 | 4.6 | 5.4 | 肥前 | 金彩あり |
| 252 | 色絵瑠璃釉蓋 | A−9・10 | V層一括 | 11.2 | − | 3.6 | 肥前 | |
| 253 | 色絵瑠璃釉蓋 | SK6, A−10 | V層一括 | − | 11.2 | 3.9 | 肥前 | |
| 254 | 色絵瑠璃釉鉢 | A−10 | V層一括 | 12.5 | 6.8 | 8.5 | 肥前 | |
| 255 | 色絵瑠璃釉鉢 | SK6, A−9 | V層一括 | 12.6 | 6.4 | 8.5 | 肥前 | |
| 256 | 瑠璃釉鉢 | B−10 | V層一括 | 12.6 | 6.5 | 8.2 | 肥前 | 色絵剥落 |
| 257 | 瑠璃釉鉢 | B−10 | V層一括 | 12.6 | 6.4 | 7.9 | 肥前 | 色絵剥落 |
| 258 | 色絵鉢 | A−8, B−9 | V層一括 | 13.0 | 7.0 | 4.6 | 肥前 | 18C代のもの。混入か。 |
| 259 | 白磁陰刻蓋 | A−10 | V層一括 | 12.5 | − | 3.0 | 肥前 | |
| 260 | 色絵皿 | B−10 | V層一括 | 14.8 | 7.6 | 2.7 | 肥前 | 染付上に色絵, 芙蓉手 |
| 261 | 染付皿 | B−10 | V層一括 | 14.1 | 8.2 | 2.7 | 肥前 | 染付上に色絵, 高台内「江原七右衛門」朱筆,金・銀・赤 |
| 262 | 色絵器台 | B−10 | V層一括 | 9.8 | 9.7 | 3.9 | 肥前 | |
| 263 | 白磁杯 | A−10 | V層一括 | 9.6 | 4.0 | 8.3 | 肥前 | |
| 264 | 白磁杯 | B−10 | V層一括 | 10.2 | 3.9 | 9.2 | 肥前 | |
| 265 | 染付杯 | A−10 | V層一括 | 7.7 | 3.3 | 4.95 | 肥前 | |
| 266 | 瑠璃釉鳥形合子 | A−10 | V層一括 | − | − | − | 肥前 | 蓋 |
| 267 | 瑠璃釉鳥形合子 | A−10 | V層一括 | − | − | − | 肥前 | 蓋 |
| 268 | 瑠璃釉鳥形合子 | A−10 | V層一括 | − | − | − | 肥前 | 蓋 |
| 269 | 瑠璃釉鳥形合子 | A−10 | V層一括 | − | − | − | 肥前 | 蓋 |
| 270 | 瑠璃釉鳥形合子 | A−10 | V層一括 | 4.4 | 3.7 | 1.45 | 肥前 | 身, 白磁 |
| 271 | 瑠璃釉鳥形合子 | A−10 | V層一括 | 4.4 | 3.8 | 1.35 | 肥前 | 身, 白磁 |
| 272 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10 | V層一括 | 6.4 | − | 1.6 | 肥前 | 蓋 |
| 273 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10 | V層一括 | 6.2 | − | 1.4 | 肥前 | 蓋 |
| 274 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10・11 | V層一括 | 6.0 | − | 1.5 | 肥前 | 蓋 |
| 275 | 色絵瑠璃釉合子 | SD26, A−10 | V層一括 | 7.2 | − | 1.5 | 肥前 | 蓋 |
| 276 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10 | V層一括 | 6.0 | 3.8 | 2.3 | 肥前 | 身 |
| 277 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10 | V層一括 | 5.6 | 3.4 | 2.3 | 肥前 | 身 |
| 278 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10 | V層一括 | 5.4 | 3.4 | 2.4 | 肥前 | 身 |
| 279 | 色絵瑠璃釉合子 | A−10 | V層一括 | 4.6 | 3.2 | 1.5 | 肥前 | 身 |
| 280 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 2.0 | − | 0.9 | 肥前 | 蓋 |
| 281 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 1.8 | − | 0.9 | 肥前 | 蓋 |
| 282 | 色絵瑠璃釉小瓶 | B−10 | V層一括 | 2.0 | − | 1.1 | 肥前 | 蓋 |
| 283 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 2.1 | − | 0.8 | 肥前 | 蓋 |
| 284 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 2.0 | − | 0.9 | 肥前 | 蓋 |
| 285 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 2.0 | − | 0.9 | 肥前 | 蓋 |
| 286 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 1.0 | 3.0 | 6.5 | 肥前 | 蓋なし |
| 287 | 色絵瑠璃釉小瓶 | B−10・11 | V層一括 | 2.8 | 3.2 | 5.4 | 肥前 | 身 |
| 288 | 色絵瑠璃釉小瓶 | B−10・11 | V層一括 | 2.5 | 3.0 | 5.3 | 肥前 | 身 |
| 289 | 色絵瑠璃釉小瓶 | A−10 | V層一括 | 2.8 | 2.8 | 5.4 | 肥前 | 身 |
| 290 | 白磁皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 3.0 | 12.2 | 18.6 | 肥前 | |
| 291 | 白磁皿付燭台 | A−10, SK6 | V層一括 | 3.6 | − | 14.7 | 肥前 | |
| 292 | 白磁皿付燭台 | A−9,10,SK6 | V層一括 | 23.8 | 12.4 | 4.6 | 肥前 | |
| 293 | 白磁皿付燭台 | A−10 | V層一括 | − | 12.2 | − | 肥前 | |
| 294 | 白磁皿付燭台 | A−9,10,BD27,SK6 | V層一括 | 23.0 | 13.6 | 3.8 | 肥前 | |
| 295 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 3.0 | 7.8 | 11.9 | 肥前 | |
| 296 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 3.4 | 8.0 | 11.7 | 肥前 | |
| 297 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 18.6 | 10.0 | − | 肥前 | チューリップ文(〜308) |
| 298 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | − | 8.2 | − | 肥前 | |
| 299 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | − | 10.4 | − | 肥前 | |
| 300 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 18.2 | 10.4 | 3.5 | 肥前 | |

## 遺物データ④

| 番号 | 遺物名称 | 出土区・遺構名 | 出土層位 | 口径 | 底径 | 器高 | 生産地 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 301 | 染付皿付燭台 | | V層一括 | 19.1 | 10.4 | 3.3 | 肥前 | |
| 302 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 19.0 | 10.4 | 3.5 | 肥前 | |
| 303 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 18.6 | 10.0 | 3.0 | 肥前 | |
| 304 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 18.6 | 10.4 | 2.9 | 肥前 | |
| 305 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 19.2 | 11.0 | 3.2 | 肥前 | |
| 306 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 19.0 | 10.2 | 3.3 | 肥前 | |
| 307 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 19.0 | 10.2 | 3.55 | 肥前 | |
| 308 | 染付皿付燭台 | A−9・10 | V層一括 | 19.3 | 10.2 | 3.0 | 肥前 | |
| 309 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 19.4 | 10.9 | 3.2 | 肥前 | |
| 310 | 染付皿付燭台 | A−10 | V層一括 | 18.8 | 11.0 | 3.2 | 肥前 | |
| 311 | 染付皿付燭台 | A−9・10 | V層一括 | 18.4 | 9.8 | (3.1) | 肥前 | |
| 312 | 青花鉢 | B−2 | V層 | 14.6 | 5.6 | 4.3 | 景徳鎮 | 森皿H2に似る。ただし口縁部は肥大しない。 |
| 313 | 青花鉢 | C−3 | V層 | 13.1 | 5.8 | 4.7 | 景徳鎮 | 森皿H1に似る。ただし端反りではない。 |
| 314 | 青花鉢 | B−3 | V層 | 8.0 | 3.6 | 2.6 | 景徳鎮 | 森皿H3。 |
| 315 | 青花小杯 | A−6 | V層 | 7.0 | 2.9 | 4.0 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅰ類。 |
| 316 | 青花小杯 | A−10 | V層 | 4.4 | 2.0 | 3.1 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類。 |
| 317 | 青花小杯 | A−9 | V層 | 6.3 | 2.2 | 3.8 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅳ類。 |
| 318 | 青花灯明皿 | A−7 | V層 | 8.25 | − | 2.0 | 景徳鎮 | 体外面露胎。 |
| 319 | 青花杯 | B−10 | V層 | 8.6 | 3.4 | 4.2 | 景徳鎮 | |
| 320 | 粗製青花碗 | B−2 | V層 | 12.9 | 5.4 | 4.65 | 漳州窯 | 見込蛇ノ目釉剥ぎ |
| 321 | 染付鉢 | A・B−10 | V層 | 21.0 | 8.0 | 10.7 | 肥前 | |
| 322 | 染付鉢 | B−10 | V層 | 21.2 | 7.4 | 9.7 | 肥前 | |
| 323 | 染付鉢 | | V層 | 16.9 | 6.6 | 8.1 | 肥前 | |
| 324 | 白磁笛 | A・B−11 | V層 | − | − | − | 徳化窯か | |
| 325 | 染付大皿 | | V層 | 38.0 | 20.0 | 6.3 | 肥前 | 芙蓉手 |
| 326 | 染付大皿 | | V層 | 37.0 | 15.2 | 6.85 | 肥前 | 芙蓉手 |
| 327 | 染付鉢 | | V層 | 15.2 | 6.0 | 8.2 | 肥前 | |
| 328 | 褐釉陶器碗 | B−2 | V層 | 11.4 | 5.2 | 6.4 | 肥前 | 体下部白色釉(掛け分け) |
| 329 | 灰釉陶器碗 | B−2 | V層 | 10.2 | 3.8 | 6.6 | 肥前 | |
| 330 | 染付皿 | A−10 | V層 | 14.0 | 10.2 | 2.3 | 肥前 | 口縁部墨弾き |
| 331 | 白磁皿 | B−6 | V層 | 10.7 | 6.7 | 3.0 | 肥前 | 口縁部型打ち |
| 332 | 染付皿 | C−2 | V層 | 13.6 | 5.2 | 3.15 | 肥前 | 見込菊花文・口縁輪花(大橋Ⅱ期) |
| 333 | 染付蓋 | F−16 | V層 | 7.0 | − | 3.1 | 肥前 | |
| 334 | 染付杯 | B−6 | V層 | 8.2 | 3.2 | 5.0 | 肥前 | |
| 335 | 白磁脚付小杯 | B−7 | V層 | 5.5 | 3.6 | 6.05 | 肥前 | |
| 336 | 色絵小壺 | A−10 | V層 | 1.4 | 4.0 | 7.8 | 肥前 | |
| 337 | 染付小杯 | A−11 | V層 | 4.9 | 2.2 | 3.0 | 肥前 | |
| 338 | 白磁小杯 | B−2 | V層 | 5.0 | 1.8 | 3.0 | 肥前 | |
| 339 | 色絵小壺蓋 | P15 | V層 | 2.4 | − | 1.0 | 肥前 | |
| 340 | 色絵小壺 | SD26, P15, B−10 | V層 | 2.9 | 4.6 | 7.6 | 肥前 | |
| 341 | 青磁小皿 | A−5 | V層 | 8.2 | 3.0 | 2.2 | 肥前 | 波佐見・三ノ股窯製品(中野 期)か |
| 342 | 青磁蓋 | C−16 | V層 | 9.2 | − | 2.9 | 肥前 | |
| 343 | 染付小壺蓋 | A−10 | V層 | − | − | (1.3) | 肥前 | |
| 344 | 染付小壺 | B−10 | V層 | 3.2 | 3.4 | 2.7 | 肥前 | |
| 345 | 灰釉脚付小杯 | B−10 | V層 | 6.45 | 3.3 | 6.1 | 肥前 | |
| 346 | 鉄絵脚部 | B−2 | V層 | − | − | − | 関西か | |
| 347 | 褐釉すり鉢 | B−7 | V層 | − | − | − | 肥前 | |
| 348 | 雑釉すり鉢 | B−2 | V層 | 31.2 | 17.2 | 12.6 | 肥前か | |
| 349 | 土師質土器 | C−16 | V層 | 6.0 | 6.6 | 3.7 | 日本 | |
| 350 | 坩堝 | A−9 | V層 | 4.4 | − | 1.9 | 日本 | |
| 351 | 土師皿 | A−7 | V層 | 10.2 | 5.0 | 1.95 | 日本 | |
| 352 | 土師皿 | B−11 | V層 | 8.2 | 4.0 | 1.9 | 日本 | |
| 353 | 青花鉢 | B−2 | Ⅳ層 | 12.0 | 6.2 | 3.5 | 景徳鎮 | |
| 354 | 青花皿 | C−2 | Ⅳ層 | 11.6 | 8.2 | 1.9 | 景徳鎮 | |
| 355 | 青花皿 | C−2 | Ⅳ層 | 12.4 | 8.8 | 1.75 | 景徳鎮 | |
| 356 | 青花皿 | B−2 | Ⅳ層 | 20.8 | 12.0 | 3.0 | 景徳鎮 | |
| 357 | 青花小鉢 | B−2 | Ⅳ層 | 9.4 | 4.2 | 3.3 | 景徳鎮 | |
| 358 | 青花小杯 | A−9 | Ⅳ層 | 7.6 | 2.4 | 4.2 | 景徳鎮 | |
| 359 | 青花杯 | A−9 | Ⅳ層 | 9.8 | 3.8 | 4.9 | 景徳鎮 | 見込に釉裏紅で花文 |
| 360 | 青花合子身 | D−2 | Ⅳ層 | 4.6 | 5.0 | 4.2 | 景徳鎮 | 古染付 |
| 361 | 染付小碗 | B−10 | Ⅳ層 | 9.1 | 4.2 | 5.4 | 景徳鎮 | 体部型打ち |
| 362 | 染付碗 | B−8 | Ⅳ層 | 9.6 | 4.2 | 5.2 | 肥前 | 芙蓉手, 大橋Ⅲ期 |
| 363 | 染付筒形碗 | D−2 | Ⅳ層 | 8.4 | 4.6 | 7.3 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 364 | 染付筒形碗 | A−9 | Ⅳ層 | 8.8 | 5.7 | 7.6 | 肥前 | 大橋Ⅱ期 |
| 365 | 染付碗 | A−10 | Ⅳ層 | 9.0 | 3.6 | 5.3 | 肥前 | |
| 366 | 染付碗 | B−8 | Ⅳ層 | 8.6 | 3.8 | 4.6 | 肥前 | |
| 367 | 色絵筒形碗 | A・B−10 | Ⅳ層 | 7.8 | 4.7 | 5.8 | 肥前 | |
| 368 | 色絵瑠璃釉碗 | B−9 | Ⅳ層 | 8.4 | 5.3 | 6.0 | 肥前 | |
| 369 | 染付脚付小杯 | B−9 | Ⅳ層 | 8.4 | 3.8 | 7.6 | 肥前 | |
| 370 | 白磁小杯 | A−10 | Ⅳ層 | 4.7 | 3.1 | 3.0 | 肥前 | |
| 371 | 白磁小杯 | A−6 | Ⅳ層 | 4.2 | 2.4 | 2.4 | 肥前 | |
| 372 | 色絵水滴 | A−8 | Ⅳ層 | − | − | (4.0) | 肥前 | |
| 373 | 染付小杯 | A−10 | Ⅳ層 | 5.8 | 2.5 | 3.4 | 肥前 | |
| 374 | 染付小杯 | A−8 | Ⅳ層 | 5.5 | 2.9 | 3.35 | 肥前 | |
| 375 | 色絵碗 | B−9 | Ⅳ層 | 15.4 | 6.0 | 7.6 | 肥前 | |
| 376 | 色絵碗 | B−9 | Ⅳ層 | 16.0 | 6.8 | 7.7 | 肥前 | |
| 377 | 染付鉢 | B−8 | Ⅳ層 | 22.0 | 6.8 | 9.2 | 肥前 | |
| 378 | 青磁盤 | B−8・9 | Ⅳ層 | 24.0 | 12.4 | 4.6 | 肥前 | |
| 379 | 染付皿 | | Ⅳ層 | 12.6 | 5.0 | 3.1 | 肥前 | |
| 380 | 染付皿 | B−7 | Ⅳ層 | 13.9 | 8.9 | 2.2 | 肥前 | |
| 381 | 染付皿 | B−10 | Ⅳ層 | 11.2 | 6.8 | 2.4 | 肥前 | |
| 382 | 色絵合子蓋 | B−8 | Ⅳ層 | − | 10.8 | 2.5 | 肥前 | |
| 383 | 染付合子身 | B−8 | Ⅳ層 | 3.8 | 2.1 | 2.2 | 肥前 | |
| 384 | 白磁小杯 | B−2 | Ⅳ層 | 5.4 | 2.4 | 3.8 | 肥前 | |
| 385 | 白磁小杯 | B−9 | Ⅳ層 | 5.25 | 2.5 | 3.55 | 肥前 | |
| 386 | 染付小杯 | B−2 | Ⅳ層 | 4.7 | 2.0 | 3.5 | 肥前 | |
| 387 | 染付小杯 | A−11 | Ⅳ層 | 5.1 | 2.5 | 3.65 | 肥前 | |
| 388 | 白磁鎬文小杯 | B−8 | Ⅳ層 | 5.4 | 2.4 | 3.2 | 肥前 | |
| 389 | 白磁小杯 | B−16 | Ⅳ層 | 5.4 | 2.7 | 2.3 | 肥前 | |
| 390 | 染付蓋 | A−8 | Ⅳ層 | 6.9 | − | 3.4 | 肥前 | |
| 391 | 染付小皿 | D−3 | Ⅳ層 | 7.4 | 4.2 | 2.0 | 肥前 | |
| 392 | 白磁輪花小皿 | A−6 | Ⅳ層 | 6.9 | 3.6 | 1.7 | 肥前 | |
| 393 | 白磁輪花小皿 | A−9 | Ⅳ層 | 7.0 | 3.7 | 1.9 | 肥前 | |
| 394 | 白磁輪花小皿 | A−10 | Ⅳ層 | 6.7 | 3.2 | − | 肥前 | |
| 395 | 白磁輪花小皿 | B−6 | Ⅳ層 | 6.2 | 3.0 | 1.7 | 肥前 | |
| 396 | 白磁輪花小皿 | A−10 | Ⅳ層 | 6.6 | 3.05 | 1.7 | 肥前 | |
| 397 | 白磁輪花小皿 | A−7 | Ⅳ層 | 6.8 | 3.6 | 2.0 | 肥前 | |
| 398 | 白磁輪花小皿 | B−11 | Ⅳ層 | 5.6 | 3.4 | − | 肥前 | |
| 399 | 白磁輪花小皿 | B−5 | Ⅳ層 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 肥前 | |
| 400 | 染付蓋 | B−9 | Ⅳ層 | 6.6 | − | 1.2 | 肥前 | |

## 遺物データ⑤

| 番号 | 遺物名称 | 出土区・遺構名 | 出土層位 | 口径 | 底径 | 器高 | 生産地 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 401 | 染付蓋 | A−9 | Ⅳ層 | 6.8 | − | 2.3 | 肥前 | |
| 402 | 染付蓋 | A−9 | Ⅳ層 | 9.5 | − | 3.5 | 肥前 | |
| 403 | 刷毛目陶器小壺 | C−2 | Ⅳ層 | 9.4 | 5.0 | 2.8 | 肥前 | |
| 404 | 褐釉陶器蓋 | | Ⅳ層 | 8.7 | 3.75 | 1.85 | 肥前 | |
| 405 | 白磁小皿 | A−9 | Ⅳ層 | 8.4 | 3.8 | 1.7 | 肥前 | |
| 406 | 白磁小皿 | A−6 | Ⅳ層 | 12.7 | 5.4 | 7.9 | 肥前 | |
| 407 | 灰釉陶器碗 | なし | Ⅳ層 | 9.4 | 3.2 | 6.0 | 肥前 | |
| 408 | 鉄絵陶器碗 | A−8 | Ⅳ層 | 12.1 | 4.9 | 2.7 | 肥前 | |
| 409 | 灰釉陶器皿 | B−8 | Ⅳ層 | 8.8 | 3.4 | 5.3 | 肥前 | |
| 410 | 染付碗 | A−4 | Ⅳ層 | 10.2 | 3.8 | 5.3 | 肥前 | |
| 411 | 染付碗 | E−16 | Ⅳ層 | 5.35 | 3.9 | 5.2 | 肥前 | |
| 412 | 染付碗 | B−16 | Ⅳ層 | 11.2 | 4.8 | 5.8 | 肥前 | |
| 413 | 染付碗 | B−10 | Ⅳ層 | 11.2 | 3.8 | 4.9 | 肥前 | |
| 414 | 染付碗 | A−11 | Ⅳ層 | 9.8 | 3.3 | 4.0 | 肥前 | |
| 415 | 染付碗 | B−16 | Ⅳ層 | 14.6 | 6.6 | 6.1 | 肥前 | |
| 416 | 染付碗 | A−10 | Ⅳ層 | 15.9 | 5.2 | 7.6 | 肥前 | |
| 417 | 染付碗 | A−9 | Ⅳ層 | 12.8 | 5.65 | 2.6 | 肥前 | |
| 418 | 染付皿 | B−10 | Ⅳ層 | 9.4 | 4.7 | 9.2 | 肥前 | |
| 419 | 褐釉壺 | A−3 | Ⅳ層 | 9.0 | 4.8 | 2.3 | 肥前 | |
| 420 | 土師皿 | B−8 | Ⅳ層 | 7.8 | 4.1 | 1.6 | 日本 | |
| 421 | 土師皿 | B−8 | Ⅳ層 | 6.7 | 3.7 | 1.5 | 日本 | |
| 422 | 土師皿 | A−10 | Ⅳ層 | 7.9 | 5.0 | 1.2 | 日本 | |
| 423 | 土師皿 | B−16 | Ⅳ層 | 6.2 | 2.7 | 3.8 | 日本 | |
| 424 | チャツ | B−9 | Ⅳ層 | 7.1 | − | 2.0 | 日本 | |
| 425 | 焼塩壺蓋 | A−8 | Ⅳ層 | 7.0 | − | 2.2 | 日本 | |
| 426 | 焼塩壺蓋 | A−8 | Ⅳ層 | 6.8 | − | 2.1 | 日本 | |
| 427 | 焼塩壺蓋 | | Ⅳ層 | 12.6 | 6.4 | 2.7 | 日本 | |
| 428 | 青花皿 | D−2 | Ⅲ層 | 10.4 | 4.6 | 3.4 | 景徳鎮 | |
| 429 | 青花鉢 | D−2 | Ⅲ層 | 8.6 | 3.4 | 3.2 | 景徳鎮 | 見込が膨らむ |
| 430 | 青花鉢 | A−4 | Ⅲ層 | 10.4 | 4.2 | 5.4 | 景徳鎮 | |
| 431 | 青花碗 | D−2 | Ⅲ層 | 11.4 | 4.7 | 5.4 | | 小野碗F群 |
| 432 | 色絵碗 | SX01 | Ⅲ層 | 9.2 | 6.2 | 7.9 | 景徳鎮 | |
| 433 | 青花筒形碗 | B−3 | Ⅲ層 | 7.5 | 3.6 | 5.7 | 景徳鎮 | |
| 434 | 青花鉢 | B−3 | Ⅲ層 | 8.0 | 3.6 | 4.5 | 景徳鎮 | 祥瑞 |
| 435 | 青花杯 | B−4 | Ⅲ層 | 8.4 | 3.3 | 4.55 | 景徳鎮 | 見込に露胎のつまみ状の突起がある |
| 436 | 青花杯 | B−3 | Ⅲ層 | 7.6 | 3.4 | 5.0 | 景徳鎮 | |
| 437 | 青花杯 | B−3 | Ⅲ層 | 6.6 | 2.6 | 3.9 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅰ類 |
| 438 | 青花小杯 | A−4 | Ⅲ層 | 6.9 | 2.6 | 4.2 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類 |
| 439 | 青花小杯 | D−2 | Ⅲ層 | 7.2 | 4.8 | 2.9 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類 |
| 440 | 青花小鉢 | B−3 | Ⅲ層 | 5.8 | 2.2 | 3.7 | 景徳鎮 | |
| 441 | 青花小杯 | D−2 | Ⅲ層 | 7.6 | − | 1.8 | 景徳鎮 | 森小杯Ⅲ類 |
| 442 | 青花合子蓋 | A−3 | Ⅲ層 | − | 5.8 | − | 景徳鎮 | |
| 443 | 白磁壺a・b・c | B−4 | Ⅲ層 | − | − | − | 華南 | 安平壺 |
| 444 | 三彩碗 | B−3 | Ⅲ層 | 18.4 | 8.0 | 5.3 | 景徳鎮 | 「六」と陰刻 |
| 445 | 青花鉢 | A−4 | Ⅲ層 | 18.6 | 9.8 | 3.6 | 景徳鎮 | |
| 446 | 青花皿 | B−4 | Ⅲ層 | 10.03 | 3.8 | 4.1 | 景徳鎮 | |
| 447 | 青花鉢 | A−4 | Ⅲ層 | 13.8 | 4.6 | 3.1 | 漳州窯 | |
| 448 | 染付皿 | B−3 | Ⅲ層 | 19.6 | 12.0 | 5.0 | 肥前 | |
| 449 | 青花鉢 | C−3 | Ⅲ層 | 11.8 | 4.8 | 6.5 | 景徳鎮 | |
| 450 | 染付碗 | B−3 | Ⅲ層 | 14.3 | 8.0 | 3.2 | | |
| 451 | 染付皿 | B−3 | Ⅲ層 | 10.2 | 10.6 | 7.1 | 肥前 | |
| 452 | 青磁火入れ | A−3 | Ⅲ層 | − | − | − | 肥前 | |
| 453 | 染付鉢 | A−3 | Ⅲ層 | 10.6 | 5.0 | 6.0 | 肥前 | |
| 454 | 陶器碗 | | Ⅲ層 | 11.8 | 5.0 | 7.65 | 薩摩か | |
| 455 | 陶器碗 | A−3 | Ⅲ層 | 12.6 | 5.3 | 7.1 | 薩摩か | |
| 456 | 陶器碗 | B−3 | Ⅲ層 | 12.3 | 4.2 | 3.65 | 薩摩か | |
| 457 | 陶器皿 | A−4 | Ⅲ層 | 13.2 | 4.6 | 4.3 | 肥前 | |
| 458 | 陶器皿 | A−4 | Ⅲ層 | 12.8 | 4.7 | 4.55 | 肥前 | |
| 459 | 陶器皿 | A−7 | Ⅲ層 | 11.3 | − | − | 肥前 | |
| 460 | 焼締め火入れ | D−2 | Ⅲ層 | | | | 肥前か | |
| 461 | 焼締め壺 | C−2・D−3 | Ⅲ層 | | | | タイ | |
| 462 | 土製品 | C−3 | Ⅵ層 | | | | 日本か | |
| 463 | クレーパイプ | B−8 | Ⅲ層 | | | | オランダ | |
| 464 | クレーパイプ | A−7 | Ⅲ層 | | | | オランダ | |
| 465 | クレーパイプ | c−3 | Ⅲ層 | | | | オランダ | |
| 466 | 青銅製像(手) | SD29 | SD29 | | | | 不明 | |
| 467 | 青銅鍵 | A−11 | Ⅵ層 | | | | 不明 | |
| 468 | 青銅製品 | A−9 | Ⅵ層 | | | | 不明 | |
| 469 | 青銅指輪 | B−5 | Ⅴ層 | | | | 不明 | |




グラフ1 SK3における陶磁器・土器組成

グラフ2 V層一括遺物の組成

[引用参考文献] 大橋康二 1993『肥前陶磁』ニュー・サイエンス社
小野正敏 1982「15、16 世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』No.2
森　毅 1995「一六、一七世紀における陶磁器の種類とその流通」『ヒストリア』第 149 号　大阪歴史学会

下関市立大学　櫻木晋一

出土銭貨

本遺跡からは，588 枚の銭貨が出土している。この内の 2 枚はガン銭と呼ばれているもので，厳密に言えば貨幣ではない。キセルの火皿部分を叩き潰すと貨幣に似た形態となり，貨幣として使用していたと考えられているものである。江戸期の都市遺跡からしばしば出土する。また，孔のあいていない近代銭も 1 枚含まれている。従って，円形方孔の銭貨は 585 枚であり，一括出土でないものとしては数量的に多い。これらを大別すると，付着物等で判読不能なものが 19 枚，寛永通寶以外のものが 48 枚，寛永通寶が 518 枚である。寛永通寶を，寛永 13 年（1636）から鋳造された古寛永通寶と，寛文 8 年（1668）から鋳造された新寛永通寶とに分類すると，古寛永通寶が 382 枚，新寛永通寶が 136 枚（文銭 47 枚）である。全体の約 85%が 17 世紀に鋳造された銭貨であり，このことから本遺跡は江戸期前半の遺物を主体とした遺跡であると言える。寛永通寶については，可能な限り収集界で使用されている分類も記載した[1]。

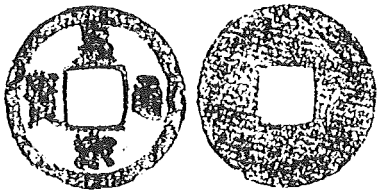
渡来銭は，淳化元寶（990 年初鋳），祥符元寶（1008 年初鋳），祥符通寶（1008 年初鋳），天禧通寶（1017 年初鋳），天聖元寶（1023 年初鋳），皇宋通寶（1037 年初鋳），熙寧元寶（1068 年初鋳），元豊通寶（1078 年初鋳），元祐通寶（1086 年初鋳），紹聖元寶（1094 年初鋳），元符通寶（1098 年初鋳），政和通寶（1111 年初鋳），景定元寶（1260 年初鋳），洪武通寶（1368 年初鋳），永楽通寶（1408 年初鋳），朝鮮通寶（1423 年初鋳），萬暦通寶（1576 年初鋳），天啓通寶（1621 年初鋳），順治通寶（1644 年初鋳）を確認できた[2]。

明末から清初の中国銭貨がわが国で出土する例は少ないが，本遺跡では萬暦通寶・天啓通寶・順治通寶が各 1 枚ずつ出土している。萬暦通寶は福建省など中国南部では広範に流通していたと言われている銭貨だが，わが国での出土例は博多遺跡群の 1 枚のみで，素材は真鍮である[3]。天啓通寶の出土は管見の限りわが国で初めてである。

わが国で近世初期に鋳造された特色ある銭貨群が出土している。これらの銭貨は近接している築町遺跡[4]でも同様に出土しており，長崎という地域は近世初期のわが国における銭貨生産およびそれらの流通を研究する上で重要である。まず，慶長通寶が 1 枚出土している。この銭貨は慶長 11 年（1606）に鋳造されたとする説もあるが，公式な鋳造記録は存在していない。最も古いⅦ層（16 世紀末）から出土していることから，層位の年代観が正しければ，慶長年間（1596 ～ 1615）初期に鋳造された可能性もある。ほぼ鋳造年代と出土層位の年代観が一致する。加治木洪武通寶は 2 枚出土している。背に「治」字を有しており，大隅国加治木で鋳造されていたことが確実な銭貨である。ともにⅥ層からの出土であり，17 世紀の前半のものである。また，収集界で叶手と呼ばれている元祐通寶が 3 枚出土している。篆書の字体に特徴があり，これも日本製である。背面に文字は確認できない。加治木洪武通寶と叶手元祐通寶は原城跡[5]からも共伴して出土しており，1637 年時点で流通していたことは間違いない。さらに，元通通寶が 3 枚出土している。2 枚がⅤ層焼土から出土しており，築町遺跡から出土した 2 枚の元通通寶も焼土層からの出土であり，この焼土の年代から 1663 年段階で流通していたことを示している。元通通寶は公式な貨幣には存在しない銭名であり，篆書の元豊通寶「豊」字を削り，真書の「通」を嵌め込んだ銭貨であると推定できる。現在のところ長崎市だけで出土例が知られている。また，長崎元豊通寶が 1 枚出土している。この真書体の元豊通寶は，万治 2 年（1659）に貿易決済のために長崎で作られたものであると言われている銭貨である。出土例が徐々に増加しており，国内でも流通していたことが推測できる。

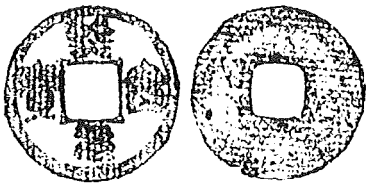
古寛永通寶は 13 種類を数えるが，出土数に偏りがあり，称水戸，推岡山，称沓谷，称岡山が多く見受けられる。生産量の関係であろうか。寛永通寶については，生産地とその流通圏の関係を探る必要があるが，今後の課題である。

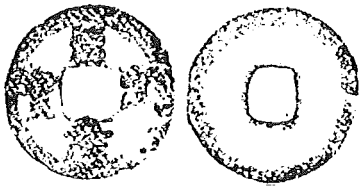
(1) 収集界の分類については，東洋鋳造貨幣研究所古田修久氏のご教示による。
(2) 渡来銭の初鋳年は『図録日本の貨幣 1』（東洋経済新報社，1971）によった。
(3) 2001 年に福岡市教育委員会より報告書刊行予定。
(4) 長崎市教育委員会『築町遺跡』1997
(5) 長崎県南有馬町教育委員会『原城跡』1996


皇宋通寶(真書)[161]

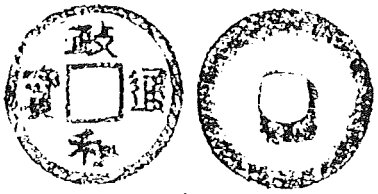
皇宋通寶(篆書)[553]

熙寧元寶(真書)[298]

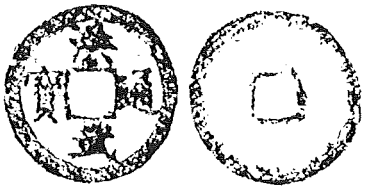

熙寧元寶(篆書)[43]

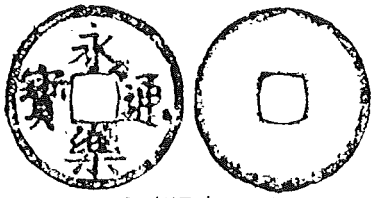

紹聖元寶(篆書)[169]

元符通寶(篆書)[382]

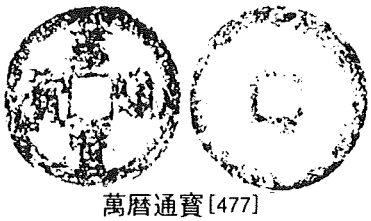

政和通寶(真書)[250]

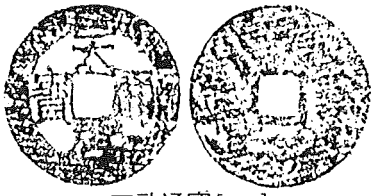
洪武通寶(降共)[196]

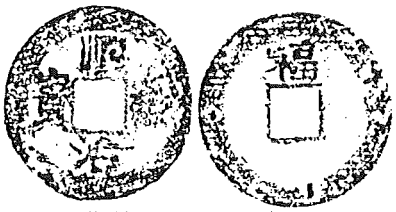

洪武通寶(長嘴)[42]

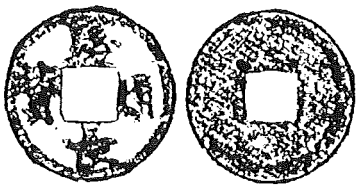

永楽通寶[215]

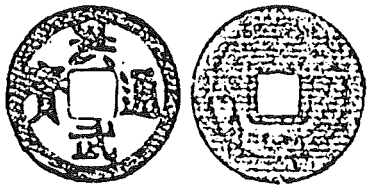
朝鮮通寶[390]


萬曆通寶[477]

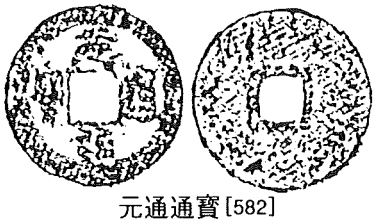

天啓通寶[550]

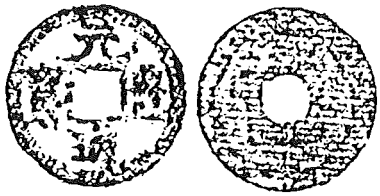

順治通寶背「福」[587]

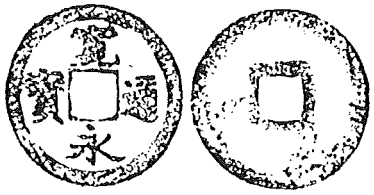

慶長通寶[214]

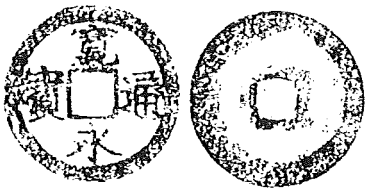

(加治木)洪武通寶背「治」[160]

(叶手)元祐通寶[5]


元通通寶[582]

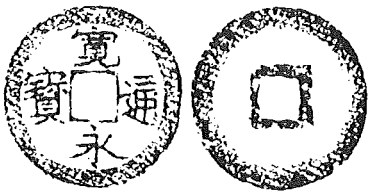

(長崎)元豊通寶[299]

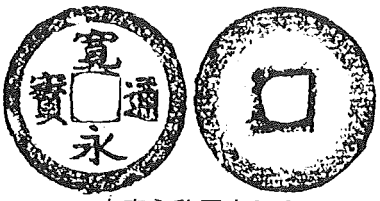

古寛永長門[22]

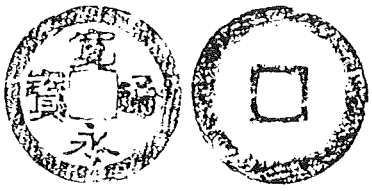

古寛永推水戸[405]

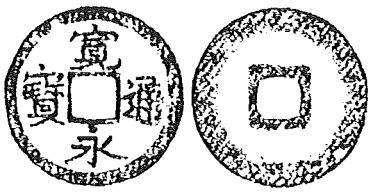
第45図

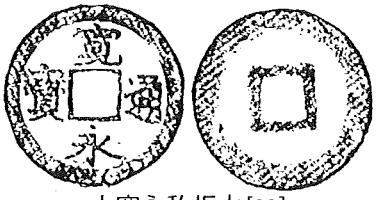
古寛永推松本[197]

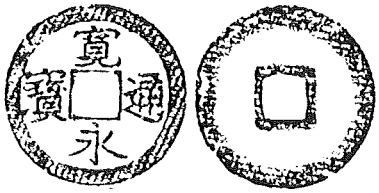

古寛永推岡山[79]

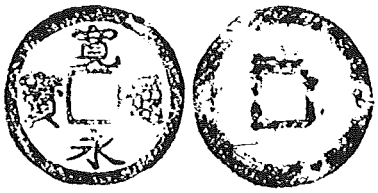

古寛永称岡山[12]

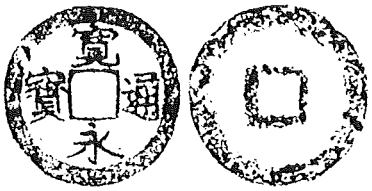

古寛永称御蔵[76]

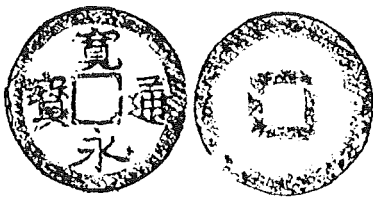

古寛永称芝[249]

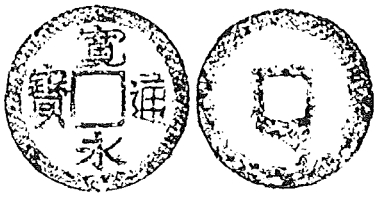

古寛永称坂本[20]


古寛永称水戸[59]

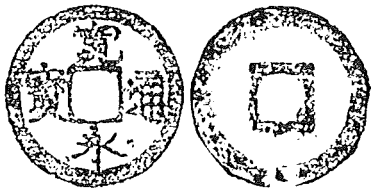

古寛永称仙台[82]

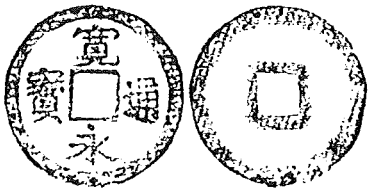

古寛永称吉田[189]

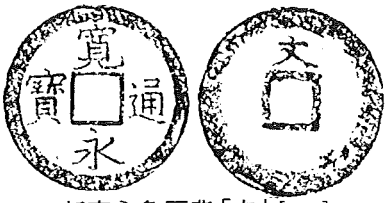

古寛永称高田[41]

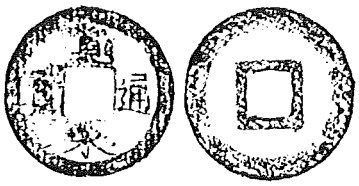

古寛永称建仁寺[261]

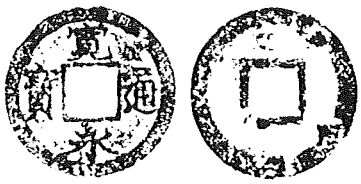
古寛永称沓谷[23]

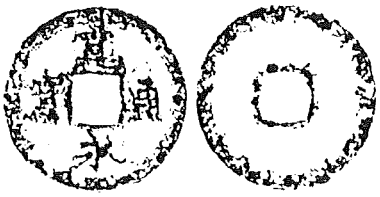

古寛永称鳥越[266]

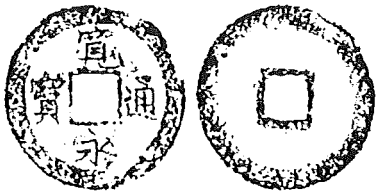

古寛永不知[21]

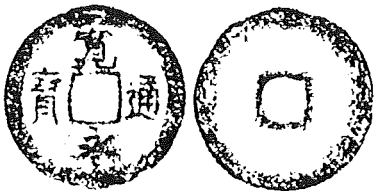

新寛永亀戸背「文」[267]

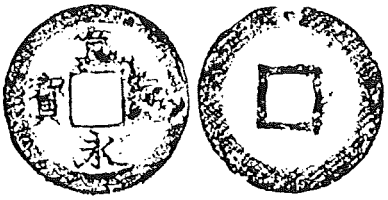

新寛永江戸萩原[56]


新寛永四ツ宝[552]


新寛永不旧手七条[275]

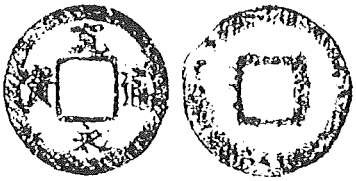

新寛永不旧手旧十万坪[142]


新寛永仙台石巻[222]

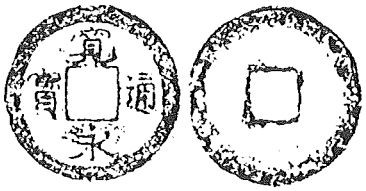

新寛永難波[149]

第 46 図

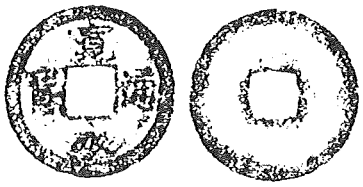
新寛永元文十万坪[429]



新寛永元文吉田島[284]



新寛永元文亀戸[64]



新寛永秋田[543]

ガン首銭[542]

0 1 2 3 4cm

| 番号 | 種別 | 分類 | 出土区・遺構 | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 寛永通寶 | 称高田 | A－4 | Ⅲ | |
| 2 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－4 | Ⅲ | |
| 3 | 寛永通寶 | 称吉田 | A－4 | Ⅲ | |
| 4 | 寛永通寶 | 推水戸 | C－3 | Ⅴ | |
| 5 | 元祐通寶 | 叶手元祐 | A－4 | Ⅲ | |
| 6 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－4 | Ⅲ | |
| 7 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－4 | Ⅲ | |
| 8 | 寛永通寶 | 称芝 | A－4 | Ⅲ | |
| 9 | 寛永通寶 | 称高田 | B－6 | Ⅵ | |
| 10 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－6 | Ⅵ | |
| 11 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－6 | Ⅵ | |
| 12 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－6 | Ⅵ | |
| 13 | 寛永通寶 | 不知 | A－6 | Ⅴ | |
| 14 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅴ | |
| 15 | 寛永通寶 | 推水戸 | A－6 | Ⅴ | |
| 16 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－6 | Ⅴ | |
| 17 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－6 | Ⅴ | |
| 18 | 寛永通寶 | 不知 | A－3 | Ⅵ | |
| 19 | 寛永通寶 | 推岡山 | C－3 | Ⅳ | |
| 20 | 寛永通寶 | 称坂本 | B－5 | Ⅵ | |
| 21 | 寛永通寶 | 不知 | B－5 | Ⅵ | |
| 22 | 寛永通寶 | 長門 | B－5 | Ⅵ | |
| 23 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－5 | Ⅵ | |
| 24 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－5 | Ⅵ | |
| 25 | 寛永通寶 | 新寛永　背「文」 | A－8 | Ⅳ | |
| 26 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝銭 | A－8 | Ⅳ | |
| 27 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 28 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－8 | Ⅳ | |
| 29 | 寛永通寶 | 新寛永　仙台石巻 | A－8 | Ⅳ | |
| 30 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 31 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | A－8 | Ⅳ | |
| 32 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－8 | Ⅳ | |
| 33 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 34 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手七条 | A－8 | Ⅳ | |
| 35 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－8 | Ⅳ | |
| 36 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－8 | Ⅳ | |
| 37 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－8 | Ⅳ | |
| 38 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 39 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－8 | Ⅳ | |
| 40 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 41 | 寛永通寶 | 称高田 | A－7 | Ⅵ | |
| 42 | 洪武通寶 | 長嗣 | A－7 | Ⅵ | |
| 43 | 熙寧元寶 | 篆書 | A－7 | Ⅵ | |
| 44 | 寛永通寶 | 新寛永　高津　背「元」 | A－7 | Ⅵ | |
| 45 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－7 | Ⅳ | |
| 46 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－7 | Ⅳ | |
| 47 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－7 | Ⅳ | |
| 48 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－7 | Ⅳ | |
| 49 | 寛永通寶 | 推岡山 | D－2 | | |
| 50 | 寛永通寶 | 推岡山 | D－2 | | |
| 51 | 寛永通寶 | 称水戸 | D－2 | | |
| 52 | 寛永通寶 | 不知 | D－2 | | |
| 53 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－3 | Ⅲ | |
| 54 | 寛永通寶 | 新寛永　小梅 | B－3 | Ⅲ | |
| 55 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－7 | Ⅵ | |
| 56 | 寛永通寶 | 新寛永　江戸荻原 | C－3 | Ⅲ | |
| 57 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | C－3 | Ⅲ | |
| 58 | 寛永通寶 | 新寛永　秋田 | C－3 | Ⅲ | |
| 59 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅵ | |
| 60 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅵ | |
| 61 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅵ | |
| 62 | 洪武通寶 | 長嗣 | A－6 | Ⅵ | |
| 63 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD05 | 撹乱 | |
| 64 | 寛永通寶 | 新寛永　元文亀戸 | B－7 | Ⅲ | |
| 65 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－6 | Ⅴ | |
| 66 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅴ | |
| 67 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SK06 | | |
| 68 | 寛永通寶 | 称芝 | B－8 | Ⅲ | |
| 69 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手七条 | B－8 | Ⅲ | |
| 70 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | B－8 | Ⅲ | |
| 71 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | B－8 | Ⅲ | |
| 72 | 寛永通寶 | 不知 | A－4 | Ⅲ | |
| 73 | 寛永通寶 | 称沓谷 | C－3 | Ⅴ | |
| 74 | 寛永通寶 | 不知 | B－5 | Ⅴ | |
| 75 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－6 | Ⅳ | |
| 76 | 寛永通寶 | 称御蔵 | B－6 | Ⅳ | |
| 77 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－6 | Ⅳ | |
| 78 | 寛永通寶 | 称坂本 | B－6 | Ⅳ | |
| 79 | 寛永通寶 | 推岡山 | A－6 | Ⅵ | |
| 80 | 寛永通寶 | 不知 | A－6 | Ⅵ | |

| 番号 | 種別 | 分類 | 出土区・遺構 | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 81 | 寛永通寶 | 称吉田 | A－7 | Ⅳ | |
| 82 | 寛永通寶 | 称仙台 | A－7 | Ⅳ | |
| 83 | 寛永通寶 | 称高田 | A－7 | Ⅳ | |
| 84 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅵ | |
| 85 | 寛永通寶 | 称芝 | B－5 | Ⅵ | |
| 86 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－8 | Ⅳ | |
| 87 | 寛永通寶 | 推水戸 | B－8 | Ⅳ | |
| 88 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | B－8 | Ⅳ | |
| 89 | 寛永通寶 | 新寛永　元文　十万坪 | B－8 | Ⅳ | |
| 90 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅵ | |
| 91 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－5 | Ⅵ | |
| 92 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅵ | |
| 93 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－5 | Ⅵ | |
| 94 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅵ | |
| 95 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅵ | |
| 96 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－9 | Ⅳ | |
| 97 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－9 | Ⅳ | |
| 98 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－9 | Ⅳ | |
| 99 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－9 | Ⅳ | |
| 100 | 寛永通寶 | 新寛永　元文推定不知 | B－9 | Ⅳ | |
| 101 | 寛永通寶 | 不知 | B－9 | Ⅳ | |
| 102 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－10 | Ⅳ | |
| 103 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－10 | Ⅳ | |
| 104 | 寛永通寶 | 称芝 | A－10 | Ⅳ | |
| 105 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－10 | Ⅳ | |
| 106 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 107 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 108 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 109 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－10 | Ⅳ | |
| 110 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－10 | Ⅳ | |
| 111 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－10 | Ⅳ | |
| 112 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－10 | Ⅳ | |
| 113 | 寛永通寶 | 称芝 | A－10 | Ⅳ | |
| 114 | 寛永通寶 | 称高田 | A－10 | Ⅳ | |
| 115 | 寛永通寶 | 不知 | A－10 | Ⅳ | |
| 116 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－10 | Ⅳ | |
| 117 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－3 | Ⅵ | |
| 118 | 洪武通寶 | | B－3 | Ⅵ | |
| 119 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－7 | Ⅳ | |
| 120 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－7 | Ⅳ | |
| 121 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－7 | Ⅳ | |
| 122 | 寛永通寶 | 推水戸 | A－7 | Ⅴ | |
| 123 | 寛永通寶 | 新寛永　元文十万坪 | C－3 | Ⅲ | |
| 124 | 寛永通寶 | 新寛永 | C－3 | Ⅲ | |
| 125 | 寛永通寶 | 称沓谷 | C－3 | Ⅲ | |
| 126 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK03 | | |
| 127 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－3 | Ⅲ | |
| 128 | 寛永通寶 | 不知 | B－6 | Ⅵ | |
| 129 | 寛永通寶 | 称芝銭 | B－6 | Ⅵ | |
| 130 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | B－8 | Ⅳ | |
| 131 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－8 | Ⅳ | |
| 132 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－8 | Ⅳ | |
| 133 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－8 | Ⅳ | |
| 134 | 寛永通寶 | 不知 | B－8 | Ⅳ | |
| 135 | 寛永通寶 | 不知 | B－8 | Ⅳ | |
| 136 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－8 | Ⅳ | |
| 137 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－8 | Ⅳ | |
| 138 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－8 | Ⅳ | |
| 139 | 寛永通寶 | 称芝 | B－2 | ⅣⅤ | |
| 140 | 寛永通寶 | 推水戸 | B－2 | ⅣⅤ | |
| 141 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅵ | |
| 142 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | B－8 | Ⅳ | |
| 143 | 寛永通寶 | 不知 | B－8 | Ⅳ | |
| 144 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－9 | Ⅳ | |
| 145 | 寛永通寶 | 新寛永　文無背 | A－9 | Ⅳ | |
| 146 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | A－9 | Ⅳ | |
| 147 | 寛永通寶 | 新寛永　仙台石巻 | A－9 | Ⅳ | |
| 148 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－9 | Ⅳ | |
| 149 | 寛永通寶 | 新寛永　難波 | A－9 | Ⅳ | |
| 150 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅳ | |
| 151 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅳ | |
| 152 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－6 | Ⅵ | |
| 153 | 寛永通寶 | 不知 | B－9 | Ⅳ | |
| 154 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－9 | Ⅳ | |
| 155 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | ⅤⅥ | |
| 156 | 熙寧元寶 | 真書 | C－2 | ⅤⅥ | |
| 157 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－7 | Ⅲ | |
| 158 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | A－7 | Ⅲ | |
| 159 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－5 | Ⅵ | |
| 160 | 洪武通寶 | 加治木銭　背「治」 | A－5 | Ⅵ | |

古銭整理表　①

| 番号 | 種別 | 分類 | 出土区・遺構 | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 161 | 皇宋通寶 | 真書 | A－5 | Ⅵ | |
| 162 | 祥符○寶 | | A－5 | Ⅵ | |
| 163 | 寛永通寶 | 称芝 | A－5 | Ⅵ | |
| 164 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－5 | Ⅵ | |
| 165 | 寛永通寶 | 称坂本 | B－6 | Ⅳ | |
| 166 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－6 | Ⅵ | |
| 167 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－7 | Ⅳ | |
| 168 | 寛永通寶 | 新寛永　背「文」 | B－7 | Ⅳ | |
| 169 | 紹聖元寶 | 篆書 | B－7 | Ⅳ | |
| 170 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－7 | Ⅳ | |
| 171 | 寛永通寶 | 称高田 | B－7 | Ⅳ | |
| 172 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－7 | Ⅳ | |
| 173 | 寛永通寶 | 称芝 | B－7 | Ⅳ | |
| 174 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－7 | Ⅳ | |
| 175 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－7 | Ⅵ | |
| 176 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　藤沢 | A－8 | Ⅳ | |
| 177 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－8 | Ⅳ | |
| 178 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 179 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | A－8 | Ⅳ | |
| 180 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 181 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－7 | Ⅲ | |
| 182 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－7 | Ⅳ | |
| 183 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－5 | Ⅴ | |
| 184 | 寛永通寶 | 称岡山 | SK04 | | |
| 185 | 寛永通寶 | 称芝 | A－9 | Ⅳ | |
| 186 | 寛永通寶 | 称坂本 | B－7 | Ⅳ | |
| 187 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－7 | Ⅳ | |
| 188 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－7 | Ⅳ | |
| 189 | 寛永通寶 | 称吉田 | B－7 | Ⅳ | |
| 190 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－7 | Ⅳ | |
| 191 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－7 | Ⅳ | |
| 192 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | B－7 | Ⅳ | |
| 193 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－10 | Ⅵ | |
| 194 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－10 | Ⅵ | |
| 195 | 元祐通寶 | 叶手元祐 | B－10 | Ⅵ | |
| 196 | 洪武通寶 | 降共 | B－10 | Ⅵ | |
| 197 | 寛永通寶 | 推松本 | B－10 | Ⅵ | |
| 198 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅵ | |
| 199 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－10 | Ⅵ | |
| 200 | 寛永通寶 | 称高田 | A－9 | Ⅴ | |
| 201 | 寛永通寶 | 不知 | A－9 | Ⅴ | |
| 202 | 寛永通寶 | 推岡山 | A－9 | Ⅴ | |
| 203 | 寛永通寶 | 不知 | A－9 | Ⅴ | |
| 204 | 寛永通寶 | 称芝 | A－9 | Ⅴ | |
| 205 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | A－9 | Ⅴ | |
| 206 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅴ | |
| 207 | 祥符○寶 | | A－6 | Ⅴ | |
| 208 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅴ | |
| 209 | 寛永通寶 | 称芝 | A－6 | Ⅴ | |
| 210 | 寛永通寶 | 称高田 | A－6 | Ⅴ | |
| 211 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅳ | |
| 212 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－5 | Ⅳ | |
| 213 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－5 | Ⅳ | |
| 214 | 慶長通寶 | | B－5 | Ⅶ | |
| 215 | 永楽通寶 | | B－10 | Ⅳ下 | |
| 216 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－10 | Ⅳ下 | |
| 217 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－10 | Ⅳ下 | |
| 218 | 寛永通寶 | 称芝 | B－10 | Ⅳ下 | |
| 219 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | B－10 | Ⅳ下 | |
| 220 | 寛永通寶 | 称芝 | B－10 | Ⅳ下 | |
| 221 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－10 | Ⅳ | |
| 222 | 寛永通寶 | 新寛永　仙台石巻 | A－10 | Ⅳ | |
| 223 | 寛永通寶 | 称高田 | A－11 | Ⅳ | |
| 224 | 寛永通寶 | 称水戸 | P05 | | |
| 225 | 寛永通寶 | 称芝 | A－11 | Ⅳ | |
| 226 | 寛永通寶 | 新寛永　江戸萩原 | B－5 | Ⅴ | |
| 227 | 寛永通寶 | 不知 | B－5 | Ⅴ | |
| 228 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅴ | |
| 229 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－5 | Ⅴ | |
| 230 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－5 | Ⅴ | |
| 231 | 寛永通寶 | 推岡山 | SD08 | | |
| 232 | 寛永通寶 | 称水戸 | SD08 | | |
| 233 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－9 | Ⅳ | |
| 234 | 寛永通寶 | 不知 | A－9 | Ⅳ | |
| 235 | 寛永通寶 | 推岡山 | SD30 | | |
| 236 | 寛永通寶 | 推松本 | SD30 | | |
| 237 | 寛永通寶 | 背「文」 | SD30 | | |
| 238 | 寛永通寶 | 称岡山 | SD30 | | |
| 239 | 寛永通寶 | 称鳥越 | SD30 | | |
| 240 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD30 | | |
| 241 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD30 | | |
| 242 | 寛永通寶 | 称芝 | A－7 | Ⅴ | |
| 243 | 寛永通寶 | 不知 | A－5 | Ⅴ | |
| 244 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－3 | Ⅲ | |
| 245 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－7 | Ⅳ | |
| 246 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－7 | Ⅳ | |
| 247 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－7 | Ⅳ | |
| 248 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－7 | Ⅳ | |
| 249 | 寛永通寶 | 称芝 | B－7 | Ⅳ | |
| 250 | 政和通寶 | 真書 | B－7 | Ⅳ | |
| 251 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－7 | Ⅳ | |
| 252 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手七条 | B－7 | Ⅳ | |
| 253 | ？ | | B－7 | Ⅳ | |
| 254 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－11 | Ⅳ | |
| 255 | 寛永通寶 | 推岡山 | A－11 | Ⅳ | |
| 256 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－11 | Ⅳ | |
| 257 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－11 | Ⅳ | |
| 258 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－11 | Ⅳ | |
| 259 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－8 | Ⅳ | |
| 260 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－8 | Ⅳ | |
| 261 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－8 | Ⅳ | |
| 262 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－8 | Ⅳ | |
| 263 | 寛永通寶 | 称芝 | A－8 | Ⅳ | |
| 264 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－7 | Ⅳ | |
| 265 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－7 | Ⅳ | |
| 266 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－7 | Ⅳ | |
| 267 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－7 | Ⅳ | |
| 268 | 寛永通寶 | 不知 | B－8 | Ⅵ | |
| 269 | 寛永通寶 | 称芝 | A－7 | Ⅳ | |
| 270 | 寛永通寶 | 称吉田 | B－8 | Ⅳ | |
| 271 | ？ | | A－7 | Ⅵ | |
| 272 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－2 | Ⅲ | |
| 273 | 寛永通寶 | 新寛永　元文十万坪 | B－2 | Ⅲ | |
| 274 | 寛永通寶 | 称芝 | A－8 | Ⅳ | |
| 275 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手七条 | A－8 | Ⅳ | |
| 276 | 寛永通寶 | 新寛永四ツ宝 | A－8 | Ⅳ | |
| 277 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手七条 | A－8 | Ⅳ | |
| 278 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－8 | Ⅳ | |
| 279 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 | Ⅳ | |
| 280 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－10 | Ⅳ | |
| 281 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 282 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－10 | Ⅳ | |
| 283 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－10 | Ⅳ | |
| 284 | 寛永通寶 | 新寛永　元文藤沢吉田鵠 | B－10 | Ⅳ | |
| 285 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | B－10 | Ⅳ | |
| 286 | 元祐通寶 | 叶手元祐 | B－10 | Ⅳ | |
| 287 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 288 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－10 | Ⅳ | |
| 289 | 寛永通寶 | 称坂本 | B－10 | Ⅳ | |
| 290 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－11 | Ⅳ | |
| 291 | 寛永通寶 | 不知 | SD14 | | |
| 292 | 寛永通寶 | 文無背 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 293 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 294 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 295 | 寛永通寶 | 新寛永　元文亀戸 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 296 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 297 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 298 | 熙寧元寶 | 真書 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 299 | 元豊通寶 | 長崎元豊 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 300 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | | |
| 301 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | | |
| 302 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | | |
| 303 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－9 | Ⅳ | |
| 304 | 皇宋通寶 | | B－7 | Ⅴ | |
| 305 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－10 | Ⅳ | |
| 306 | 寛永通寶 | 称芝 | B－8 | Ⅳ | |
| 307 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－11 | Ⅵ | |
| 308 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－11 | Ⅵ | |
| 309 | 洪武通寶 | 降共 | B－4 | Ⅵ | |
| 310 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 311 | 寛永通寶 | 称水戸 | SK05 | | |
| 312 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 313 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 314 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 315 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 316 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 317 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 318 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 319 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 320 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 321 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 322 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 323 | 寛永通寶 | 古寛永 | SK05 | | |
| 324 | 寛永通寶 | 古寛永 | D－2 | Ⅵ | |
| 325 | 寛永通寶 | 古寛永 | D－2 | Ⅵ | |
| 326 | ？ | | A－3 | Ⅵ | |
| 327 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－5 | Ⅳ | |
| 328 | ？ | | A－6 | Ⅴ | 炭水化物付着 |
| 329 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | Ⅵ | |
| 330 | 寛永通寶 | 古寛永 | D－2 | Ⅵ | |
| 331 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手 | B－9 | Ⅳ | |
| 332 | 寛永通寶 | 新寛永　旧猿江 | B－9 | Ⅳ | |
| 333 | 洪武通寶 | | B－3 | Ⅲ | |
| 334 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－4 | Ⅲ | |
| 335 | 寛永通寶 | 新寛永 | SD06 | | |
| 336 | 寛永通寶 | 新寛永 | SD23 | | |
| 337 | 洪武通寶 | 加治木　洪武　背「治」 | A－5 | Ⅵ | |
| 338 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | Ⅲ | |
| 339 | 天聖元寶 | 篆書 | A－7 | Ⅵ | |
| 340 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－3 | Ⅲ | |
| 341 | 寛永通寶 | 背「文」 | B－9 | Ⅳ | |
| 342 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | B－8 | Ⅳ | |
| 343 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | B－8 | Ⅳ | |
| 344 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－6 | Ⅵ | |
| 345 | 寛永通寶 | 不知 | B－6 | Ⅵ | |
| 346 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－7 | Ⅳ | |
| 347 | 寛永通寶 | 称芝 | A－7 | Ⅳ | |
| 348 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－7 | Ⅳ | |
| 349 | 寛永通寶 | 不知 | A－4 | Ⅲ | |
| 350 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－4 | Ⅲ | |
| 351 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－6 | Ⅴ | |
| 352 | 寛永通寶 | 称芝 | A－10 | Ⅳ | |
| 353 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－2 | ⅣⅤ | |
| 354 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅳ | |
| 355 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－10 | Ⅴ | |
| 356 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－3 | Ⅲ | |
| 357 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | E－16 | Ⅴ | |
| 358 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | A－9 | Ⅳ | |
| 359 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | B－7 | Ⅳ | |
| 360 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD21 | | |
| 361 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－11 | Ⅴ | |
| 362 | 寛永通寶 | 背「文」 | A－16 | Ⅴ | |
| 363 | ？ | | SD42 | | 付着物 |
| 364 | 寛永通寶 | 称仙台 | A－6 | Ⅵ | |
| 365 | ？ | | B－2 | ⅣⅤ | 付着物 |
| 366 | 寛永通寶 | 推水戸 | B－7 | Ⅲ | |
| 367 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－6 | Ⅴ | |
| 368 | 元通通寶 | | SK08 | | |
| 369 | ？ | | B－16 | 撹乱 | 付着物 |
| 370 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | SK06 | | |
| 371 | 寛永通寶 | 文無背 | F－16 | Ⅳ | |
| 372 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD28 | | |
| 373 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－2 | ⅣⅤ | |
| 374 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－11 | Ⅳ | |

古銭整理表　②

| 番号 | 種別 | 分類 | 出土区・遺構 | 層位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 375 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－8 | Ⅵ | |
| 376 | ? | | A－10 | Ⅳ | 付着物 |
| 377 | 淳化元寶 | 真書 | B－7 | Ⅳ | |
| 378 | 寛永通寶 | 称水戸 | SK07 | | |
| 379 | 洪武通寶 | | A－10 | Ⅴ | |
| 380 | 寛永通寶 | 称芝 | B－5 | ⅣⅤ | |
| 381 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－2 | Ⅲ | |
| 382 | 元符通寶 | 篆書 | A－9 | Ⅵb上 | |
| 383 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－8 B－9 | Ⅴ | |
| 384 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－5 | Ⅲ | |
| 385 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅳ下 | |
| 386 | 天聖元寶 | 篆書 | A－10 | Ⅴ | |
| 387 | 寛永通寶 | 不知 | B－3 | Ⅲ | |
| 388 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD29 | | |
| 389 | 洪武通寶 | 長嘴 | A－10 | Ⅴ | |
| 390 | 朝鮮通寶 | | A－10 | Ⅲ | |
| 391 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－10 | Ⅲ | |
| 392 | 寛永通寶 | 不知 | A－7 | Ⅴ | |
| 393 | 寛永通寶 | 称芝 | A－6 | Ⅵ | |
| 394 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅴ | |
| 395 | 寛永通寶 | 称鳥越 | B－11 | Ⅳ下 | |
| 396 | 寛永通寶 | 新寛永 | D－3 | Ⅶ | |
| 397 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 398 | 寛永通寶 | 称高田 | A－9 | Ⅴ | |
| 399 | 寛永通寶 | 背「文」 | B－16 | Ⅵ | |
| 400 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | C－2 | Ⅵ | |
| 401 | 寛永通寶 | 新寛永 | D－15 | 撹乱 | |
| 402 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－5 | Ⅳ | |
| 403 | 寛永通寶 | 推岡山 | A－9 | Ⅴ一括 | |
| 404 | 元豊通寶 | | SD11 | | |
| 405 | 寛永通寶 | 推水戸 | B－7 | Ⅴ | |
| 406 | 寛永通寶 | 新寛永　仙台石巻 | A－9 | Ⅳ下 | |
| 407 | 寛永通寶 | 称水戸 | E－16 | Ⅵ | |
| 408 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－10 | Ⅳ | |
| 409 | 寛永通寶 | 称芝 | B－11 | Ⅴ | |
| 410 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD32 | | |
| 411 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－6 | Ⅳ | |
| 412 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | A－5 | Ⅳ | |
| 413 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－8 | Ⅳ | |
| 414 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－3 | Ⅲ | |
| 415 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－11 | Ⅳ | |
| 416 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－10 | Ⅲ | |
| 417 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－10 | Ⅳ下 | |
| 418 | 寛永通寶 | 古寛永　称鳥越 | B－4 | Ⅲ | |
| 419 | 元豊通寶 | 行書 | A－8 | Ⅳ | |
| 420 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | B－10 | Ⅳ | |
| 421 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－9 | Ⅳ | |
| 422 | 寛永通寶 | 称坂本 | B－6 | Ⅴ | |
| 423 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅴ | |
| 424 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－7 | Ⅲ | |
| 425 | 寛永通寶 | 不知 | SK02 | | |
| 426 | 寛永通寶 | 推岡山 | A－11 | Ⅴ | |
| 427 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－11 | Ⅴ | |
| 428 | 寛永通寶 | 称芝 | A－8 | Ⅳ | |
| 429 | 寛永通寶 | 新寛永　元文十万坪 | A－8 | Ⅳ | |
| 430 | 寛永通寶 | 称高田 | B－10 | Ⅴ一括 | |
| 431 | 寛永通寶 | 不知 | B－10 | Ⅴ一括 | |
| 432 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－10 | Ⅴ一括 | |
| 433 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅴ一括 | |
| 434 | 寛永通寶 | 背「文」 | A－4 | Ⅲ | |
| 435 | 寛永通寶 | 背「文」 | A－4 | Ⅲ | |
| 436 | 景定元寶 | 背「二」 | D－3 | ⅤⅥ | |
| 437 | 元祐通寶 | 篆書 | D－3 | ⅤⅥ | |
| 438 | 寛永通寶 | 古寛永 | D－3 | ⅤⅥ | |
| 439 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 440 | ? | | B－10 | Ⅳ | 劣化し判読不能 |
| 441 | 寛永通寶 | 新寛永 | D－3 | Ⅳ | |
| 442 | 寛永通寶 | 新寛永 | D－3 | Ⅳ | |
| 443 | 寛永通寶 | 新寛永　仙台石巻 | D－3 | Ⅳ | |
| 444 | 寛永通寶 | 新寛永 | D－3 | Ⅳ | |
| 445 | ? | | D－3 | Ⅳ | 判読不能　極薄 |
| 446 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 447 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 448 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－6 | Ⅳ | |
| 449 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－6 | Ⅳ | |
| 450 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－10 | Ⅳ | |
| 451 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－10 | Ⅳ | |
| 452 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 453 | 寛永通寶 | 背「文」 | A－11 | Ⅲ | |
| 454 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－11 | Ⅲ | |
| 455 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－9 | Ⅳ | |
| 456 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－9 | Ⅳ | |
| 457 | 天聖元寶 | 篆書 | B－8 | Ⅳ下 | |
| 458 | 寛永通寶 | 称高田 | B－8 | Ⅳ下 | |
| 459 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | B－11 | Ⅳ | |
| 460 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－11 | Ⅳ | |
| 461 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－11 | Ⅳ | |
| 462 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－11 | Ⅳ | |
| 463 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　旧十万坪 | B－11 | Ⅳ | |
| 464 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD27 | | |
| 465 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD27 | | |
| 466 | 寛永通寶 | 新寛永 | SD27 | | |
| 467 | 寛永通寶 | 称岡山 | A－3 | Ⅳ | |
| 468 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－3 | Ⅳ | |
| 469 | 寛永通寶 | 長門 | A－3 | Ⅳ | |
| 470 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－3 | Ⅳ | |
| 471 | 寛永通寶 | 称岡山 | B－11 | Ⅳ下 | |
| 472 | 寛永通寶 | 古寛永 | | Ⅳ一括 | |
| 473 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－11 | Ⅳ下 | |
| 474 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手　七条 | A－11 | Ⅳ | |
| 475 | 寛永通寶 | 不知 | A－11 | Ⅳ | |
| 476 | 天禧通寶 | | A－11 | Ⅵ | |
| 477 | 萬暦通寶 | | A－6 | Ⅲ | |
| 478 | 寛永通寶 | 称芝 | A－6 | Ⅲ | |
| 479 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－6 | Ⅲ | |
| 480 | 寛永通寶 | 称芝 | A－3 | Ⅲ | |
| 481 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－3 | Ⅲ | |
| 482 | 寛永通寶 | 新寛永　仙台石巻 | A－9 | Ⅲ | |
| 483 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅲ | |
| 484 | 寛永通寶 | 称鳥越 | SD31 | | |
| 485 | 寛永通寶 | 背「文」 | SD31 | | |
| 486 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD31 | | |
| 487 | 寛永通寶 | 称芝 | C－2 | Ⅳ | |
| 488 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－2 | Ⅳ | |
| 489 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | C－2 | Ⅳ | |
| 490 | 寛永通寶 | 称鳥越 | A－10 | Ⅳ | |
| 491 | 寛永通寶 | 称芝 | A－10 | Ⅳ | |
| 492 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 493 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－5 | Ⅴ | |
| 494 | 寛永通寶 | 称芝 | B－5 | Ⅴ | |
| 495 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－5 | Ⅴ | |
| 496 | 寛永通寶 | 称芝 | B－10 | Ⅳ | |
| 497 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－10 | Ⅳ | |
| 498 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－9 | Ⅴ | |
| 499 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－9 | Ⅴ | |
| 500 | ? | | A－10 | Ⅳ | 付着物 |
| 501 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 502 | 寛永通寶 | 推岡山 | C－3 | Ⅵ | |
| 503 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 504 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 505 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 506 | 寛永通寶 | 称水戸 | C－3 | Ⅵ | |
| 507 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 508 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 509 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 510 | 寛永通寶 | 不知 | A－10 | Ⅳ | |
| 511 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD26 | | |
| 512 | 寛永通寶 | 古寛永 | SD26 | | |
| 513 | ? | | SD26 | | |
| 514 | 寛永通寶 | 称水戸 | SD26 | | |
| 515 | 寛永通寶 | 新寛永 | SD26 | | |
| 516 | 寛永通寶 | 称沓谷 | SD26 | | |
| 517 | 寛永通寶 | 不知 | SD26 | | |
| 518 | 寛永通寶 | 称芝 | SD26 | | |
| 519 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD26 | | |
| 520 | 祥符通寶 | | B－2 | ⅣⅤ | |
| 521 | 洪武通寶 | | B－2 | ⅣⅤ | |
| 522 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－2 | ⅣⅤ | |
| 523 | 祥符元寶 | | B－2 | ⅣⅤ | |
| 524 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 525 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 526 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | A－8 | Ⅳ | |
| 527 | ? | | A－8 | Ⅳ | |
| 528 | ? | | A－9 | Ⅳ | |
| 529 | ? | | A－9 | Ⅳ | |
| 530 | ? | | D－16 | | |
| 531 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD17 | | |
| 532 | ? | | A－10 | Ⅳ | |
| 533 | ? | | B－6 | Ⅴ | |
| 534 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－11 | Ⅳ | |
| 535 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | A－11 | Ⅳ | |
| 536 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－11 | Ⅴ | |
| 537 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－11 | Ⅴ | |
| 538 | ? | | C－2 | Ⅲ | |
| 539 | 寛永通寶 | 称芝 | A－10 | Ⅳ | |
| 540 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 541 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－10 | Ⅳ | |
| 542 | ガン首銭 | | A－10 | Ⅳ | |
| 543 | 寛永通寶 | 新寛永　秋田 | A－9 | Ⅳ | |
| 544 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－9 | Ⅳ | |
| 545 | 寛永通寶 | 新寛永　不旧手七条 | A－9 | Ⅳ | |
| 546 | 寛永通寶 | 称建仁寺 | A－9 | Ⅳ | |
| 547 | 寛永通寶 | 新寛永 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 548 | 寛永通寶 | 推岡山 | A－10 | Ⅳ下 | |
| 549 | 寛永通寶 | 古寛永 | B－5 | Ⅳ | |
| 550 | 天啓通寶 | | B－5 | Ⅳ | |
| 551 | 寛永通寶 | 推岡山 | B－10 | Ⅳ | |
| 552 | 寛永通寶 | 新寛永　四ツ宝 | B－10 | Ⅳ | |
| 553 | 皇宋通寶 | 篆書 | B－10 | Ⅳ | |
| 554 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－7 | Ⅳ | |
| 555 | 洪武通寶 | | A－7 | Ⅳ | |
| 556 | 寛永通寶 | 古寛永 | A－6 | Ⅳ | |
| 557 | 寛永通寶 | 称坂本 | A－6 | Ⅳ | |
| 558 | 寛永通寶 | 背「文」 | B－10 | Ⅳ | |
| 559 | 寛永通寶 | 新寛永 | B－10 | Ⅳ | |
| 560 | 寛永通寶 | 称沓谷 | B－10 | Ⅳ | |
| 561 | 寛永通寶 | 称芝 | B－10 | Ⅳ | |
| 562 | 寛永通寶 | 称沓谷 | A－11 | Ⅳ | |
| 563 | 寛永通寶 | 称谷分 | A－11 | Ⅳ | |
| 564 | 寛永通寶 | 称水戸 | B－11 | Ⅵ | |
| 565 | 洪武通寶 | 長嘴 | B－11 | Ⅵ | |
| 566 | ガン首銭 | | B－8 | Ⅳ | |
| 567 | ? | 孔無 | A－8 | Ⅲ | |
| 568 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 569 | 寛永通寶 | 称芝 | C－3 | Ⅵ | |
| 570 | 寛永通寶 | 称芝 | C－3 | Ⅵ | |
| 571 | 寛永通寶 | 称岡山 | C－3 | Ⅵ | |
| 572 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 573 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 574 | 寛永通寶 | 称水戸 | C－3 | Ⅵ | |
| 575 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 576 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 577 | 寛永通寶 | 不知 | C－3 | Ⅵ | |
| 578 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 579 | 寛永通寶 | 古寛永 | C－3 | Ⅵ | |
| 580 | ○○通寶 | | A－5 | Ⅵ | 寛永銭ではない |
| 581 | 寛永通寶 | 称水戸 | A－10 | Ⅴ | |
| 582 | 元通通寶 | | A－10 | Ⅴ | |
| 583 | 寛永通寶 | 新寛永 | SD01 | | |
| 584 | 寛永通寶 | 新寛永　亀戸　背「文」 | SD01 | | |
| 585 | 寛永通寶 | 古寛永 | SX04 | | |
| 586 | 寛永通寶 | 古寛永 | SX04 | | |
| 587 | 順治通寶 | 背「福」 | SX04 | | |
| 588 | 寛永通寶 | 古寛永 | SX04 | | |

古銭整理表　③

# 一般国道324号道路改良に伴う栄町遺跡発掘調査出土銭貨の誘導結合プラズマ発光分光分析法による分析

岩手県立博物館　　咲山　まどか　　赤沼　英男

栄町遺跡から出土した銭貨について誘導結合プラズマ発光分光分析法(ICP－AES法)により分析を行った。以下にその結果を報告する。

## 1　分析資料

分析した資料は慶長通寶他7点である。資料No.8が一部欠損しておりそのほかは完形品であるが、いずれも錆で覆われてはいるものの，錆化が進んだ資料である。資料の一覧を表1に示す。

## 2　分析試料の調整ならびに分析方法

資料表面に付着している錆層を金属面が露出するまでダイヤモンドカッターを装着したハンドドリルで除去した。このようにして得られた試料面から，微量のメタル片またはメタルと錆が混在した試料片を削り取り，超音波洗浄後十分に乾燥した。乾燥したテフロン分解容器に直接秤量し，硝酸で溶解後塩酸を加えて1モル溶液となるように希釈して試料溶液を作成した[1)]。得られた溶液に含有される銅（Cu），鉛（Pb），錫（Sn），鉄（Fe），アンチモン（Sb）の5元素をICP－AES法により定量した。

## 3　分析結果ならびに考察

表2はICP－AES法による定量分析結果である。No.1，No.4，No.6，No.7，No.8はCu，Pb，Snがそれぞれ66.5～86.5%，2～16.5%，1.04～6.28%含有されている。またNo.1，No.4およびNo.6からは2～6%のFe，0.02～0.89%のSb分が検出された。No.2，No.5はCu，Pbを成分とする。

5成分の合計が90%を上回るNo.1，No.2，No.5，No.6について，Cu，Sn，Pbの3成分の含有量を100%に規格化し，Cu－Pb－Sn系三角ダイヤグラムにプロットした（図1）。図1には佐々木らによる輸入明銭と国内模鋳銭の組成範囲[2)]も示したが，それを加味するとNo.1はCu－Pb－Sn三元系合金の公鋳銭に精鉛を添加した領域（I'）に属する。No.2，No.5，No.6は，Cu－Pb系合金で，領域IIに分布する。私鋳銭の領域に属する。

No.2，No.3，No.4，No.7については錆化が進んでおり，Cu，Pb，Sn 3成分の含有量を100%に規格化することが困難であるためプロットは見合わせた。No.8については蛍光X線分析によって10%を上回る亜鉛（Zn）の含有が確認されており，真鍮銭であることが確認された。

No.2～No.6には2%以上のFeが含有されている。図1を加味するとNo.1には公鋳銭，No.2・5は私鋳銭，No.3・6は私鋳銭もしくは模鋳銭が再利用されてた可能性がある。No.4については銭種を考慮すると(加治木洪武[3)])模鋳銭としておきたい。一方No.7は私鋳銭，No.8は真鍮を素材とする公鋳銭と推定される。栄町遺跡出土銭貨には組成の異なる地金が使用されている。今後さらに調査を実施することにより，入手経路の推定が可能になることと思われる。

註)

1) 内田哲男，平尾良光「ICP分析法による銅製考古学的資料分析の基礎的研究」『保存科学，29』1990，43～49
2) 佐々木稔「出土銭貨の自然科学的解析法」『出土銭貨，7』1997，93～105
3) 下関市立大学　櫻木晋一教授による。

表1　資料一覧

| No. | 資料名 | 径 (mm) | 重量 (g) | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 慶長通寶 | 23.0 | 2.74 | メタル |
| 2 | 元豊通寶 | 24.4 | 1.78 | 錆とメタルが混在 |
| 3 | 天啓通寶 | 24.2 | 2.44 | 錆とメタルが混在 |
| 4 | 洪武通寶 | 23.0 | 3.15 | 錆 |
| 5 | 元祐通寶 | 23.8 | 1.76 | 錆とメタルが混在 |
| 6 | 天通通寶 | 23.0 | 2.93 | 錆とメタルが混在 |
| 7 | 順治通寶 | 26.0 | 1.86 | 錆 |
| 8 | 萬暦通寶 | 24.0 | 1.77 | 錆とメタルが混在 |

表2　ICP - AES 法による銭貨の定量分析結果

| | | 化学分析成分 (%) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| No. | 資料名 | Cu | Sn | Pb | Sb | Fe |
| 1 | 慶長通寶 | 79.4 | 4.57 | 16.5 | 0.020 | 2.06 |
| 2 | 元豊通寶 | 69.8 | 0.13 | 17.0 | 0.095 | 3.69 |
| 3 | 天啓通寶 | 83.1 | 20.00 | 0.38 | 0.056 | 2.18 |
| 4 | 洪武通寶 | 75.7 | 1.04 | 3.10 | 0.890 | 5.31 |
| 5 | 元祐通寶 | 78.9 | 0.64 | 7.16 | 0.210 | 4.16 |
| 6 | 天通通寶 | 86.5 | 1.90 | 2.13 | 0.120 | 2.40 |
| 7 | 順治通寶 | 66.5 | 3.46 | 3.98 | 0.380 | 0.38 |
| 8 | 萬暦通寶 | 67.2 | 6.28 | 6.28 | 0.092 | 0.89 |

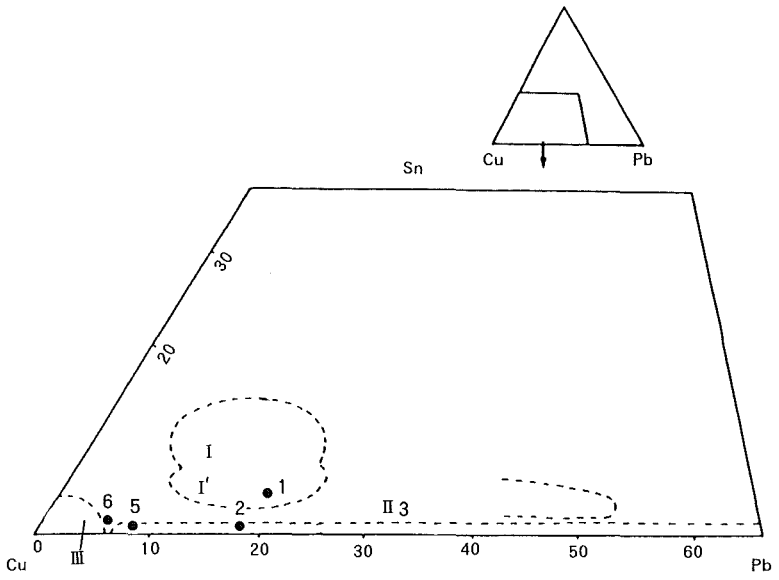



図1 分析した資料の三角ダイヤグラム

## Ⅲ 総 括

近年，長崎市街地における発掘調査が増加してきている。調査対象の主体となっているのは，元亀元年（1570）の開港から幕末にいたる「港市長崎」を構成した旧町や施設である（註 1)。今回，調査を実施した地点はかつての袋町に含まれる。袋町は開港の翌年に町建てされた六町の外側に，人口の増加に伴って新たに町建てされた「長崎村の新町」のひとつで，慶長二年（1597）に隣接する材木町，酒屋町，本紺屋町とともに町建てされた。当初は長崎村すなわち大村領に属し長崎甚左衛門純景が管轄していたが，慶長十年（1605）長崎代官の村山等安の江戸幕府への申し出により長崎村も公領となった。元禄十二年（1699）に外町・内町の区別が廃されるまでは，外町のひとつとして代官が管轄し，以後幕末まで長崎奉行の管轄下にあった。大正十二年（1923）の『長崎市街地図』によれば，調査地の東側は市立幼稚園に該当している。町名は昭和三十八年に栄町となり，調査地には市立夜間中学，夜間商業を前身とする市立高校を経て昭和五十七年（1982）に創設された定時制の市立長崎高等学校があった。

今回の発掘調査では，ふたつの大きな成果があった。ひとつは町建てから十七世紀前半の豊富な出土資料が得られたこと，もうひとつは寛文三年（1663）の大火による焼土層から海外輸出向けの肥前陶磁がまとまって出土したことである。

調査の結果，慶長頃の遺物を含む最も古い生活面が確認されたが，これは記録にのこる町建ての時期とほぼ対応する。しかし，この時期は遺構・遺物ともに少なく，十七世紀の前半になって急増する。出土遺物には中国・東南アジア産の土器・陶磁器のほか，ヨーロッパ産と考えられるガラス製品なども含まれる。これらは，当時長崎を通して行われた南蛮貿易や朱印船貿易を反映していると考えられる。出土遺物にいわゆる古染付など質の高い輸入品やライン炉器，べっ甲などが含まれることから，居住者が活発な貿易活動に関わっていた可能性が指摘される（註 2)。

寛文大火の焼土層は，調査区内で広範囲で確認されたが，10 区とした区域からは規格性のある肥前陶磁が集中して出土した。これらは，その出土状況から通常の生活で使用されたものではなく，商品として一時的に保管されていたものと推測された。出土した陶磁器の中には，染付雲竜見込み荒磯文碗や赤絵唐草文碗など実際に東南アジアで出土している資料が含まれていることからも，これらが船積みを控えて保管されていたと考えられる。

今後，各地の伝世品や出土資料あるいは文献史料等の比較研究が必要となってくるであろう。文献史料との比較として一例をあげておく。山脇悌次郎は，オランダ東インド会社の肥前陶磁輸出に関連して長崎商館の仕訳帳や送り状，『バタビア城日誌』から輸出品目を整理しているが(山脇 1988)，寛文二年に 86,329 個と江戸時代に会社が輸出した最高の輸出量を記録している。寛文三年には，『バタビア城日誌』から 55,874 個が輸出されたことがわかるが，内訳の一部に「小鳥の置物」がみられる。あるいは，今回の調査で出土したツバメ形の合子がこれに相当する可能性も考えられる。また，これとは反対に文献にみられない燭台が出土していることも興味深い。今後の検討に期待したい。

以上，紙面の都合で主要な成果についてのみしか触れることができなかった。しかしながら，本報告では可能な限りデータ提示に力を注いだつもりである。今後，これらのデータを元に分析，考察といった機会を積極的に行っていきたい。

【註】

(1) 筆者は，現長崎市街を潜在的な遺跡として整理し、「長崎遺跡群」という概念を提唱している（川口 2000)。

(2) 袋町の町乙名は糸屋家であった。同町には元禄年間に高鍋藩が蔵屋敷を置いていたとされ，糸屋家が御用聞商人として用達していたという（県史 1985)。糸屋家の場所は不明であるが，出土遺物から判断する限り調査地が該当する可能性もある。

【引用参考文献】

川口洋平 2000「一括資料からみた長崎遺跡群」『西海考古』第 2 号　西海考古同人会
古賀十二郎 1957『長崎開港史』古賀十二郎翁遺稿刊行会
『長崎県史』対外交渉編 1985　吉川弘文館
山脇悌次郎「唐・蘭船の伊万里焼輸出」『有田町史』商業編Ⅰ　有田町

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | さかえまちいせき |
| 書名 | 栄町遺跡 |
| 書名 | |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 長崎県文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第 162 集 |
| 編著者名 | 川口洋平・高原愛・櫻木晋一・咲山まどか・赤沼　英男 |
| 編集機関 | 長崎県教育委員会 |
| 所在地 | 〒 850 - 8570　長崎県長崎市江戸町 2 － 13 |
| 発行年月日 | 西暦 2001 年 3 月 31 日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積<br>㎡ | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 栄町遺跡 | 長崎県長崎市<br>栄町 2 - 33 | 42201 | | 32°<br>44′<br>42″ | 129°<br>0′<br>48″ | ①<br>2000.4.10<br>～<br>2000.4.18<br>②<br>2000.5.15<br>～<br>2000.7.15 | 700㎡ | 道路改良 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 栄町遺跡 | 町屋跡 | 近世 | 溝<br>土坑 | 貿易陶磁器<br>肥前陶磁<br>土器 | |

長崎県文化財調査報告書　第162集

# 栄町遺跡

平成13年3月31日

発　行　長崎県教育委員会
長崎市江戸町2－13
印　刷　株式会社　クイックプリント
長崎市樺島町8－12